# 医　学　科

# 授　業　要　項

## 令和８年度

京都府立医科大学
医 学 部 医 学 科

# 目　　次

※令和８年度　医学科学事予定表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

Ⅰ　序文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

Ⅱ　履修要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

Ⅲ　医学基盤教育要項

１　医学基盤教育科目の履修(第１学年)　・・・・・・・・・・・・・・・・２２

別表Ⅰ）授業科目一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４

別表Ⅱ）試験日程表(医学科第１学年・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５

別表Ⅲ～Ⅴ）共同化科目一覧(別表Ⅲ～Ⅴ）・・・・・・・・・・・・・・・２６

共同化科目開講時間割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８

２　共同化共同化科目の履修について・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９

３「週間」授業時間割表(第１学年）・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１

４　医学基盤教育科目の履修(第２学年～第５学年）・・・・・・・・・・３２

Ⅳ　専門教育要項

１　専門教育科目の履修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３

２　研究配属の履修（第４学年）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０

Ⅴ　学術情報の活用講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５１

Ⅵ　ＫＰＵＭ学プログラム一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５２

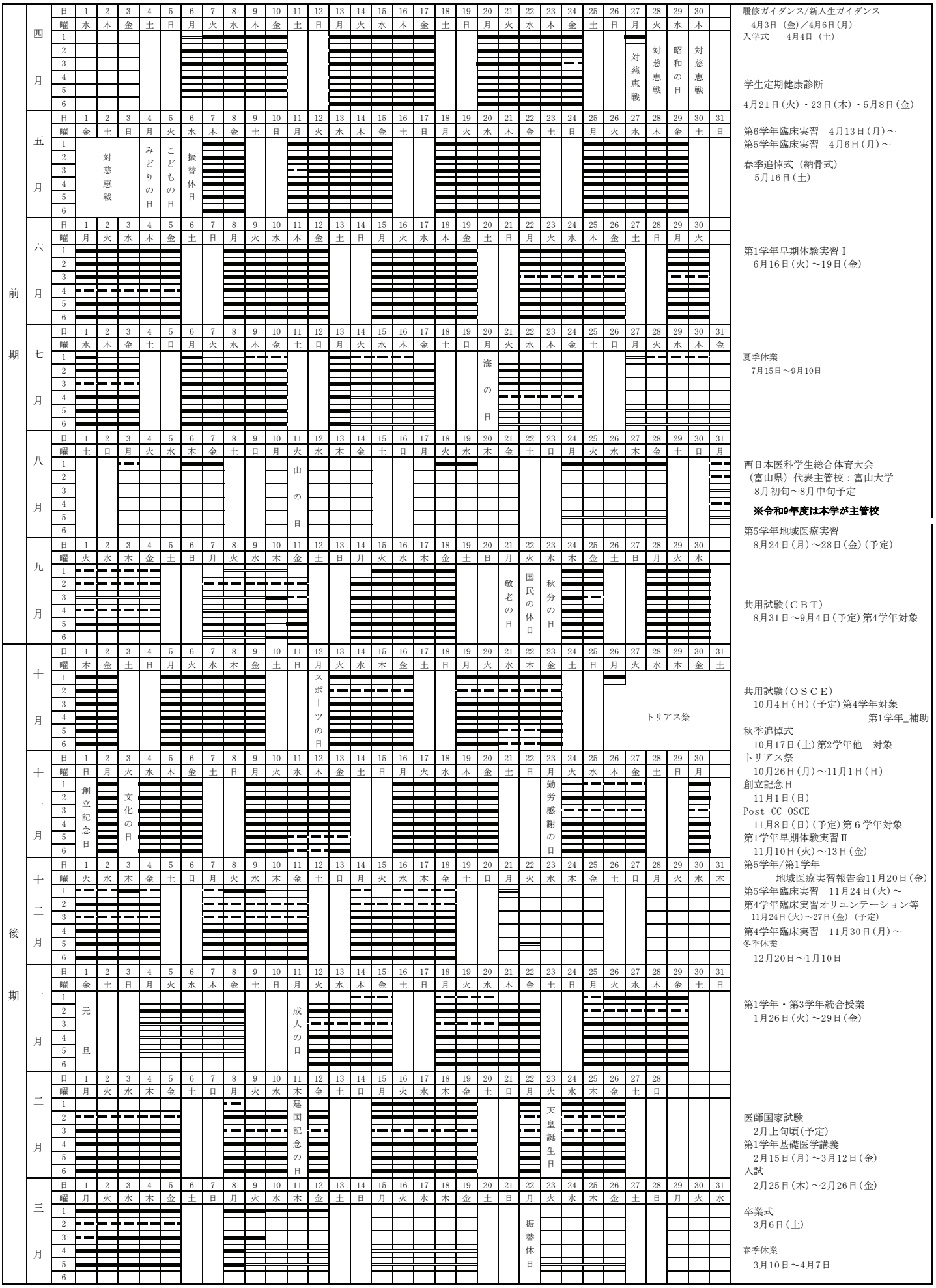
付録１　学年別　授業時間割【年間】

付録２　京都府立医科大学医学部医学科授業科目履修規程

付録３　京都府立医科大学における成績に対する確認に関する要項

京都府立医科大学における成績に対する不服申立てに関する要項

# 令 和 8 年 度 医 学 科 学 事 予 定 表




（注）━━ 授業期間　── 補講期間　- - 定期試験等期間　═══ 休業期間中の授業等　注)第1学年：試験と授業が重複の場合は試験日と表記

# Ⅰ　序 文

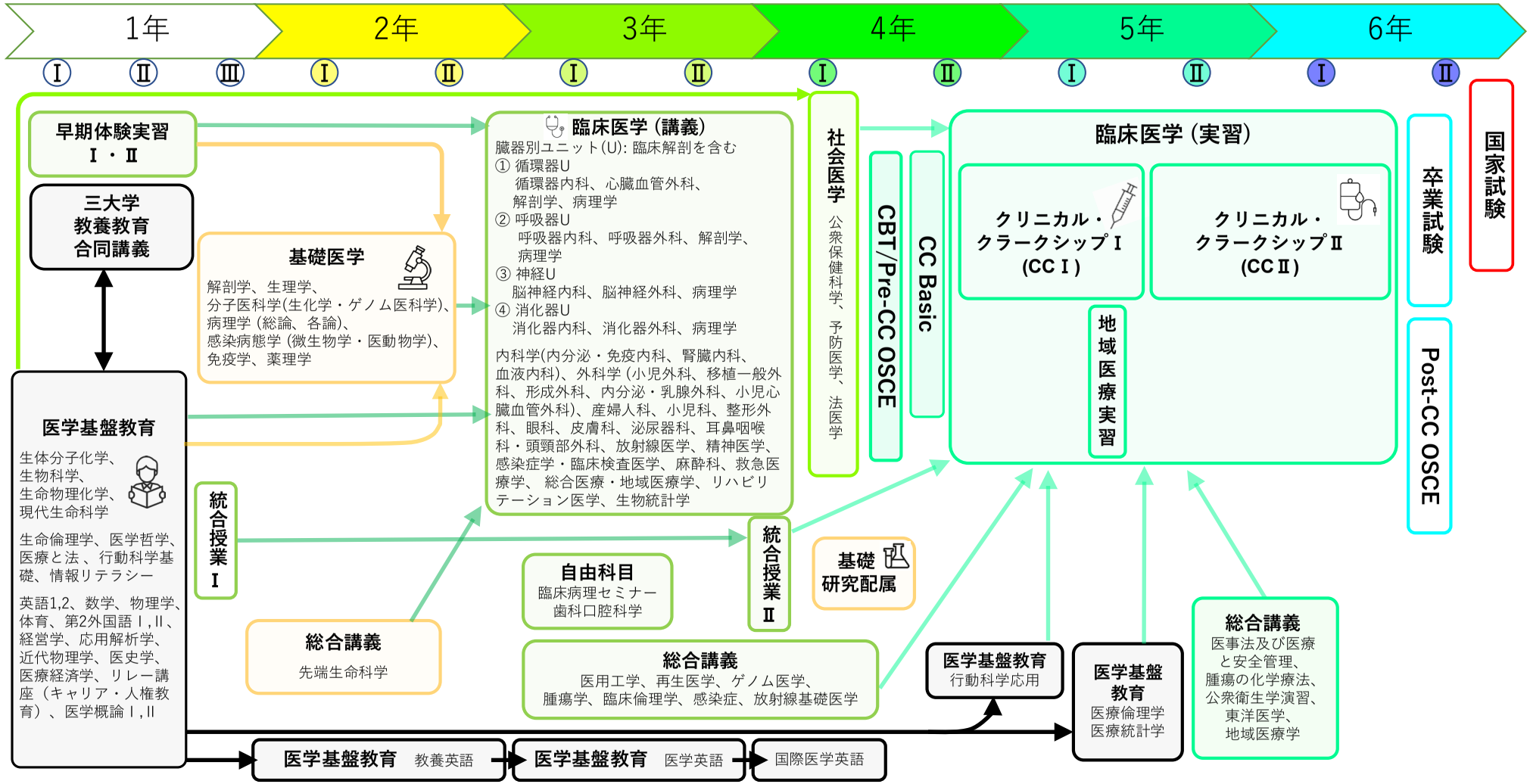
本学は1872年の創立以来、12,000人を超える医師・医学研究者を輩出して医学の進歩に貢献するとともに、「世界トップレベルの医学を地域に」の理念のもとに地域医療と保健を支え続けてきた。学則に明示しているように、この理念に基づき医学および看護学に関する知識および技能を授け、有能な医師、看護師、保健師および助産師となるのに必要な教育を施すことを目的とし、医学及び看護学の深奥を極めることを通じ、学術・文化の進展と人類の福祉とに寄与することを使命としている。2021年に大學昇格100周年を、そして2022年には創立150周年の節目を迎えた。本学は医学教育の方針について3つのポリシー「ディプロマ・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」「アドミッション・ポリシー」を掲げている。本学の理念と目的･使命を達成するために､教育課程では学生諸君に｢医学知識と問題解決能力」を涵養してもらうことは当然のこととして、「診療技能と医の心」、「コミュニケーション能力」、「科学的探究心」、「プロフェッショナリズム」、「社会における医療の実践」、「国際的視野」、「生涯にわたって学ぶ姿勢」を修得してもらうことを、卒業時の学位授与の要件として策定している。（ディプロマ・ポリシー参照）

この医学科授業要項（シラバス：syllabus）には授業日程とともに、各科目を履修する上で重要となる項目、すなわち「教育の目的と方針」「到達目標」「成績評価方法及び基準」が記載されている。さらに「自ら学ぶ」ための「事前・事後学習」「教科書・参考文献」に加え、教員へのアクセスのための「オフィスアワー」、科目責任者からの「学生へのメッセージ」が記されている。履修前に目を通し、より充実した学修への準備として存分に活用してほしい。

医学科教育課程は医学教育モデル・コア・カリキュラム（最新は令和4年版）と大学の独自プログラムを組み合わせて構成される。本学では｢医学教育モデル･コア･カリキュラム」を基盤にして、1年次の「統合授業」、4年次の「研究配属」、5年次の「地域医療実習」をはじめとする特長的な授業シリーズがある。このような教育課程の概要は次ページのカリキュラムマップに示されており、ここではカリキュラムマップの概要を説明することで、シラバス全体の理解の一助にていただくこととする。

なお、本学医学科の教育カリキュラムは日本医学教育評価機構（JACME）による医学教育分野別評価と、大学改革支援・学位授与機構による大学機関別認証評価の両審査共に認証を受けている。

# 医学部医学科　カリキュラム・ツリー（令和8年度）



## ● 医学基盤教育(教養)と三大学共同教養教育

本学では6年間の医学一貫教育の端緒として、1年次に集中的に医学基盤教育（教養）のカリキュラムをおいている。教養とは、知的に独立した魅力ある人間になるために身につけておくべき素養のことであり、多様な価値観に共感できる人間性は医師・医学者にとって重要な資質である。この教養教育は高学年でも継続され、基盤的教養を身につけ、自分自身の興味や得意科目を伸ばすことが出来る能力を涵養する。

本学では、京都府立大学と京都工芸繊維大学との三大学教養教育共同化の実施によって、各大学における特長ある教養教育科目の授業を選択することができる。ぜひ受講を勧めたい。専攻科目や学修目標の異なるさまざまな学生たちと交流することも可能であり、このような仕組みを生かして豊かな人間性を築くことを期待する。

これらの教養に主眼を置いた科目のほか、特に理系科目や語学科目などの医学基盤教育科目は、高学年における専門教育への「医学準備教育」としての役割をも担う。理科系授業に専門課程教員が参加するなど、基礎医学科目のシームレスな導入（垂直統合授業）を図っている。

## ● 基礎医学・社会医学と研究配属

1年次の2月からは基礎医学科目の授業が始まり、解剖学・生理学・生化学/ゲノム医科学などの科目でヒトの正常機能を学び、引き続き病理学・薬理学・免疫学・感染病態学などを通じて、ヒトの病気のなりたちや病態の制御についての学修へと進む。医学基盤教育からの縦断的プログラムを配置し、基礎医学・社会医学の理解に立脚して臨床医学の学びへと統合的に進める構成である。生命科学の進歩は加速しており学修する事柄は多いが、記憶する知識量を増やすだけではなく、生命の営みや疾病構造の原理・原則を理解し、そのメカニズムを統合的に把握することが重要である。臨床医学の講義をはさんで4年次には、医療と社会との関係性を学ぶ法医学、保健・予防医学の社会医学を配置し、これらの授業を通じて法律・司法や行政との関わり、公衆衛生学的アプローチについて学ぶ。

4年次の前期には約6週間の基礎･社会医学教室への研究配属の期間を設けている。この期間には基礎・社会医学の教室に所属して実際の実験手技を修得したり、医学研究の進め方を学んだり、さらに教員・研究者の姿に触れる体験を積むことになる。「科学する心（リサーチマインド)」を涵養し、医学が基礎研究によって発展し支えられてきたことを理解してくれるものと期待する。この機会を利用して、学会発表や論文執筆を行い、国内・海外の研究室への留学する学生も多い。

## ● 臨床医学・ユニット型授業とCBT/OSCE

3年次から臨床医学の講義が開始され、内科学・外科学に始まり多くの臨床医学科目を履修する。循環器・消化器・神経・呼吸器の4領域については内科・外科・関連診療科を「水平統合」し、さらに解剖・病理学を主とする関連科目の授業を「垂直統合」した「ユニット型授業」を開講している。

4 年次の前期までに全ての臨床科目を履修して受験資格を得たのち、医療系大学間共用試験実施評価機構が行う全国の統一テストである CBT (Computer-Based Testing) と OSCE (Objective Structured Clinical Examination) を受験する。これらは 2023 年度から公的化され、CBT と臨床実習前 OSCE (Pre-CC OSCE)の両者に合格すると“ 臨床実習生（医学）Clinical Clerkship Student ”の称号が与えられ、臨床実習への参加が許可される。2023 年度からは医師法改正により学生の医行為が法律的に認められ、

今後は診療参加型臨実習がますます充実していくこととなる。臨床実習生（医学）Clinical Clerkship Student には全国共通の認定証が発行され､病院内では Clinical Clerkship Student を示す青色の名札（ID）をつけることになっている。臨床実習前には、本学学友会から大学ロゴが刺繍された白衣がご厚意で授与される（白衣授与式を 11 月に予定)。

## ● 診療参加型臨床実習（クリニカル・クラークシップ、CCⅠとCCⅡ）

4 年次の後半から診療参加型臨床実習であるクリニカル･クラークシップ(Clinical Clerkship；CC）を 72 週間履修する。前半の CCⅠでは主として大学附属病院内での実習となり、グループ分けの上各診療科をローテートする。後半の CCⅡでは学外関係病院や海外協定大学などの学外での実習も含まれる。臨床実習については「臨床実習実施要領」を作成しているので、かならず実習前に熟読しておく。

5 年次においては CCI の修了と進級試験が進級要件の一部となっている。また、CCⅡの単位を修得後に、共用試験実施評価機構が行う臨床実習後 OSCE（Post-CC OSCE）と卒業試験に合格し、ディプロマ・ポリシーを満たすことが卒業要件になっている。本学の卒業をもって医師国家試験の受験資格が与えられる。

## ● 地域医療実習

5 年次の夏季に行われる「地域医療実習」は、京都府北部の中核的医療施設に一週間滞在し、地域で医療実習することに加えて、メディカルスタッフや地域ボランティア・介護に携わる方々、行政の方々と膝を交えて多職種連携を実地に学ぶことを目的としている。医療過疎の現実や地域医療のあり方について、さらに医療実務における多職種連携のあり方などについて実際に体験し思考を深める本学独自の教育課程である。

## ● 海外臨床実習派遣と国際医学英語

5 年次または 6 年次には、海外でのクリニカル・クラークシップのための派遣を行う。古くからの協定校である米国のオクラホマ大学と英国のリーズ大学にくわえ､2018 年度からは英国（スコットランド）のエジンバラ大学、2019 年度にはタイのチュラロンコン大学、さらに 2020 年にはシンガポール国立大学とオランダのマーストリヒト大学と協定を結び、この 6 大学に若干名ずつを派遣している。2025 年度からはさらに 3 大学（ハリム大学、シドニー大学、ロス・アンデス大学）との協定がすすみ、派遣が開始される。これらは各大学で原則 4 週間の臨床実習を行うものであるが、正式な選択教程として単位認定しているものである。修学上必要となるレベルの英語力を、公式の検定を受けたかたちで派遣先大学宛に示すことが要求される。したがって臨床実習派遣を希望する学生は、学内の選考面接試験の前に、TOEFL や IELTS を受験し、それぞれの大学から要求される得点やレベルを得ておく必要がある。2022 年度から 4 年次に開講された国際医学英語では、医療場面での会話に重点をおいた授業が行われ、これらの機会を積極的に活用することが望まれる。

## ● 学生の評価と卒業までの要件

ここまで、医学科カリキュラムツリーに沿って、モデル・コア・カリキュラムにおいて基幹となる教育課程及び本学独自の特色ある課程を説明した。基幹の教育課程は、医学基盤教育―基礎・社会医学―臨床医学―臨床実習の積み重ね型であることを十分理解した上で、本学の特色ある教育課程においても、卒業時にディプロマ・ポリシー

を満たすよう自ら学修することを願うものである。

学生の評価については、各科目のシラバスに「教育の目的と方針」「到達目標」「成績評価方法及び基準」が記載されている。これに加えて、次ページ以降の「医学科授業科目履修規程」において、定期試験の受験資格、試験成績の評価、進級及び卒業要件などが詳細に記されているので、必ずよく読んで理解しておく。

## おわりに

教育カリキュラムの概要を説明した。学生生活についての留意点や災害時の・緊急時の対応等については別途用意した「学生便覧」をあわせて活用して欲しい。「シラバス」と「学生便覧」はホームページから閲覧できる。また、就学上の疑問や相談事があれば遠慮なく、クラス担任などの教員、教育センター、保健管理センター、教育支援課職員あて問い合わせていただきたい。

本シラバスを有効活用し、有意義で実り多い学生生活となることを期待する。

## 京都府立医科大学医学部医学科ディプロマポリシー（学位授与方針）

本学では、「世界トップレベルの医学を地域へ」の理念に則り、有能な医学者・医師となるために必要な医学に関する基本的知識・技能と医の心とを教授し、医学の深奥を究め科学・文化の発展と人類の福祉に寄与する医療人を育成することを教育理念として実践している。

医学科では、当該理念を熟知し、所定の年限に必要な単位を修得した上で、次の学修要件を満たした者に対して学士（医学）の学位を授与する。

1　医学知識と問題対応能力

基本的な医学の知識を習得するとともに、常に問題意識をもって医学を探求する姿勢を有し、症候・疾患・病態を深く理解し幅広く対応できる能力を身につけていること。

2　診療技能と医の心

基本的な臨床技能を習得するとともに、患者の肉体的な痛みや心の状態に配慮しながら、適切な態度で診療できる能力を身につけていること。さらに地域保健・医療の重要性と地域医療におけるチーム医療の実際を理解し、多職種間連携を通して医療人としての高い意識・使命感を持っていること。

3　コミュニケーション能力

患者と医師とがお互いに理解し合い問題を共有しながら解決することを目指し、医療内容を分かりやすく説明するなど、患者とその家族との良好な関係を築くことができるコミュニケーション能力を身につけていること。

4　科学的探究心

医学・医療を科学的にとらえることができ、その問題点を見出し解決するための研究の重要性を十分に理解するとともに、将来的に研究倫理をふまえ世界的視野に立った研究を遂行する素養と高い意欲を有していること。

5　プロフェッショナリズム

生命及び人間の尊厳を重んじ、豊かな人間性と創造性を培いながら、人の命に深く関わり健康を守るという医師・医学者の職責を十分に自覚し、信頼される安全な医療を実践できる高い倫理観と問題解決能力を有し、チームの中での役割を見出し医療に取り組める能力を身につけていること。

6　社会における医療の実践

地域社会はもとより、日本の医療のあり方や現状・課題を理解するとともに、これらを実践するための基礎的素養を身につけていること。

7　国際的視野

国際社会における医療・健康についてその現状や課題を理解し、将来的に世界的な視野で医学・医療を実践できる能力を身につけていること。

8　生涯にわたって学ぶ姿勢

医療の質の向上と医学の進歩のために絶えず省察し、他の医師・医療者・研究者とともに研鑽しながら、生涯にわたって向上を続ける意欲と態度を有していること。

## 京都府立医科大学医学部医学科カリキュラムポリシー
## （教育課程の編成・実施方針）

本学では「世界トップレベルの医学を地域へ」の理念に則り、有能な医学者・医師となるために必要な医学に関する基本的知識・技能と医の心とを教授し、医学の深奥を究め人類の福祉に寄与する医療人を育成することを教育理念として、これを実現するために次のとおりカリキュラムを策定する。

1　医学知識の教授と問題対応能力の育成

基礎医学では生命現象と人体の構造・機能、疾患の成り立ちや薬物療法の基礎を修得させるために系統講義を行い、さらに自ら学ぶ中で課題を探索し解決する能力を育むために演習や実習を行う。臨床医学では症候・疾患・病態を修得させるために、修得した基礎医学に立脚した系統講義や演習を行い、さらに臨床的課題に適切に対応し根拠に基づいた医療を実践する能力を育成するために、診療参加型臨床実習を行う。

2　診療技能と医の心の育成

患者の肉体的な痛みや心の状態に配慮した対応能力を身につけさせるために、総合診療学などのプライマリケア教育を実施する。

3　コミュニケーション能力の育成

患者とその家族はもとより、チーム医療従事者との良好な信頼関係を築く上で不可欠なコミュニケーション能力を身につけさせるために、医学概論や人権教育などの講義を行い、さらにロールプレイなどによるグループ学習や臨床実習を取り入れる。

4　科学的探究心の育成

医学・医療に問題意識を持って向き合い、その課題を科学的に解決する上で必要な実験的研究や調査研究の重要性を認識させ、高い倫理観をもった研究マインドを涵養するために、基礎・社会医学教室への研究配属等を実施する。

5　プロフェッショナリズムの育成

幅広い教養や豊かな人間性を養うために、人文社会科学や自然科学等を履修させるとともに、学生の多様な学習意欲に応えるべく京都三大学教養教育共同化科目の受講を推進するなど充実した教養教育を実施する。また、自ら課題を探究し解決する能力や、高い倫理観を持ち安全で信頼される医療を実践する能力を育成するために、課題発見型教育や医療倫理教育を充実させるとともに、グループ学習等を用いたアクティブ・ラーニングによる学修を実施する。

6　社会における医療の実践

地域の保健・医療の重要性や日本及び世界の医学・医療の現状や課題を理解させ、チーム医療に貢献できる高い素養を持つ人材を育成するために、社会医学の系統講義を行う。

さらに、学習した社会医学の知識を基盤とし、地域保健実習や京都府北部地域での臨床実習を含む重層的な実地教育を通して現代の医療の課題を体験・理解させる。

7　国際的視野の涵養

国際的な視野で医学・医療を実践できる能力を身につけられるよう、低学年から高学年次にわたる継続的な英語教育を実施する。また、国際社会における医学・医療の現状を理解させるために、交換留学等の国際交流を積極的に推進する。

8　生涯にわたって共に学ぶ姿勢の涵養

医師・医学者に必要な知識・技能を生涯にわたって修得し続ける向上心や科学する心・所作を身につけさせるため、医学基盤教育分野と専門医学分野の枠を超えた横断的な総合講義・実習を行うとともに、学年縦断的な講義・実習も実施する。

9　成績評価

各科目において掲げられた到達目標と成績評価基準に従って、公正で透明性の高い成績評価を行うとともに、修学成果を組織的に評価することにより教育の質保証に向けた取り組みを行う。

## 医学部医学科　ディプロマポリシー（DP）に基づく卒業時コンピテンシー
## （教育課程において修得すべき能力・資質）

本学医学部医学科の学生は、ディプロマポリシーに基づき、卒業時に以下の能力・資質を身につけている。

| DP 1　医学知識と問題対応能力 | | |
|---|---|---|
| 1 | 基礎医学 | 生命現象を自然科学的視点から捉え、人体の構造と機能、疾患の本態に関する基礎医学の知識を修得し、疾患の病因、病態、症候、治療、予防の理解に活用できる。 |
| 2 | 社会医学 | 疫学、保健・医療制度、公衆衛生、予防医学、法医学、医学哲学などに関する知識を修得し、地域や集団の健康課題や医療における社会的・制度的課題の理解と解決に活用できる。 |
| 3 | 臨床医学 | 高頻度または重要な疾患について、疫学、病因、病理、病態、症候、検査、診断、治療、予後の知識を修得し、臨床推論に基づく適切な診療に活用できる。 |
| 4 | 行動科学 | 人の認知、感情、行動に関する知識を修得し、患者や家族の心理社会的背景に配慮した行動変容支援や行動科学に基づく適切な対人対応に活用できる。 |
| 5 | 批判的評価 | 批判的思考に基づいて、医学情報や新しい知見の信頼性と妥当性を評価し、診療や学修に必要な根拠を判断できる。 |
| 6 | 患者背景に基づいた医療 | 様々な患者背景を把握し、状況に応じた判断ができる。 |
| 7 | 根拠に基づいた医療 | 臨床疑問に対してエビデンスを収集・吟味し、根拠に基づいた判断ができる。 |

| DP 2　診療技能と医の心 | | |
|---|---|---|
| 1 | 医療面接 | 基本的な医療面接技法を用い、患者の主訴や訴えの背景を適切に聴き取り、信頼関係を築きながら必要な情報を引き出すことができる。 |
| 2 | 身体診察 | 基本的な身体診察の手順を理解し、患者の状態に応じて体系的かつ効率的に実施し、所見を正確に解釈して記録できる。 |
| 3 | 臨床技能 | 基本的な臨床手技について、適応、実施方法、合併症等を理解し、適切かつ安全な手順で実施できる。 |
| 4 | 診療録 | 診療録についての基本的知識を修得し、診療の経過や臨床推論を的確に反映した内容を、体系的かつ簡潔に記載できる。 |
| 5 | プレゼンテーション | 医療チームの意思決定に貢献できるよう、患者の病状や臨床経過、プロブレムリスト、鑑別診断、治療法の要点を整理し、提示できる。 |
| 6 | 救急医療 | 救急医療の基本的知識と対応体制を理解し、緊急度や重症度を判断した上で、初期対応の実施またはその補助ができる。 |
| 7 | 慢性期医療 | 慢性疾患の病態や療養生活、支援制度を理解し、指導のもと、症状の管理や治療の継続、生活背景への配慮を含む慢性期医療に参画できる。 |
| 8 | 地域医療 | 地域の需要と資源にあわせて保健、医療、福祉との連携の中で、医療を行う仕組みを理解し、多職種との協働を説明できる。 |
| 9 | プライマリ・ケア | 疾病・症候の垣根なく、身体的、心理的、社会的側面から健康課題に対応するプライマリ・ケアについて説明できる。 |
| 10 | 診療態度 | 病に苦しむ患者および家族に寄り添い、その身体的および精神的苦痛や不安に配慮しつつ傾聴し、誠実で共感的な態度で診療を行うことができる。 |

| DP 3　コミュニケーション能力 | | |
|---|---|---|
| 1 | 分かりやすい説明 | 医療内容や患者の状態について、患者の持つ知識や心理状態、文化、社会的背景に応じた分かりやすい説明ができる。 |
| 2 | 意思決定支援 | 意思決定支援の意義を理解し、対話や記録を通じて患者および家族のニーズに応じた情報提供を行い、価値観や希望を尊重した意思決定を支援できる。 |
| 3 | 情報共有 | 多職種連携やチーム医療の重要性を理解し、構成員と必要な情報を的確に共有できる。 |

| DP 4　科学的探究心 | | |
|---|---|---|
| 1 | リサーチマインド | 基礎、臨床、社会医学における研究の意義を理解し、医学や医療の未解決課題に関心を持ち、科学的根拠に基づいて問いを立てて考えることができる。 |
| 2 | 研究の実践 | 医学研究の方法論と研究倫理の意義を理解し、指導のもと研究を計画および遂行し、データの解析や成果の報告などの研究活動に取り組むことができる。 |
| 3 | 先端情報科学の活用 | 医療におけるICT、AI等の先端情報科学の活用方法を理解し、診療や学修において応用できる。 |

| DP 5　プロフェッショナリズム | | |
|---|---|---|
| 1 | 倫理性 | 医師としての職責を自覚し、患者の尊厳と基本的人権を尊重し、医療倫理（生命倫理）の原則に基づくとともに、臨床倫理の方法論を応用して行動できる。 |
| 2 | 医師としての振る舞い | 医師としての社会的役割を自覚し、礼節と品位を保ち、他者からの信頼を得られる振る舞いができる。 |
| 3 | 法令と規範の遵守 | 医療や医学研究に関連する法令および各種の行動規範を理解し、遵守できる。 |
| 4 | 利益相反 | 医療や医学研究における利益相反の概念と重要性を理解し、その発生の可能性を認識した上で適切に対処できる。 |
| 5 | 医療安全 | 医療管理体制やリスク管理の重要性を理解し、電子カルテの適切な記載と情報管理、医療事故の防止、医療関連感染症の予防対策と初期対応を含む、安全な医療を実践できる。 |
| 6 | 自己省察 | 自己と組織の行動を継続的に評価する視点をもち、フィードバックを避けず省察し、改善できる。 |
| 7 | 役割遂行 | 保健、医療、福祉などに関わる多職種の役割を理解し、医療チームの一員として自らの役割を認識し、協働できる。 |

| DP 6　社会における医療の実践 | | |
|---|---|---|
| 1 | 社会保障制度 | 地域や日本全体のニーズを理解し、保健、医療、福祉等の諸制度を理解し、説明できる。 |
| 2 | 災害医療 | 災害医療の特殊性とそれに関与する支援組織の役割、災害発生時に備え、医師に求められる行動を理解し、説明できる。 |
| 3 | 保険診療 | 国民皆保険制度と診療報酬の仕組み、ならびに保険外診療の概要とその制度上の位置づけを理解し、説明できる。 |

| DP 7　国際的視野 | | |
|---|---|---|
| 1 | 医学英語 | 医療や医学に関する基本的な英語の語彙と表現を身につけ、英語による医療面接や情報収集ができる。 |
| 2 | 多文化理解 | 国や文化による医療制度や健康課題の違いを理解し、文化的背景、社会的立場、価値観の異なる患者に対して多様性を尊重し、適切に対応できる。 |
| 3 | グローバルヘルス | グローバルヘルスの概念と国際的な医療体制を理解し、世界が抱える健康課題に関心を持ち、その取り組みに関わることができる。 |

| DP 8　生涯にわたって学ぶ姿勢 | | |
|---|---|---|
| 1 | 生涯学習・自己研鑽 | 医学の進歩に応じて継続的に学び、専門職としての能力を深めることができる。 |
| 2 | 共同学習・後進育成 | 他者と共に学び合い、その中で得た知識や技能を後進と共有し、互いの成長に貢献できる。 |

# Ⅱ　履 修 要 項

## １　授業の期間

年間の授業は、原則として、下記の期間に行われる。

前期：４月１日～９月３０日　　後期：１０月１日～翌年３月３１日

## ２　授業時間

授業時間は、次のとおりとする。

１時限　　８時５０分～１０時２０分　　２時限　１０時３０分～１２時

３時限　１２時５０分～１４時２０分　　４時限　１４時３０分～１６時

５時限　１６時１０分～１７時４０分

但し、ユニット講義等については60分授業とし、開始・終了時間が異なる場合がある。（変更の可能性あり）

## ３　授業の出席・欠席等について

授業に出席することは学生の本分であり、全出席を原則とする。学則第42条に規定されている通り、出席不良者は、注意、指導の後、改善されない場合は、訓告、停学又は退学のいずれかの処分の対象になる可能性がある。

履修規程第8条に定めているように

・講義の場合には、原則、講義時間数の60％以上出席しなければ、

・実習の場合には、原則、全てに出席しなければ、当該授業科目について試験を受けることができない。

なお、講義における「60％以上出席」の趣旨は、例えば傷病によりやむを得ず欠席した場合等を考慮し、定期試験を受けることができる下限を定めているものである。

ただし、実習については、以下に該当する場合は欠席届の提出をもって出席と認める場合があるので、欠席の事由を客観的に証明し得る書類等を添付して、各科目の担当教員が指定した日までに、教育支援課（１年生は下鴨事務室）に届け出ること。

・学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症に罹患したことにより出席停止措置を受けた場合、又は、保健管理センター長が学生の出席停止措置が必要と認めた場合

・２親等以内の親族の忌引き

・自然災害や事故により交通機関が運休し、通学が著しく困難であると認められる場合

・居住区に気象警報が発令されるなどし、危険を伴い通学が困難な場合

・学生が裁判員制度による裁判員又は裁判員候補者に選任された場合

・その他授業を欠席することをやむを得ないと学長が認めた場合

## ４　修業年限

本学に６年以上在学し、所定の単位を修得して卒業の要件を満たした学生には学士（医学）の学位が与えられる。

## ５　在学期間

在学期間は１０年を超えることはできない。ただし、各学年について、それぞれ３年を超えることができない。

## ６　選択科目及び自由科目履修の届出

選択科目及び自由科目については、それぞれ履修しようとする授業科目を届け出なければならない。履修届提出後に授業科目の変更又は取り消しをしたい場合には、授業担当者の許可を受けなければならない。

## ７　定期健康診断の受診及び予防接種

各学年のはじめに行う定期健康診断を受診しなければ、その年の各実習を受けることがで

きない。また、麻疹、水痘、流行性耳下腺炎、風疹、Ｂ型肝炎の各ウイルスに対して抗体陽性、又はワクチン接種を受けていなければ、各実習に参加できない。新型コロナワクチン及びインフルエンザワクチン接種を受けていなければ、臨床実習に参加できない場合もある。

## ８　試験の種類

試験には、定期試験、追試験及び再試験があり、定期試験を受けられなかった者に行う試験を追試験、定期試験に不合格となった者に行う試験を再試験とし、それぞれ筆答及び口答又はそのいずれかで行う。なお、他に授業科目担当者が中間試験を行うことがある。

また、総合講義等の科目で定期試験を実施しない科目については、授業ごとの小テスト等をもって試験とすることがある。

## ９　試験成績の評価

成績は、以下の表に示す評価の基準により認定し、優、良、可又は不可をもって表示する。

| 評点 | 評語 | 認定 | **評価の基準** |
|---|---|---|---|
| 80 点以上 | 優 | 合格 | **優れている。学修した事象や事柄のかなりについて理解し、十分かつ必要な知識を持ち、概念や方法を適切に使って課題を遂行できる。その理解を適切に類似または発展した事象に応用する力がある。** |
| 70 点以上 | 良 | | **良好である。学修した事象や事柄を十分理解し、問題・題材を扱うことができる。** |
| 60 点以上 | 可 | | **最低限の基準に達している。学修した事象や事柄をかなり限定的に理解し、問題を基本的なレベルで扱うことはできるが、より高度な学修へと進むには更に努力が必要である。** |
| 59 点以下 | 不可 | 不合格 | **最低限の基準に達していない。学修した事象や事柄の理解が不足している。** |

## 10　成績に対する不服申立てについて

成績評価の客観性、厳格性を確保するため、平成３０年度から成績に対する不服申立て制度を導入した。自身の成績評価（優・良・可・不可）に疑義があるときは、成績に対する確認・開示を請求（原則として成績開示日から７日以内）することができ、その確認結果に不服があるときは不服申立てをすることができる。

## 11　試験欠席の手続

（１）試験に欠席する学生は、試験欠席願に病気によるときは診断書を、やむを得ないと認められる事故による場合は理由書を添えて学長に願い出て、その許可を受けなければならない。

（２）試験欠席願は、原則として当該授業科目の試験日の前日までに提出するものとし、やむを得ない理由により前日までに提出することができない場合は試験日以後一週間以内に提出しなければならない。

## 12　試験等での不正行為

（１）試験中に不正行為を行った者に対しては、京都府立医科大学医学部医学科授業科目履修規程第13条の規定により、当該学年におけるすべての試験を無効とし、受験資格を停止するとともに、当該不正行為を行った学年にとどめるものとする。

（２）当該不正行為を行った者は、当該不正行為を行った年度の翌年度、無効とされた試験及び受験資格が停止された試験の定期試験を再び受験しなければならない。

（３）授業中に課される小テストやレポート課題等においても、不正行為を行わないことが当然に求められる。授業中に課される小テストやレポート課題等でも不適切な行為があれ

ば、厳格に対処する。

（４）不正行為の例

ア　定期試験等における不正行為には、以下のようなものがある。

1) カンニング（持ちこみを許可されたもの以外を使用すること、他の受験者の答案等を見ること、他の者から答えを教わることなど）をすること。

2) 試験時間中に、答えを教えるなど他の者を利するような行為をすること。

3) 受験者以外の者が受験者本人になりすまして試験を受けること。

また、試験場における以下のような行為は、不正行為とみなされることがある。

4) 答案用紙を試験場外に持ち出すこと。

5) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

6) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。

7) その他、試験の公平性を損ない、試験の適正な実施を妨げる行為をすること。

8) 答案に解答とは無関係な事柄を書くこと。

イ　レポート試験で不正行為とみなされる行為には以下のようなものがある。

1) 他人の文章や着想などをあたかも自分のものであるかのように用いた場合、このような行為は剽窃という社会的倫理に違反する行為である。

2) 他人の著作物を引用する際に、引用箇所を明示しない、出典を記載しないなど引用が不適切に行われた場合。1) の剽窃と重なる面もあるが、不適切な引用はそれ自体が著作権法に違反する行為となる。

3) 自分が作成したレポートを、流用されると知りながら他の人に見せ、それが他の人によって流用された場合（レポートを見せた者および流用した者の双方とも不正行為として取り扱われる）。

4) 他人のレポートを代筆すること（代筆を依頼した者および代筆した者の双方とも不正行為として取り扱われる）。

5) 特に指示がないにもかかわらず、共同でレポート作成し、そのレポートが酷似していた場合（学生同士で授業で学んだ内容について意見交換をすることは良いが、担当教員による明確な指示がない場合は各自でレポートの作成を行うこと）。

6) 担当教員の指示に意図的に従わない行為。

7) 課題とは無関係な事柄を書くこと。

8) 過去に提出したレポートを、そのことを明示することなく意図的に他の科目においても提出すること。

## 13　試験受験上の注意

（１）試験開始後30分を越えて遅刻した場合は、その試験を受験できない。

（２）試験開始後30分を経過しなければ、退出を許可しない。

（３）携帯電話、スマートフォン等の電子機器類を使用した場合、又は身につけていたり、手元にあった場合は不正行為となるので、必ず電源を切り鞄等にしまうこと。

## 14　交通機関の運行停止又は暴風等に伴う授業の休講について

（１）京都市営交通（バス、地下鉄）、ＪＲ西日本（京都駅発着の在来線）、阪急電鉄（大阪梅田－京都河原町間）、京阪電鉄（淀屋橋又は中之島－出町柳間）、近鉄（大和西大寺－京都間）のうち、２以上の交通機関が停止している場合は、

ア　午前７時までに運行を開始したときは、平常どおり授業を行う。

イ　午前７時現在で停止しているときは、午前の授業を休講とする。

ウ　午前10時までに運行を開始したときは、午後の授業を行う。

エ　午前10時を過ぎても停止しているときは、午後の授業も休講とする。

（２）京都市又は京都市を含む地域に気象等に関する特別警報又は暴風警報が発令中は、休講

とする。

ア　午前７時までに解除されたときは、平常どおり授業を行う。

イ　午前７時現在で発令されているときは、午前の授業を休講とする。

ウ　午前10時までに解除されたときは、午後の授業を行う。

エ　午前10時現在で発令されているときは、午後の授業も休講とする。

（３）授業には、講義、実習及び試験を含むものとする。

※　なお、三大学教養教育共同化に伴う共同化科目については、共同化に伴う申し合わせによるものとする。

## 全学年共通「態度評価」について

京都府立医科大学医学科では、令和 7 年度より全学年を対象とした「態度評価」を実施しています。この評価制度は、皆さん一人ひとりが医学生としての自覚を持ち、医師としてふさわしい姿勢や行動を身につけることを目的としています。

（1）なぜ「態度評価」を行なうのか？

医師は、専門的な知識や技術を持っているだけではなく、患者さんや医療チーム、社会全体に対して誠実で責任ある態度を持つことが求められます。大学での学びの中でも、普段の授業への取り組み方、実習中の態度、チーム活動での協調性、言葉遣いや身だしなみなど、日々の振る舞いはとても大切です。

そこで本学では、「知識や技術と同じように、態度もきちんと評価し、育てていくべきもの」と考え、全学共通の評価制度を導入することにしました。これは皆さんの将来にとって大きな意味を持つだけでなく、今の学修生活をより豊かにするための仕組みでもあります。

（2）どのように評価されるのか？

評価については、次頁掲載の「態度評価表」に沿って、各授業の担当教員が行ないます。評価項目は、学びに対する姿勢、時間やルールの守り方、他者への配慮、協力性、誠実な態度などを身につけることを目的として作成されています。評価結果は、できる限り皆さん自身にもフィードバックされるようにし、振り返りや今後の改善に役立てていきます。

（3）学生の皆さんにお願いしたいこと

この態度評価は、皆さんを一方的に評価するものではありません。むしろ、「自分自身の姿を振り返り、気づきを得るチャンス」として捉えてください。また、分からないことや不安なことがあれば、遠慮なく担任の先生やメンター、教育センター教員に相談してください。評価の基準等は、授業や実習の中で説明される場面もありますので、しっかりと内容を理解して、自分の成長につなげていきましょう。

この取り組みは、皆さんが将来、信頼される医師になるための第一歩です。皆さん一人ひとりが、日々の学びや実習の中で、自分の姿勢と向き合い、自信を持って次のステージへ進んでいけるよう、教職員一同も全力でサポートします。

令和８年４月
教育センター長
天谷　文昌

# 態度評価表

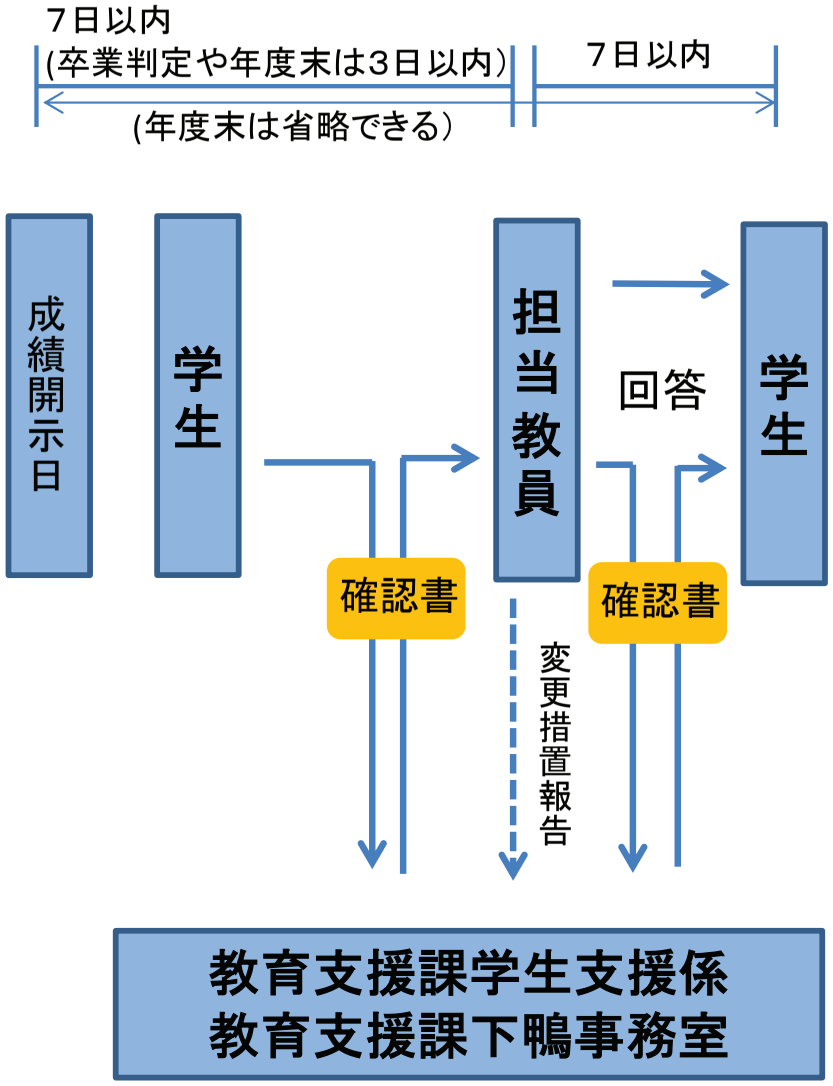
実習名（　　）　担当教室名（　　）　担当評価者名（　　）
評価日（　　）　学生氏名・学年（　　）

| 評価項目 | | 10 点 | 7.5 点 | 5 点 | 2.5 点 | 0 点 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 適切な身だしなみ（服装規定） | | 満たしていた | ほぼ満たしていた | | 満たしていないことが多かった | 全く満たしていなかった |
| 出席状況 | 遅刻 | 遅刻がなかった | 事前連絡のある遅刻が1回あった | | 事前連絡のある遅刻が2回以上あった | 連絡のない遅刻があった |
| | 欠席 | 欠席がなかった | 事前連絡のある欠席が1回あった | | 事前連絡のある欠席が2回以上あった | 連絡のない欠席があった |
| 提出物の期限* | | 100%守られていた | 75%守られていた | 50%守られていた | 25%守られていた | 全く守られていなかった |
| 参加の積極性 | | やる気が見られた | ほぼやる気が見られた | | あまりやる気が見られなかった | 全くやる気が見られなかった |
| コミュニケーション（あいさつ・適切な言葉遣い） | | 問題なくできていた | ほぼできていた | | あまりできていなかった | 全くできていなかった |

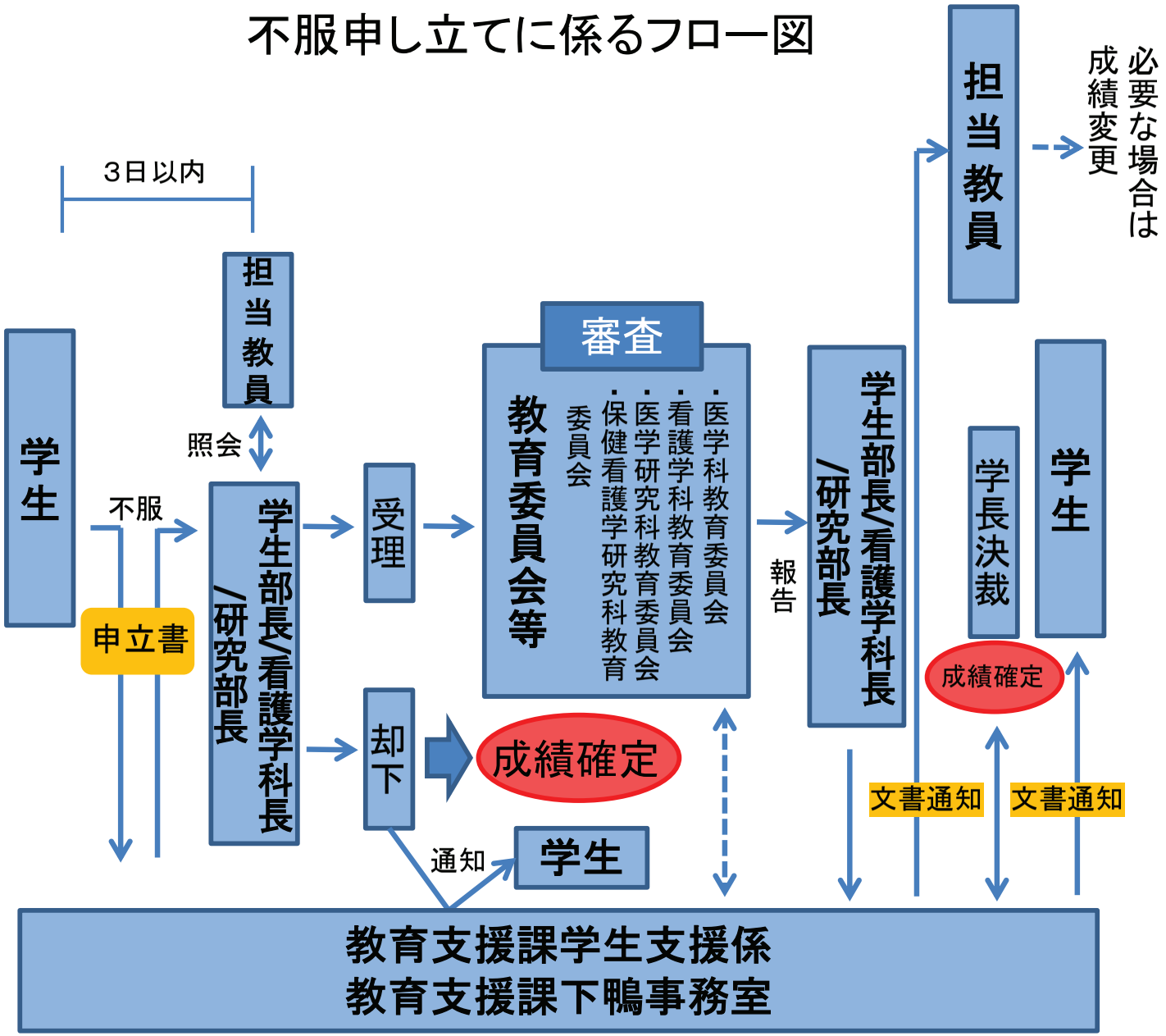
**各評価項目について、当該学生の態度が適応するとみなされる評価スコアのカラムに◯を直接記入してください。**

* 提出物の提出期限について：全提出物あたり、提出期限内に提出したものの割合を％で算出（提出物が1つであれば10点か0点となる）

# 成績確認に係るフロー図



# 不服申し立てに係るフロー図



# Ⅲ　医学基盤教育要項

## 1　医学基盤教育科目の履修（第１学年）

### (1)　科目及び履修条件

医学基盤教育の科目及び履修条件は、別表Ⅰ「医学基盤教育授業科目一覧表」のとおりである。

同表に掲げる必要最低単位数(３６．３単位)を修得すれば、第２学年へ進級できる。

ただし、最小限の単位修得に甘んじることなく、三大学共同化科目を含めてできるだけ多くの授業科目を履修することが望ましい。

別表Ⅰについて、主な注意点を以下に掲げる。

(ｱ)　第１学年で受講すべき授業科目を記載している。

(ｲ)　必修と記載された科目は、必ず受講し単位を修得すること。

(ｳ)　人文科学及び社会科学区分では、必修科目以外の科目で２．６単位以上修得しなければならない。なお、三大学共同化科目の「共同化科目一覧」別表Ⅲ(人間と文化)及び別表Ⅳ(人間と社会)の科目との合算で合計２．６単位以上でもよい。

(ｴ)　自然科学区分では、入学当初に、応用解析学、近代物理学のいずれかを受講するかを決めなければならない。

(ｵ)　第２外国語は２．６単位以上修得しなければならない。また、入学当初にドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、朝鮮韓国語のいずれを受講するかを決めなければならない。ただし、前期と後期で同じ語学のⅠとⅡを受講する。

なお、前期で単位を修得できなかった場合は、後期はラテン語(三大学共同化科目)と修得できなかった語学科目のⅡを受講すること。

(ｶ)　第１学年修了には、区分別に定める必要単位数合計３４．３単位に加え、別途「共同化科目一覧(別表Ⅲ～Ⅴ)」の科目から２単位以上修得して全体で３６．３単位以上修得しなければならない。

### (2)　定期試験及び追再試験

(ｱ)　学生は、当該授業科目の講義時間数の６０％以上出席しなければ試験を受けることができない。なお、欠席は傷病等によりやむを得ず欠席した場合なども含まれるので注意を要する。

実習(演習、体育を含む。以下同じ)については全て出席しなければ試験を受けることや単位を修得することができない。ただし、実習については病気や忌引き等のやむをえない理由があると認められる場合には欠席届をもって出席と認める場合がある。

(ｲ)　定期試験は、別表Ⅱに掲げる試験実施日程で行う。追再試験も特別の事情がある場合を除き、別表Ⅱに定める追再試験実施日程で行う。７月に行われる中間試験以外にも、教科によりその他の中間試験は随時行われる。

### (3)　進級の条件

第１学年末までに医学基盤教育科目の必要最低単位数(３６．３単位)を修得できないと第２学年へ進級できない。第１学年にとどまった学生は、必修科目については単位修得を認められなかった授業科目を再履修しなければならない。ただし、人文科学、社会科学、自然科学及び第２外

国語の選択必修科目並びに自由選択科目については、進級条件を満たせば、別の科目へ変更することも可とする。

### (4)　三大学教養教育共同化について

平成２６年度より、京都府立医科大学、京都府立大学、京都工芸繊維大学は、以下のとおり医学基盤教育の一部の科目の共同化を行った。

(ｱ)　第１学年の共同化科目の授業は、月曜日午後の３、４、５時限目に行う。授業科目は、「科目一覧(別表Ⅲ～Ⅴ)」に示しており、「時間割表」にしたがって行われる。これらから選んで受講する。

(ｲ)　各科目は半期ごと(前期、後期)であり、とくに指示のない限り原則各科目２単位とする。

(ｳ)　これらの科目を修得した単位は、原則として卒業及び２学年への進級要件の単位として認められる。

(ｴ)　講義は、京都府立大学キャンパス内にある三大学教養教育共同化施設(稲盛記念会館)の共同化講義室で行う。

(ｵ)　共同化科目は、「２　共同化科目の履修について」(後掲)に従うため、授業の開始、終了、振替日、試験日程、休講の取扱基準は、本学独自の講義のそれらとは異なることがあるので注意すること。

別表Ⅰ　　医学基盤教育授業科目一覧表

| 区分 | | 授業科目 | 授業期間 | 必修・選択の別 | 授業回数 週 | 授業回数 計 | 単位数 | 必要単位数 区分別 | 必要単位数 全体 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人文科学 | | 生命倫理学 | 前期 | 必修 | 1 | 11 | 1.4 | 1.4単位 | 36.3単位以上(注7) |
| | | 行動科学基礎 | 後期 | 必修 | 1 | 10 | 1.3 | 1.3単位 | |
| | | 医学哲学 | 前期 | 必修 | 1 | 10 | 1.3 | 1.3単位 | |
| | | 認知心理学(三大学共同化科目) | 前期 | 選択 | 1 | 15 | 2 | 2.6単位以上(注3) | |
| | | 医療人類学(三大学共同化科目) | 前期 | 選択 | 1 | 15 | 2 | | |
| | | 現代正義論(三大学共同化科目) | 後期 | 選択 | 1 | 15 | 2 | | |
| | | 共同化科目一覧の別表Ⅲ(人間と文化)から選択<br>＜科目によって、授業期間、授業回数、単位数が異なるので注意＞ | | | | | | | |
| 社会科学 | | 医史学 | 前期 | 選択 | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | | 医療経済学 | 前期 | 選択 | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | | 経営学 | 前期 | 選択 | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | | 医療と法 | 前期 | 選択 | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | | 医療と社会(三大学共同化科目) | 前期 | 選択 | 1 | 15 | 2 | | |
| | | 現代医療の人間観(三大学共同化科目) | 後期 | 選択 | 1 | 15 | 2 | | |
| | | 共同化科目一覧の別表Ⅳ(人間と社会)から選択<br>＜科目によって、授業期間、授業回数、単位数が異なるので注意＞ | | | | | | | |
| 自然科学 | | 数学 | 通年 | 必修 | 1 | 17 | 2.2 | 14.7単位以上 | |
| | | 物理学 | 通年 | 必修 | 1 | 16 | 2.1 | | |
| | | 生体分子化学 | 通年 | 必修 | 1 | 17 | 2.2 | | |
| | | 生物科学 | 通年 | 必修 | 1 | 17 | 2.2 | | |
| | 実習 | 物理学実習 | 前期 | 必修 | 2 | 5 | 1.8(注2) | | |
| | 実習 | 化学実習 | 前期 | 必修 | | 5 | | | |
| | 実習 | 生物学実習 | 前期 | 必修 | | 5 | | | |
| | | 情報リテラシー | 前期 | 必修 | 1 | 4 | 0.5 | | |
| | | 生命物理化学 | 前期 | 必修 | 1 | 9 | 1.2 | | |
| | | 現代生命科学 | 後期 | 必修 | 1 | 9 | 1.2 | | |
| | | 応用解析学 | 後期 | 選択必修 | 2 | 10 | 1.3 | いずれか1.3単位 | |
| | | 近代物理学 | 後期 | | 2 | 10 | 1.3 | | |
| | | 共同化科目一覧の別表Ⅴ(人間と自然)から選択<br>＜科目によって、授業期間、授業回数、単位数が異なるので注意＞ | | | | | | | |
| 外国語 | 第1外国語 | 英語１ | 通年 | 必修 | 1 | 20 | 2.6 | 5.2単位 | |
| | 第1外国語 | 英語２ | 通年 | 必修 | 1 | 20 | 2.6 | | |
| | 第2外国語 | ドイツ語Ⅰ | 前期 | 選択必修(注1) | 1 | 10 | 1.3 | 2.6単位以上(注4) | |
| | 第2外国語 | ドイツ語Ⅱ | 後期 | | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | 第2外国語 | フランス語Ⅰ | 前期 | | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | 第2外国語 | フランス語Ⅱ | 後期 | | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | 第2外国語 | スペイン語Ⅰ | 前期 | | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | 第2外国語 | スペイン語Ⅱ | 後期 | | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | 第2外国語 | 中国語Ⅰ | 前期 | | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | 第2外国語 | 中国語Ⅱ | 後期 | | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | 第2外国語 | 朝鮮韓国語Ⅰ | 前期 | | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | 第2外国語 | 朝鮮韓国語Ⅱ | 後期 | | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | 第2外国語 | ラテン語(三大学共同化科目) | 後期 | | 1 | 15 | 2 | | |
| その他 | | 体育 | 通年 | 必修 | 1 | 20 | 1.3 | 1.3単位 | |
| | | 早期体験実習Ⅰ | 通年 | 必修 | 1 | 4 | 0.5 | 3.9単位 | |
| | | 早期体験実習Ⅱ | 通年 | 必修 | 1 | 5 | 0.6 | | |
| | | 統合授業Ⅰ | 通年 | 必修 | 1 | 4 | 0.5 | | |
| | | リレー講座（キャリア・人権教育） | 通年 | 必修 | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | | 医学概論Ⅰ(三大学共同化科目)(注5) | 後期(３Q) | 選択必修 | 1 | 8 | 1 | いずれか1単位 | |
| | | 医学概論Ⅱ(三大学共同化科目)(注5) | 後期(４Q) | | 1 | 8 | 1 | | |
| 小　計 | | | | | | | | 34.3単位以上(注6) | |

(注1)　Ⅰと Ⅱ は同一言語を履修する。

(注2)　３科目とも単位認定されて１．８単位修得とする。ただし、単位認定は各実習毎に行う。したがって、出席数も各実習毎にカウントする。
再履修は、単位認定されなかった実習科目のみ行う。

(注3)　共同化科目一覧の別表Ⅲ(人間と文化)群及び別表Ⅳ(人間と社会)群の科目との合算で合計２．６単位以上でもよい。

(注4)　ラテン語はⅠに相当し、他の言語Ⅰを修得できなかった場合のみ、その言語Ⅰと読み替える。

(注5)　共同化科目一覧の別表Ⅴ(人間と自然)におけるクォータ制科目として、後期３クォーター(3Q)、４クォーター(4Q)に開講する。

(注6、7)　第1学年修了には、区分別に定める必要単位数合計３４．３単位に加え、別途共同化科目を２単位以上修得して全体で３６．３単位以上修得しなければならない。

別表Ⅱ

# 試験日程（医学科　第１学年）

**【前期】**

| 月日 | 試験 | | 科　　目 | 授業 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 曜日 | 時限 | | 曜日 | 時限 |
| 6月8日 | 月 | － | 共同化科目(第1ｸｫｰﾀｰ科目対象) | 月 | － |
| 6月29日 | 月 | 2 | 英語２（A組） | 月 | 2 |
| 7月9日 | 木 | 1 | 生命物理化学 | 木 | 1 |
| | | 2 | 生体分子化学 | 木 | 2 |
| | | 3 | 英語１ | 木 | 3, 4 |
| | | 4 | 体育 | 木 | 3, 4 |
| 7月10日 | 金 | 1 | 医療経済学 | 金 | 1 |
| | | **2** | 物理学 | 金 | **3** |
| 7月14日 | 火 | 1 | 医学哲学 | 火 | 1 |
| | | 2 | 数学 | 火 | 2 |
| 7月15日 | 水 | 1 | 医史学 | 水 | 1 |
| | | | 医療と法 | | |
| | | 2 | ドイツ語Ⅰ | 水 | 2 |
| | | | フランス語Ⅰ | | |
| | | | スペイン語Ⅰ | | |
| | | | 中国語Ⅰ | | |
| | | | 朝鮮韓国語Ⅰ | | |
| 7月16日 | **木** | **2** | 生物科学 | **金** | **2** |
| | | **3** | 生命倫理学 | **月** | **1** |
| 8月3日 | 月 | － | 共同化科目(第2ｸｫｰﾀｰ科目を含む) | 月 | － |

＜注＞
*「英語２(B組)」は授業内試験*
*「経営学」はレポート試験*

**追・再試験日程【前期】**

| 月日 | 試験 | | 科　　目 | 授業 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 曜日 | 時限 | | 曜日 | 時限 |
| 7月29日 | 水 | 1 | 医史学 | 水 | 1 |
| | | 2 | ドイツ語Ⅰ | 水 | 2 |
| | | | フランス語Ⅰ | | |
| | | | スペイン語Ⅰ | | |
| | | | 中国語Ⅰ | | |
| | | | 朝鮮韓国語Ⅰ | | |
| 7月30日 | 木 | 3 | 生命物理化学 | 木 | 1 |
| 8月31日 | 月 | － | (予定)共同化科目 | 月 | － |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 9月1日 | **火** | **3** | 生命倫理学 | **月** | **1** |
| | | **4** | 医学哲学 | **火** | **1** |

＜注＞
*「医療と法」は再試験はレポート(追試験は別途調整)*
*「医療経済学」は追再試験はレポート*
*「経営学」,「共同化科目」の追再試験は別途調整*

**【後期】**

| 月日 | 試験 | | 科　　目 | 授業 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 曜日 | 時限 | | 曜日 | 時限 |
| 11月16日 | 月 | － | 共同化科目(第3ｸｫｰﾀｰ科目対象) | 月 | － |
| 11月25日 | 水 | 3 | 応用解析学 | 水 | 3 |
| | | | 近代物理学 | | |
| 11月26日 | 木 | 2 | 生体分子化学 | 木 | 2 |
| 11月27日 | **金** | **2** | 現代生命科学 | **火** | **3** |
| 12月1日 | 火 | 2 | 数学 | 火 | 2 |
| 12月2日 | **水** | **3** | 生物科学 | **金** | **2** |
| 12月4日 | 金 | 3 | 物理学 | 金 | 3 |
| 12月7日 | 月 | 2 | 英語２（B組） | 月 | 2 |
| 12月16日 | 水 | 2 | ドイツ語Ⅱ | 水 | 2 |
| | | | フランス語Ⅱ | | |
| | | | スペイン語Ⅱ | | |
| | | | 中国語Ⅱ | | |
| | | | 朝鮮韓国語Ⅱ | | |
| 12月17日 | 木 | 3 | 英語１ | 木 | 3, 4 |
| | | 4 | 体育 | 木 | 3, 4 |
| 12月18日 | **金** | **3** | 行動科学基礎 | **金** | **1** |
| 1月25日 | 月 | － | 共同化科目(第4ｸｫｰﾀｰ科目を含む) | 月 | － |

＜注＞
*「英語２(A組)」は授業内試験*

**追・再試験日程【後期/学年末】**

| 月日 | 試験 | | 科　　目 | 授業 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 曜日 | 時限 | | 曜日 | 時限 |
| 1月14日 | 木 | 2 | 生体分子化学 | 木 | 2 |
| | | 3 | 英語１ | 木 | 3, 4 |
| | | 4 | 体育 | 木 | 3, 4 |
| 1月15日 | **金** | **2** | 行動科学基礎 | **金** | **1** |
| | | 3 | 物理学 | 金 | 3 |
| 1月18日 | **月** | **1** | 生物科学 | **金** | **2** |
| | | 2 | 英語２(B組のみ実施) | 月 | 2 |
| 1月19日 | 火 | 2 | 数学 | 火 | 2 |
| | | 3 | 現代生命科学 | 火 | 3 |
| 1月20日 | 水 | 2 | ドイツ語Ⅱ | 水 | 2 |
| | | | フランス語Ⅱ | | |
| | | | スペイン語Ⅱ | | |
| | | | 中国語Ⅱ | | |
| | | | 朝鮮韓国語Ⅱ | | |
| | | 3 | 応用解析学 | | 3 |
| | | | 近代物理学 | | |
| 2月8日 | 月 | － | (予定)共同化科目 | 月 | － |

＜注＞
*「共同化科目」の追再試験の詳細は別途調整*

# 共同化科目一覧（別表Ⅲ～Ⅴ）

令和8年度京都三大学教養教育共同化科目受講案内より抜粋

## 別表Ⅲ（人間と文化）

| 授業科目 | 授業期間 | 必修・選択の別 | 授業回数 | | 単位数 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 週 | 計 | | |
| 哲学 | 前期 | 選択 | 1 | 15 | 2 | 工・藤田 |
| 比較宗教学 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 工・樽田 |
| アジアの歴史と文化 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 府・井上 |
| 西洋文学論 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 工・山下大 |
| 美と芸術 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 工・舩木 |
| 医療人類学 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 医・竹田 |
| 認知心理学 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 医・村上 |
| 京都の歴史Ⅰ | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 府・横内　ほか |
| 京都の文学Ⅰ | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 府・大塚 |
| 現代イスラーム世界の文化と社会(リベラルアーツ・ゼミナール) | 集中・夏 | | － | 8 | 1 | 機・黒田 |
| 感性の実践哲学(リベラルアーツ・ゼミナール) | 集中・夏 | | － | 8 | 1 | 機・桑子 |
| 資料で京都（リベラルアーツ･ゼミナール) | 集中・夏 | | － | 8 | 1 | 機・藤本　ほか |
| 日本近代精神史 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 工・藤田 |
| 宗教と文化 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 医・竹貫 |
| 日本史 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 工・浅井 |
| 東西文化交流史 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 工・旗手 |
| ヨーロッパの歴史と文化 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 府・阿部　ほか |
| 科学技術の人間学 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 工・秋富 |
| ラテン語 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 医・松本 |
| 西洋文化論 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 工・山下太 |
| 日本近現代文学 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 工・高木 |
| 京都の歴史Ⅱ | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 府・藤本　ほか |
| 京都の文学Ⅱ | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 府・本井 |
| 京の意匠 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 工・山本　ほか |
| 京都の文化と文化財 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 機・宗田　ほか |
| 現代正義論(リベラルアーツ・ゼミナール) | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 医・瀬戸山　ほか |

## 別表Ⅳ（人間と社会）

| 授業科目 | 授業期間 | 必修・選択の別 | 授業回数 | | 単位数 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 週 | 計 | | |
| 社会学Ⅰ | 前期 | 選択 | 1 | 15 | 2 | 府・田島 |
| 国際政治 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 府・宮脇　ほか |
| 医療と社会 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 医・笠井 |
| 法学 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 工・上本 |
| こころの科学 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 工・西崎　ほか |
| 現代社会とジェンダー | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 府・瀧本　ほか |
| 現代教育論 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 工・末岡 |
| 食ブランディング論 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 府・平本 |
| 京の産業技術史 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 工・畑 |
| 現代京都論 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 府・藤本ほか |
| 京都学講座（人間と社会) | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 機・小沢　ほか |
| 現代社会に学ぶ問う力・書く力(リベラルアーツ・ゼミナール) | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 機・杉山 |
| 発達心理学 | 集中・夏 | | － | 15 | 2 | 医・上條 |
| 世界はいま(リベラルアーツ・ゼミナール) | 集中・夏 | | － | 8 | 1 | 機・榎原 |
| 時事問題で学ぶファシリテーション(リベラルアーツ・ゼミナール) | 集中・夏 | | － | 15 | 2 | 機・居神 |
| 社会学Ⅱ | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 府・中谷 |
| 政治学 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 工・西村 |
| 経済学入門 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 工・人見 |
| 生活と経済 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 府・小沢 |
| 現代社会と心 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 府・石田正 |
| 環境と法 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 工・吉川 |
| 現代医療の人間観 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 医・杉岡 |
| 社会科学の学び方(リベラルアーツ・ゼミナール) | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 機・杉山 |
| プレゼンテーション力とは(リベラルアーツ・ゼミナール) | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 機・榎原 |

## 別表Ⅴ（人間と自然）

| 授業科目 | 授業期間 | 必修・選択の別 | 授業回数 | | 単位数 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 週 | 計 | | |
| | | | | | | |
| 化学概論Ⅰ | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 工・田嶋 |
| 生物学概論Ⅰ | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 工・疋田 |
| 人と自然と数学αⅠ（１Ｑ） | 前期（１Ｑ） | | 1 | 8 | 1 | 工・峯 |
| 人と自然と数学αⅡ（２Ｑ） | 前期（２Ｑ） | | 1 | 8 | 1 | 工・峯 |
| 生物学的人間学 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 医・後藤　ほか |
| 科学史 | 前期 | | 1 | 8 | 2 | 工・中条 |
| 環境問題と持続可能な社会 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 工・山田 |
| 食と健康の科学 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 府・小林　ほか |
| キャンパスヘルス概論 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 工・牛込 |
| エネルギー科学 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 工・林 |
| 現代科学と倫理 | 前期 | 選択 | 1 | 15 | 2 | 府・岩崎 |
| 光と色彩のサイエンス | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 機・石田昭 |
| 京都の自然 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 府・平山　ほか |
| 製品の機能から科学を学ぶ(リベラルアーツ・ゼミナール) | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 機・石田昭 |
| レーザーで測る、創る、楽しむ(リベラルアーツ・ゼミナール) | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 機・播磨 |
| 生命科学講話 | 集中・夏 | | − | 15 | 2 | 府・塚本　ほか |
| 化学概論Ⅱ | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 工・角野 |
| 生物学概論Ⅱ | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 工・伊藤 |
| 京都の農林業 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 府・中村　ほか |
| 人と自然と数学β | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 工・磯崎 |
| 京都の防災と府民 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 機・田淵　ほか |
| 意外と知らない植物の世界(リベラルアーツ・ゼミナール) | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 機・松谷　ほか |
| 医学概論Ⅰ（３Ｑ） | 後期（３Ｑ） | 選択必修 | 1 | 8 | 1 | 医・橋本　ほか |
| 医学概論Ⅱ（４Ｑ） | 後期（４Ｑ） | 選択必修 | 1 | 8 | 1 | 医・橋本　ほか |

**（参 考）**

**（再掲）リベラルアーツ･ゼミナール**

| 授業科目 | 授業期間 | 必修・選択の別 | 授業回数 | | 単位数 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 週 | 計 | | |
| 現代社会に学ぶ問う力・書く力(リベラルアーツ・ゼミナール) | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 機・杉山 |
| 製品の機能から科学を学ぶ(リベラルアーツ・ゼミナール) | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 機・石田昭 |
| レーザーで測る、創る、楽しむ(リベラルアーツ・ゼミナール) | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 機・播磨 |
| 現代イスラーム世界の文化と社会(リベラルアーツ・ゼミナール) | 集中・夏 | | − | 8 | 1 | 機・黒田 |
| 感性の実践哲学(リベラルアーツ・ゼミナール) | 集中・夏 | | − | 8 | 1 | 機・桑子 |
| 資料で京都（リベラルアーツ･ゼミナール） | 集中・夏 | | − | 8 | 1 | 機・藤本　ほか |
| 世界はいま(リベラルアーツ・ゼミナール) | 集中・夏 | 選択 | − | 8 | 1 | 機・榎原 |
| 時事問題で学ぶファシリテーション(リベラルアーツ・ゼミナール) | 集中・夏 | | 1 | 15 | 2 | 機・居神 |
| 現代正義論（リベラルアーツ・ゼミナール） | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 医・瀬戸山　ほか |
| 社会科学の学び方(リベラルアーツ・ゼミナール) | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 機・杉山 |
| プレゼンテーション力とは(リベラルアーツ・ゼミナール) | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 機・榎原 |
| 人と自然と数学β（リベラルアーツ・ゼミナール） | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 工・磯崎 |
| 意外と知らない植物の世界(リベラルアーツ・ゼミナール) | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 機・松谷　ほか |

**（再掲）京都学**

| 授業科目 | 授業期間 | 必修・選択の別 | 授業回数 | | 単位数 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 週 | 計 | | |
| 京都の歴史Ⅰ | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 府・横内　ほか |
| 京都の歴史Ⅱ | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 府・藤本　ほか |
| 京都の文学Ⅰ | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 府・大塚 |
| 京都の文学Ⅱ | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 府・本井 |
| 京の意匠 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 工・山本　ほか |
| 資料で京都（リベラルアーツ･ゼミナール） | 集中・夏 | | − | 8 | 1 | 機・藤本　ほか |
| 京都の文化と文化財 | 後期 | 選択 | 1 | 15 | 2 | 機・宗田　ほか |
| 京の産業技術史 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 工・畑 |
| 現代京都論 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 府・大島 |
| 京都学講座（人間と社会） | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 機・小沢　ほか |
| 京都の農林業 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 府・中村　ほか |
| 京都の防災と府民 | 後期 | | 1 | 15 | 2 | 機・田淵　ほか |
| 京都の自然 | 前期 | | 1 | 15 | 2 | 府・平山　ほか |

担当教員欄は、工：工芸繊維大学、府：府立大学、医：府立医科大学、機：京都三大学教養教育研究・推進機構

# 共同化科目開講時間割

## 前　期

令和8年度京都三大学教養教育共同化科目受講案内より抜粋

| 曜日・コース ＼ 科目群 | | 人間と文化 | 人間と社会 | 人間と自然 |
|---|---|---|---|---|
| 月曜 | 2 10:30～12:00 | フランス語圏の文化とジャポニスム(※2回生以上)(工・吉川 順子) | マーケティング入門(リベラルアーツ・ゼミナール)(※2回生以上)(機・児玉 英明) | |
| | | 映画で学ぶドイツ語と文化(※3回生以上)(府・杉山東洋) | | |
| | 3 12:50～14:20 | 美と芸術(工・舩木 理悠) | 社会学Ⅰ(府・田島 知之) | 化学概論Ⅰ(工・田嶋 邦彦) |
| | | 認知心理学(医・村上 嵩至) | 法学(工・上本 翔大) | 科学史(工・中条 太聖) |
| | | 京都の歴史Ⅰ(府・横内 裕人ほか) | 現代教育論(工・末岡 加奈子) | 環境問題と持続可能な社会(工・山田 悦) |
| | | | | 製品の機能から科学を学ぶ(リベラルアーツ・ゼミナール)(機・石田 昭人) |
| | 4 14:30～16:00 | 哲学(工・藤田 尚志) | 医療と社会(医・笠井 敬太) | 人と自然と数学αⅠ(1Q)、Ⅱ(2Q)(工・峯 拓矢) |
| | | 医療人類学(医・竹田 響) | 京の産業技術史(工・畑 智子) | 生物学的人間学(医・後藤 仁志ほか) |
| | | 京都の文学Ⅰ(府・大塚 誠也) | 京都学講座(人間と社会)(機・小沢 修司ほか) | 食と健康の科学(府・小林 ゆき子 ほか) |
| | | | 現代京都論(府・藤本　仁文ほか) | キャンパスヘルス概論(工・牛込 恵美) |
| | | | | 光と色彩のサイエンス(機・石田 昭人) |
| | | | | レーザで測る、創る、楽しむ(リベラルアーツ・ゼミナール)(機・播磨 弘) |
| | 5 16:10～17:40 | 比較宗教学(工・樽田 勇樹) | 国際政治(府・宮脇 昇ほか) | 生物学概論Ⅰ(工・疋田 努) |
| | | アジアの歴史と文化(府・井上　直樹) | こころの科学(工・西崎 友規子ほか) | エネルギー科学(工・林 康明) |
| | | 西洋文学論(工・山下 大吾) | 現代社会とジェンダー(府・瀧本 知加ほか) | 現代科学と倫理(府・岩崎 豪人) |
| | | | 食ブランディング論(府・平本 毅) | 京都の自然 (府・平山 貴美子ほか) |
| | | | 現代社会に学ぶ問う力・書く力(リベラルアーツ・ゼミナール)(機・杉山 東洋) | |

## 後　期

【注】「医学概論Ⅰ及びⅡの開講日時はシラバスの授業日程を確認すること

| 曜日・コース ＼ 科目群 | | 人間と文化 | 人間と社会 | 人間と自然 |
|---|---|---|---|---|
| 月曜 | 2 10:30～12:00 | 映画で学ぶ英語と文化(※3回生以上)(府・後藤　篤) | | 人間生物学(※2回生以上)(府・山下　博史) |
| | | 英語で京都(※3回生以上)(府・山口エレノア) | | |
| | 3 12:50～14:20 | 日本近代精神史(工・藤田 尚志) | 社会学Ⅱ(府・中谷 勇哉) | 【注】医学概論Ⅰ(3Q)、Ⅱ(4Q)(医・橋本 直哉ほか) |
| | | 東西文化交流史(工・旗手 瞳) | 政治学(工・西村 真彦) | 意外と知らない植物の世界(リベラルアーツ・ゼミナール)(機・松谷 茂ほか) |
| | | 日本近現代文学(工・高木 彬) | 環境と法(工・吉川 聡美) | |
| | | 京都の歴史Ⅱ(府・藤本 仁文ほか) | | |
| | 4 14:30～16:00 | 日本史(工・浅井 雅) | 現代社会と心(府・石田 正浩) | 人と自然と数学β(工・磯崎 泰樹) |
| | | ヨーロッパの歴史と文化(府・阿部 拓児ほか) | 現代医療の人間観(医・杉岡 良彦) | 京都の防災と府民(機・田淵 敦士ほか) |
| | | 科学技術の人間学(工・秋富 克哉) | プレゼンテーション力とは(リベラルアーツ・ゼミナール)(機・榎原 美樹) | |
| | | 京都の文学Ⅱ(府・本井 牧子) | | |
| | | 現代正義論(リベラルアーツ・ゼミナール)　(医・瀬戸山 晃一ほか) | | |
| | 5 16:10～17:40 | 宗教と文化(医・竹貫 友佳子) | 経済学入門(工・人見 光太郎) | 化学概論Ⅰ(工・角野 広平) |
| | | 西洋文化論(工・山下 太郎) | 生活と経済(府・小沢 修司) | 生物学概論Ⅱ(工・伊藤　雅信努) |
| | | 京の意匠(工・山本 史ほか) | 社会科学の学び方(リベラルアーツ・ゼミナール)(機・杉山 東洋) | 京都の農林業(府・中村 貴子ほか) |
| | | ラテン語(医・松本 加奈子) | | |
| | | 京都の文化と文化財(機・宗田 好史ほか) | | |

## 集中開講

| | | | |
|---|---|---|---|
| 夏　期 | 現代イスラーム世界の文化と社会(リベラルアーツ・ゼミナール)(機・黒田 賢治)<br>(8月26日2～5コース、27日1～4コース) | 発達心理学(医・上條 史絵)<br>(8月26日～28日　各1～5コース) | 生命科学講話(府・塚本 康浩ほか)<br>(8月24日～26日　各1～5コース) |
| | 感性の実践哲学(リベラルアーツ・ゼミナール)<br>(機・桑子 敏雄)<br>(8月18日～19日　各2～5コース) | 世界はいま(リベラルアーツ・ゼミナール)<br>(機・榎原 美樹)<br>(8月24日2～5コース、25日1～4コース) | やさしい看護学(※工繊大生・府大生対象)<br>(医・内海 桃絵　ほか)<br>(8月6日～7日　各1～4コース) |
| | 資料で京都(リベラルアーツ・ゼミナール)<br>(機・藤本 仁文ほか)<br>(8月18日～19日　各1～4コース) | 時事問題で学ぶファシリテーション(リベラルアーツ・ゼミナール)(機・居神 浩)<br>(8月31日～9月2日、4日～5日 各2～4コース) | |

# ２　共同化科目の履修について

令和８年度京都三大学教養教育共同化科目受講案内より抜粋

共同化科目とは

**京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学の各大学が教養科目を相互に提供し、提供されたすべての科目を各大学が自大学の科目としている科目群です。**

## (1)　単　位

共同化科目は、各大学の正規科目であり、修得した場合の単位は、各大学の規定に則り付与されます。

## (2)　セメスター制（※）の授業日（※　前期・後期各 15 回の授業と１回の試験を実施する科目）

①　下表のとおり、原則として**月曜日に開講**されます。前後期とも最終週が試験日となります。

②　令和８年度は、前期はオンデマンド授業２回、後期はオンデマンド授業４回を含む 15 回、試験は１回です。
　なお、**オンデマンド授業については各科目担当教員の指示に従って受講してください。**

③　２年次以降は、共同化科目が開講される月曜日に、各大学で共同化科目以外の科目も開講されるため、所属する大学の学部・学科・課程によっては、共同化科目の履修が難しくなる場合もありますので、計画的な履修を行ってください。

④　**クォーター制**については次頁「**9**」を参考にしてください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 前期 | 令和８年<br>４月：１３日(ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ)、２０日、２７日<br>５月：１１日、１８日、２５日<br>６月：１日、８日、１５日、２２日、２９日<br>７月：６日、１３日、２７日<br>※4 月 13 日以外にオンデマンド授業が１回あります。<br>試験日：８月３日 | 後期 | ９月：２８日(ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ)<br>１０月：５日、１４日（水）１９日、２６日<br>１１月：２日、９日、１６日、３０日<br>１２月：７日、１４日、２１日<br>令和９年<br>１月：１８日<br>※9 月 28 日以外にオンデマンド授業が２回あります。<br>試験日：１月２５日 |

## (3)　授業時間

以下の開講時限（コース）により行われます。（各授業科目の開講時限（コース）は、巻末の時間割を参照のこと。）

| 時限（コース） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|---|
| 時間 | 8:50～10:20 | 10:30～12:00 | 12:50～14:20 | 14:30～16:00 | 16:10～17:40 |

## (4)　開講場所について

共同化科目は、原則として府立大学下鴨キャンパス敷地内の**教養教育共同化施設「稲盛記念会館」にて開講**されます。

※科目によってはオンライン授業となることがあります。

## (5)　履修の手続き

『令和８年度京都三大学教養教育共同化科目受講案内』８～９頁の「令和８年度 授業科目の履修定員」などを参照の上、各大学において必要な履修登録の手続きを行ってください。

## (6)　試　験

定期試験は、「試験日」に、以下の時間割どおり実施します。試験に関して必要なことは、試験の前に別途お知らせします。

| 時限（コース） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|---|
| 時間 | 9:00～10:20 | 10:35～11:55 | 12:50～14:10 | 14:30～15:50 | 16:10～17:30 |

## (7)　休講基準（対面授業時）

(ｱ) 共同化科目の授業について、暴風警報等が発令された場合など次のいずれかの一つに該当する場合は授業を休講とします。

①　京都市又は京都市を含む地域に気象等に関する特別警報又は暴風警報が発令された場合

②　京都市営バス及び地下鉄が全面停止の場合

③　ＪＲ西日本（京都駅発着の在来線 ㈱、阪急電鉄（大阪梅田駅－京都河原町駅間）、京阪電気鉄道（淀屋橋駅又は中之島駅－出町柳駅間）及び近畿日本鉄道（大和西大寺駅－京都駅間）の４交通機関のうち３以上の運行が停止の場合

④　その他京都三大学教養教育研究・推進機構運営委員長が必要と認めた場合

※　京都駅発着の在来線とは、京都線及び神戸線の一部（神戸駅－京都駅間）、琵琶湖線（米原駅－京都駅間）、湖西線

の一部（近江今津駅－京都駅間）、嵯峨野線（園部駅－京都駅間）並びに奈良線及び関西本線の一部（奈良駅－京都駅間）のいずれかをいいます。

（イ）警報の解除又は交通機関の運行再開（以下「解除等」という。）に伴う授業の取扱いは次のとおりです。

① 午前　６時００分までに解除等となった場合・・・平常どおり授業を実施

② 午前１０時００分までに解除等となった場合・・・午後の授業を実施

休講及び授業実施のお知らせは、各大学からそれぞれの連絡方法によりお知らせします。

上記の基準は、共同化科目に適用されるものであり、各大学で開講される授業の休講基準は、大学ごとに異なる点がありますので、各大学の基準に従ってください。

## (8) 三大学の学生が利用出来る施設について

① 「稲盛記念会館」自習室

1階と2階にある自習室を利用出来ます。利用可能時間は、月曜日から金曜日（祝日を除く）の 7:30～18:00 です。

② 京都府立植物園

無料で入園できます。植物園入り口で学生証を提示してください。

## (9) クォーター制について ※

三大学共同化科目のうち、下記の科目についてはクォーター制で開講します。

| 前期 | | 後期 | |
|---|---|---|---|
| 第1クォーター | 第2クォーター | 第3クォーター | 第4クォーター |
| 人と自然と数学αⅠ(1Q) | 人と自然と数学αⅡ(2Q) | 【注】医学概論Ⅰ(3Q) | 【注】医学概論Ⅱ(4Q) |

※府大ではクォーター制の取扱がないため、「Ⅰ又はⅡ」及び「『1Q、2Q、3Q及び4Q』のいずれか」の表記を除いた科目名で履修登録します。

**【注】「医学概論Ⅰ及びⅡの開講日時はシラバスの授業日程を確認すること**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | 第1クォーター | 令和８年<br>４月：１３日(ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ)、２０日、２７日<br>５月：１１日、１８日、２５日<br>６月：１日<br>試験日：６月８日<br>※4 月 13 日以外にオンデマンド授業が**1回**あります | 後期 | 第3クォーター | ９月：２８日(ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ)<br>１０月：５日、１４日（水）１９日、２６日<br>１１月：２日、９日<br>試験日：１１月１６日<br>※9月 28 日以外にオンデマンド授業が**1回**あります。 |
| | 第2クォーター | ６月：１５日、２２日、２９日<br>７月：６日、１３日、２７日<br>試験日：８月３日<br>※上記の期間内にオンデマンド授業が**2回**あります。 | | 第4クォーター | １１月：３０日<br>１２月：７日、１４日、２１日<br>令和９年<br>１月：１８日<br>試験日：１月２５日<br>※上記の期間内にオンデマンド授業が**3回**あります。 |

① 受講登録は、第1・第2クォーターは前学期登録時に、第3・第4クォーターは後学期登録時に行います。

② クォーター科目の授業日と試験日

〇各クォーターには8回の授業と1回の試験があります。8回の授業には1回～3回のオンデマンド授業が含まれます。

〇第1クォーターと第3クォーターの初回授業はオンデマンド授業となります。

〇試験の代わりにレポート課題などが実施される場合、試験日が授業日となることがあります。その場合はオンデマンド授業が1回減ります。

# 3 「週間」授業時間割表(第１学年)

| | | | 前期 | 後期 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 月 | 1 | | 生命倫理学（瀬戸山） | 応用解析学（吉井）／<br>近代物理学（川野、酒谷） | |
| | 2 | | 英語２（A組木塚・B組ジェンセン） | 英語２（A組ジェンセン・B組木塚） | |
| | 3 | 三大学共同化科目 | 認知心理学（村上） | | 医大(医学科)提供科目を選択の場合 |
| | 4 | | 医療と社会（笠井）/医療人類学（竹田） | 現代医療の人間観（杉岡）／<br>現代正義論（瀬戸山、立場） | |
| | 5 | | | ラテン語（松本） | |
| 火 | 1 | | 医学哲学（杉岡） | | |
| | 2 | | 数学（吉井） | | |
| | 3 | | 物理学実習／生物学実習／化学実習 | 現代生命科学（吉澤、山田、後藤） | |
| | 4 | | | 医学概論Ⅰ(橋本他) | |
| | 5 | | | | |
| 水 | 1 | | 医史学（八木）／医療と法（鵜飼） | | |
| | 2 | | 第２外国語Ⅰ | 第２外国語Ⅱ | |
| | 3 | | 物理学実習／生物学実習／化学実習／<br>情報リテラシー(吉井) | 応用解析学（吉井）／<br>近代物理学（川野、酒谷） | |
| | 4 | | | 医学概論Ⅱ(橋本他) | |
| | 5 | | | | |
| 木 | 1 | | 生命物理化学（武元） | 現代生命科学（吉澤、山田、後藤） | |
| | 2 | | 生体分子化学（大庭） | | |
| | 3 | | 体育（A組・元安）／英語１（B組・三宅） | | |
| | 4 | | 英語１（A組・三宅）／体育（B組・元安） | | |
| | 5 | | | | |
| 金 | 1 | | 医療経済学（髙山）／経営学（瓜生原） | 行動科学基礎（村上） | |
| | 2 | | 生物科学（吉澤、山田、後藤） | | |
| | 3 | | 物理学（高西） | | |
| | 4 | | リレー講義（キャリア・人権） | | |
| | 5 | | | | |

注1）：物理学実習／化学実習／生物学実習、情報リテラシーの日程については別途指示
　　実習は各実習室にて行う。情報リテラシーは広小路キャンパス地階情報科学実習室で、13：20から行う。

注2）：第２外国語
　　ドイツ語Ⅰ・Ⅱ（熊谷）
　　フランス語Ⅰ・Ⅱ（モクタリ）
　　スペイン語Ⅰ・Ⅱ（小川）
　　中国語Ⅰ・Ⅱ（陳）
　　朝鮮韓国語Ⅰ・Ⅱ（由村）

注3）：不定期の開講もあるので、各科目の授業日程表を確認すること。

| 授業時間 | |
|---|---|
| 1 | 8:50 ～10:20 |
| 2 | 10:30 ～12:00 |
| 3 | 12:50 ～14:20 |
| 4 | 14:30 ～16:00 |
| 5 | 16:10 ～17:40 |

# 4　医学基盤教育科目の履修（第２学年～第５学年）

## (1)　授業科目

| 科目名 | 学年 | 授業期間 | 必修・選択の別 | 開講時限 | 授業回数 | 単位 | 場　　所 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教養英語 ※1 | 2年生 | 通年 | 必修 | 金曜4限<br>又は5限<br>（指定ｸﾗｽによる） | 22 | 2.5 | 河原町 |
| 医学英語 ※2 | 3年生 | 通年 | 必修 | 木曜1限<br>又は2限<br>（指定ｸﾗｽによる） | 24 | 2.5 | 河原町 |
| 統合授業Ⅱ | 3年生 | 1月 | 必修 | 1月最終週<br>1～4(･5)限 | 4 | 0.5 | 広小路/<br>下鴨 |
| 行動科学応用 | 4年生 | 4～5月 | 必修 | (火･) 木曜<br>4・5限 | 8 | 1 | 河原町 |
| 医療倫理学 | 5年生 | 10(～11)月 | 必修 | 集中講義 | 12 | 1.5 | Ｚｏｏｍ/<br>下鴨(203講義室)<br>(授業で指示) |
| 医療統計学 | 5年生 | 6～10月 | 必修 | 水曜日<br>3・4(･5)限 | 22 | 2.5 | 広小路/<br>河原町<br>(情報科学実習室/<br>北臨床講義室) |

※1 Advanced Presentation & Academic Writing

※2 Basic Medical English

## (2)　進級

学年末において必要な単位を修得していない学生は、当該学年にとどまり、次年度、原則として単位修得を認定されなかった授業科目を再履修しなければならない。

## (3)　試験実施時期等

| 科目名 | 中間試験 | 追再試験 | 定期試験 | 追再試験 | 試験の形式 |
|---|---|---|---|---|---|
| 教養英語 | － | － | － | － | 授業内プレゼンテーション<br>及び小論文作成 |
| 医学英語 | － | － | － | － | 教科書各章終了時の筆記試験(合計4回)<br>及び授業内プレゼンテーション |
| 統合授業Ⅱ | － | － | － | － | 実習時の課題、レポート、発表 |
| 行動科学応用 | － | － | 6月2日<br>13:30～15:30 | 7月24日<br>13:30～15:30 | 筆記試験 |
| 医療倫理学 | － | － | 11月13日<br>3限 | 12月22日<br>4限 | 筆記試験 |
| 医療統計学 | － | － | － | － | 実習時の課題、確認テストの提出課題 |

※１　時間指定をしていないものは、普段の開講時間に試験を実施

# Ⅳ　専門教育要項

## 1　専門教育科目の履修

1　授業科目（別表Ⅰ専門教育授業科目一覧表参照）

（１）必修科目

解剖学、生理学、分子医科学、感染病態学（微生物・医動物学）、免疫学、薬理学、病理学、保健・予防医学、法医学、循環器ユニット、呼吸器ユニット、神経ユニット、消化器ユニット、内科学、外科学（小児外科学、小児心臓血管外科学を含む）、整形外科学、産婦人科学、小児科学、眼科学、皮膚科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、精神医学、放射線医学、麻酔科学、感染症学・臨床検査医学（臨床病理学を含む）、救急医療学、総合医療・地域医療学、臨床実習前 OSCE 講座、リハビリテーション医学、生物統計学、臨床実習、地域医療実習、臨床演習、CC Basic、総合講義、研究配属

（２）選択科目

歯科口腔科学、臨床病理セミナー

（３）その他

特別講義、関連講義、補講等

2　試　　験

（１）定期試験は原則として授業終了時の学期末又は次の学期末に、追試験及び再試験は、第６学年及び特別の事情がある場合を除き、各学年に１回行う。中間試験は随時行う。（別表Ⅱの専門科目試験実施時期一覧表参照）

（２）学生は、講義（臨床演習を含む。）時間数の６０％以上及び実習（臨床演習を除く演習を含む。）については全て出席しなければ、当該試験を受けることができない。ただし､実習に関しては､病気や忌引き等のやむを得ない理由があると認められる場合には、欠席届を以って出席と認める場合がある。

（３）臨床授業科目の試験は、第一次試験と第二次試験（総合試験）とに分けて行う。第一次試験は原則として、講義終了時又はその学期末若しくは次の学期末に、第二次試験は第６学年の後期にそれぞれ行う。

（４）総合講義修了の認定については、次のとおりとする。

学年毎に単位認定を行う。(学年での単位が取得でなきかった場合は､留年となる。)

各講義の小テストによる合格数が「各項目に６０％以上」を満たすものについて各項目の修了を認定する｡修了した項目数が学年で行われる項目数の３分の２以上である場合に、学年の総合講義の単位認定を行う。

（５）研究配属修了の認定については、オリエンテーション講座の出席、レポートの提出、口頭発表などにより配属教室において判定する。

（６）選択科目についての追再試験は実施しない。

3 進　　級

各学年の進級要件は、次の要件を全て満たしている者とする。なお、要件を満たさない者は当該学年にとどまり、次年度、原則として単位修得を認定されなかった科目を再履修する。

（1）第2学年末において、第2学年に行われる基礎医学授業科目（解剖学、生理学及び分子医科学、感染病態学（微生物・医動物学）、免疫学、薬理学及び病理学）及び教養英語、総合講義の全ての科目の単位を修得した者

（2）第3学年末において、第3学年に行われる臨床医学科目、生物統計学、統合授業、総合講義及び医学英語の全ての科目の単位を修得した者

（3）第4学年末において、社会医学、国際医学英語、行動科学応用、臨床演習、CC Basic、総合医療・地域医療学、臨床実習前 OSCE 講座、研究配属及び総合講義について、全ての科目の単位を修得し、共用試験（CBT 及び Pre-CC OSCE）に合格した者

（4）第5学年末において、臨床実習（クリニカル・クラークシップⅠ）を修了し、総合講義、地域医療実習、医療倫理学及び医療統計学の全ての科目の単位を修得及び進級試験に合格した者

4 卒　　業

第6学年の卒業要件は、臨床実習（クリニカル・クラークシップⅡ）を修了の上、臨床実習の単位を修得し、共用試験（臨床実習後 OSCE）及び卒業試験に合格するとともに、ディプロマポリシーを満たした者とする。なお、要件を満たさない者は当該学年にとどまり、次年度、原則として単位修得を認定されなかった科目を再履修する。

別表Ⅰ

**専門教育授業科目一覧表（平成30年度以前入学者）**

| 区分 | 授業科目 | 必修・選択の別 | 回数 | 単位 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 基礎医学 | 解剖学◎ | 必修 | 136 | 9 | 計４６単位（実習を含む） |
| | 生理学◎ | 必修 | 88 | 8 | |
| | 分子医科学◎ | 必修 | 90 | 8 | |
| | 感染病態学(微生物・医動物学)◎ | 必修 | 74 | 5 | |
| | 免疫学◎ | 必修 | 42 | 4 | |
| | 薬理学◎ | 必修 | 55 | 4 | |
| | 病理学◎ | 必修 | 105 | 8 | |
| 社会医学 | 保健・予防医学◎ | 必修 | 70 | 4.5 | 計６．５単位（実習を含む） |
| | 法医学◎ | 必修 | 20 | 2 | |
| 臨床医学 | 内科学（神経内科学・老年内科学を含む）◎ | 必修 | 65 | 6.5 | 計３２単位 |
| | 外科学（小児外科学を含む）◎ | 必修 | 40 | 4 | |
| | 脳神経外科学◎ | 必修 | 10 | 1 | |
| | 整形外科学◎ | 必修 | 16 | 1.5 | |
| | 産婦人科学◎ | 必修 | 22 | 2 | |
| | 小児科学◎ | 必修 | 18 | 1.5 | |
| | 眼科学◎ | 必修 | 10 | 1 | |
| | 皮膚科学◎ | 必修 | 10 | 1 | |
| | 泌尿器科学◎ | 必修 | 10 | 1 | |
| | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学◎ | 必修 | 10 | 1 | |
| | 精神医学◎ | 必修 | 10 | 1 | |
| | 放射線医学◎ | 必修 | 11 | 1 | |
| | 麻酔科学◎ | 必修 | 10 | 1 | |
| | 疼痛・緩和医療学◎ | 必修 | 3 | | |
| | 感染症学・臨床検査医学◎ | 必修 | 12 | 1 | |
| | 救急医療学◎ | 必修 | 12 | 1 | |
| | 総合診療学◎ | 必修 | 63 | 4.5 | |
| | リハビリテーション医学◎ | 必修 | 8 | 1 | |
| | 生物統計学◎ | 必修 | 8 | 1 | |
| | 医療レギュラトリーサイエンス学 | 必修 | 2 | 0.25 | |
| | 臨床実習◎ | 必修 | 1440 | 72 | 計７３単位 |
| | 地域医療実習◎ | 必修 | 20 | 1 | |
| | 臨床演習◎ | 必修 | 44 | 4.5 | 計４．５単位 |
| その他 | 総合講義Ⅰ◎ | 必修 | 50 | 5 | 計１６単位 |
| | 総合講義Ⅱ◎ | 必修 | 16 | 1.5 | |
| | 総合講義Ⅲ◎ | 必修 | 37 | 3.5 | |
| | 研究配属◎ | 必修 | 120 | 6 | |
| | 歯科口腔科学◎ | 選択 | 6 | 0.5 | |
| | 臨床病理セミナー◎ | 選択 | 10 | 1 | |

（注１）このほか、特別講義及びセミナー等を随時開催することができる。

（注２）**◎印の科目は医師等が自らの実務経験を活かし授業（講義、演習、実習等）を行う実務家教員担当科目である**。

別表Ⅰ

**専門教育授業科目一覧表（平成31年度以降入学者）**

| 区分 | 授業科目 | 必修・選択の別 | 回数 | 単位 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 基礎医学 | 解剖学◎ | 必修 | 140 | 9.3 | 計43.6単位（実習を含む） |
| | 生理学◎ | 必修 | 88 | 7.8 | |
| | 分子医科学◎ | 必修 | 90 | 8.1 | |
| | 感染病態学(微生物・医動物学)◎ | 必修 | 48 | 4 | |
| | 免疫学◎ | 必修 | 40 | 3.7 | |
| | 薬理学◎ | 必修 | 51 | 3.9 | |
| | 病理学◎ | 必修 | 86 | 6.8 | |
| 社会医学 | 保健・予防医学◎ | 必修 | 69 | 5.2 | 計7.2単位（実習を含む） |
| | 法医学◎ | 必修 | 20 | 2 | |
| 臨床医学 | 循環器ユニット◎ | 必修 | 29 | 1.9 | 計36.3単位 |
| | 呼吸器ユニット◎ | 必修 | 39 | 2.6 | |
| | 神経ユニット◎ | 必修 | 64 | 4.3 | |
| | 消化器ユニット◎ | 必修 | 41 | 2.7 | |
| | 内科学（ユニット科目除く）◎ | 必修 | 25 | 2.5 | |
| | 外科学（ユニット科目除く）◎ | 必修 | 21 | 2.1 | |
| | 整形外科学◎ | 必修 | 16 | 1.6 | |
| | 産婦人科学◎ | 必修 | 22 | 2.2 | |
| | 小児科学◎ | 必修 | 18 | 1.8 | |
| | 眼科学◎ | 必修 | 10 | 1 | |
| | 皮膚科学◎ | 必修 | 10 | 1 | |
| | 泌尿器科学◎ | 必修 | 10 | 1 | |
| | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学◎ | 必修 | 10 | 1 | |
| | 精神医学◎ | 必修 | 10 | 1 | |
| | 放射線医学◎ | 必修 | 11 | 1.1 | |
| | 麻酔科学◎ | 必修 | 13 | 1.3 | |
| | 感染症学・臨床検査医学◎ | 必修 | 11 | 1.1 | |
| | 救急医療学◎ | 必修 | 10 | 1 | |
| | 総合医療・地域医療学◎ | 必修 | 9 | 0.9 | |
| | 臨床実習前OSCE講座 | 必修 | 40 | 2.6 | |
| | リハビリテーション医学◎ | 必修 | 8 | 0.8 | |
| | 生物統計学◎ | 必修 | 8 | 0.8 | |
| | 臨床実習◎ | 必修 | 1440 | 72 | 計73単位 |
| | 地域医療実習◎ | 必修 | 20 | 1 | |
| | 臨床演習◎ | 必修 | 35 | 3.5 | 計3.5単位 |
| その他 | 総合講義Ⅰ◎ | 必修 | 8 | 0.8 | 計17.4単位 |
| | 総合講義Ⅱ◎ | 必修 | 22 | 2.2 | |
| | 総合講義Ⅲ◎ | 必修 | 15 | 1.5 | |
| | 総合講義Ⅳ◎ | 必修 | 29 | 2.9 | |
| | 総合講義Ⅴ◎ | 必修 | 28 | 2.8 | |
| | 研究配属◎ | 必修 | 120 | 6 | |
| | 国際医学英語(International Medical English) ◎ | 必修 | 12 | 1.2 | |
| | 歯科口腔科学◎ | 選択 | 6 | 0.6 | |
| | 臨床病理セミナー◎ | 選択 | 10 | 1 | |

（注１）このほか、特別講義及びセミナー等を随時開催することができる。

（注２）**◎印の科目は医師等が自らの実務経験を活かし授業（講義、演習、実習等）を行う実務家教員担当科目である**。

令和８年度　実務経験のある教員等による授業科目一覧（臨床医学）

| 教室名 | 職名 | 代表教員 | 実務経験の内容 |
|---|---|---|---|
| 内分泌・免疫内科学 | 教授 | 福井　道明 | 医師 |
| 循環器・腎臓内科学 | 教授 | 的場　聖明 | 医師 |
| 呼吸器内科学 | 教授 | 髙山　浩一 | 医師 |
| 消化器内科学 | 教授 | 高木　智久 | 医師 |
| 血液内科学 | 教授 | 黒田　純也 | 医師 |
| 脳神経内科学 | 教授 | 尾原　知行 | 医師 |
| 消化器外科学 | 教授 | 塩崎　敦 | 医師 |
| 移植・一般外科学 | 講師 | 昇　修治 | 医師 |
| 内分泌・乳腺外科学 | 教授 | 直居　靖人 | 医師 |
| 心臓血管外科学 | 教授 | 小田　晋一郎 | 医師 |
| 呼吸器外科学 | 教授 | 井上　匡美 | 医師 |
| 小児外科学 | 教授 | 小野　滋 | 医師 |
| 形成外科学 | 病院教授 | 沼尻　敏明 | 医師 |
| 脳神経外科学 | 教授 | 橋本　直哉 | 医師 |
| 整形外科学 | 教授 | 高橋　謙治 | 医師 |
| リハビリテーション医学 | 教授 | 三上　靖夫 | 医師 |
| 産婦人科学 | 教授 | 森　泰輔 | 医師 |
| 小児科学 | 教授 | 家原　知子 | 医師 |
| 眼科学 | 教授 | 外園　千恵 | 医師 |
| 皮膚科学 | 教授 | 福本　毅 | 医師 |
| 泌尿器科学 | 教授 | 浮村　理 | 医師 |
| 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 | 教授 | 平野　滋 | 医師 |
| 精神医学 | 教授 | 成本　迅 | 医師 |
| 放射線医学 | 教授 | 山田　恵 | 医師 |
| 麻酔科学 | 教授 | 天谷　文昌 | 医師 |
| 感染症学・臨床検査医学 | 教授 | 貫井　陽子 | 医師 |
| 救急医療学 | 教授 | 松山　匡 | 医師 |
| 臨床病理学 | 教授 | 小嶋　基寛 | 医師 |
| 総合医療・地域医療学 | 教授 | 四方　哲 | 医師 |

臨床医学講義については、すべて実務経験のある教員（大学附属病院等における勤務経験のある医師等）によって実施されている。

別表Ⅱ

# 専門科目試験実施時期一覧表

| 学年 | | 2学年 | | | | | | 3学年 | | | | | | 4学年 | | | | | | | 5学年 | | | | | | 6学年 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学期 | | 前期 | 夏休 | 後期 | | 冬休 | 春休 | 前期 | 夏休 | 後期 | | 冬休 | 春休 | 前期 | 夏休 | 後期 | | 冬休 | 春休 | | 前期 | 夏休 | 後期 | 冬休 | 春休 | 前期 | 夏休 | 後期 | 冬休 | 春休 |
| 基礎医学科目 | 解剖学 | | | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 生理学 | | | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 分子医科学 | | | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 薬理学 | | | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 感染病態学(微生物・医動物学) | | | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 免疫学 | | | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 病理学 | | | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 社会医学 | 保健・予防医学 | | | | | | | | | | | | | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 法医学 | | | | | | | | | | | | | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 共用試験（CBT・OSCE） | | | | | | | | | | | | | | | | | ● | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 臨床医学科目 | 内科学 | | | | | | | ● | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 外科学 | | | | | | | ● | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 産婦人科学 | | | | | | | ● | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 小児科学 | | | | | | | ● | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 精神医学 | | | | | | | ● | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 放射線医学 | | | | | | | ● | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 感染症学・臨床検査医学 | | | | | | | ● | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 臓器別ユニット | | | | | | | ● | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 整形外科学 | | | | | | | | | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 眼科学 | | | | | | | | | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 皮膚科学 | | | | | | | | | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 泌尿器科学 | | | | | | | | | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 | | | | | | | | | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 麻酔科学(疼痛・緩和医療学を含む) | | | | | | | | | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 救急医療学 | | | | | | | | | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | リハビリテーション医学 | | | | | | | | | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 生物統計学 | | | | | | | | | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総合医療・地域医療学 | | | | | | | | | | | | | | | | ● | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | 進級試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ● | ○ | | | | | | |
| | 卒業試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ★ | ○ | |
| | Post－CC OSCE | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ★ | ○ | |
| 進級判定 | | | | △ | | | | | | | | △ | | | | △ | | | | | | | △ | | | | | △ | |

（注）変更される場合があるので、注意すること。

凡例

| | |
|---|---|
| ● | 定期試験 |
| ○ | 追再試験 |
| ★ | 卒業試験 |

（注）1　第２・３・４学年の留年生は不合格となった授業科目を再度履修し、定期試験から受験することができる。

2　その他の試験実施上の注意事項は、別に掲示する。

# 令和８年度　講義室

**第１学年　　第２講義室（基礎医学学舎１階）**

**※後期（2 月 15 日～）**

**第２学年　　第２講義室（基礎医学学舎１階）**

**第３学年　　第１講義室（基礎医学学舎１階）**

**第４学年　　南臨床講義室（臨床講義棟２階）**

12 月からは臨床実習である。

**第５学年　　北臨床講義室（臨床講義棟２階）**

4 月からは臨床実習である。

**第６学年　　第１演習室（基礎医学学舎２階）**

4 月からは臨床実習である。

## ２　研究配属の履修（第４学年）

### Ⅰ　目　的

一般の講義、実習など受動的かつ記憶主体的な医学教育の欠点を補うために、学生が基礎・社会医学分野を中心とした研究領域に積極的に参加する研究配属を行う。

この中で、早期から研究室に出入りすることにより、研究室の雰囲気に触れ、現在どのようなことが研究されているのか、基礎研究を中心とした分野での少人数指導のもと、将来の医学研究者の芽を育て、また、能動的に新しい分野にチャレンジする態度を養うことを目的とする。

### Ⅱ　対象となる学年、期間、実施期間

第４学年１学期　令８年６月８日から７月１７日まで６週間

毎週月曜～金曜　第１時限から第４時限まで終日

### Ⅲ　受入れ教室

次ページ以降参照

### Ⅳ　学生の割振り等

学生の希望をもとに各教室への配属を決定する。

臨床分野あるいは学外（国内・国外を問わず）での研究を希望する者があれば、配属教室にこれらの臨床教室や施設等を紹介してもらうことができる。

### Ⅴ　内　容

１　実験的研究
２　病理学や法医学の症例報告
３　調査的研究
４　教室で行う輪読会や研究会への参加
５　その他、研究成果の発表

### Ⅵ　評価基準

出席、レポート、口頭発表などにより、配属教室において評価する。

### Ⅶ　オリエンテーション講座

次年度研究配属に向けたオリエンテーション講座を、今年度第３学年を対象に研究配属第６週最終日に実施する。

### Ⅷ　その他

研究配属第１週に、学術情報の活用講座の授業を教室単位で１回受講することが必須である。

# 解剖学教室

## 生体構造科学部門

### 1　教室の研究

生体構造科学部門は神経系について形態学的手法を軸に用いながら研究を行っている。すなわち、神経細胞同士の連絡やネットワークまた周囲組織との相関を出来るだけ可視化して分析しようと試みている。形態学とは、細胞、組織という基本的な構造を崩さないで、さまざまな物質の局在や動き、さらにはその働きを明らかにし、その知見を生体システムの理解へとつなげる研究分野である。私たちは、形というものを単なる器としてとらえるのではなく、動的な機能発現の場として位置づけている。そのため他の研究手法、例えば分子生物学的、生化学的、または生理・薬理学的な手法と、形態学的手法を融合した研究を展開することになる。現在教室では以下に述べるようなプロジェクトが進行し、標的分子の可視化と共にその他の解析を加えて、細胞レベルから組織、生体にいたるまで広く研究を行っている。これまでの研究成果については教室ホームページ(http://www.f.kpu-m.ac.jp/k/anatomy1/)を参照して頂きたい。

1) 生殖に関わるホルモンおよび受容体についての研究

生命体にとって「生殖機能」は最も重要な生存維持機構の一つで、教室では生殖活動に関わるホルモンの脳における作用機序を解明すべく研究を行っている。具体的には、妊娠・出産に伴う脳・神経細胞の形態変化やエストロゲンなどの性ホルモンとその受容体の分子・細胞動態を捉えるべく、形態学的手法を軸に種々の解析方法を加えて研究を進めている。

2) 情動・ストレスの脳内機構解明についての研究

うつなど、気分・情動障害やアルコール依存・摂食等の大脳辺縁系の機能に関与する分子機構について研究を行っている。側坐核と呼ばれる前脳領域や視床下部・脳幹において、NPY などの神経伝達物質/受容体がどのように個体レベルでの行動調節に関わるのかをウイルスベクターや遺伝子改変マウスを用いて解析を行っている。

3) 神経疾患についての基礎的研究

脳小血管病は､加齢とともに増加し､脳卒中や認知症の原因となる疾患である｡本教室では、高血圧によって脳の細い血管がどのように障害されるのかを、動物モデルを用いて研究している。特に、ミクログリアなどのグリア細胞が血管や脳組織の障害にどのように関与するかに注目している。

### 2　研究配属の方針と内容

研究配属期間に研究室とはどのような所であるのかを体験し、基礎医学研究の一端に触れてもらう。具体的には各教員の指導のもと、配属された学生が上に記した教室の研究にもとづく、研究テーマをそれぞれ与えられて実験を行う。短期間に必ずしも面白い結果が出るとは限らないが、講義や実習とは異なる、教室で行われている研究の一部に参加して、その苦労と醍醐味を少しでも感じて貰えれば生体構造科学へ配属された価値があると考える。

## 生体機能形態科学部門

１　教室の研究

先天性心疾患は、新生児に見られる奇形としては最も頻度が高く、特に新生児から乳児期の死因の主要因である。先天性心疾患患者の長期的予後を改善するためには、診断学と治療学の進歩だけではなく、胎児期に心臓を構成するパーツである各細胞がどのように発生し、かつそれらがどのように相互作用しながら正しい心臓の形を作り上げて行くのかを更に深く知らねばならない。このような知見は、ES/iPS 細胞などの幹細胞を利用した心臓の再生医療にも非常に重要である。本研究室では、モデル動物、ES 細胞・iPS 細胞、そして最新の技術を駆使しながら、心臓の形態形成過程を主要な研究対象とし、胚発生でどのような動作原理が機能して私たちの体が出来上がっていくのか、その理解を目指す研究を展開している。

２　研究配属の方針と内容

実際に研究がどのように進められているかを知るために、研究室内で推進されている研究テーマ（下記一覧）の一部を分担する形で配属期間を過ごしてもらうことを基本とする。発生生物学や幹細胞生物学を中心とした研究を体験することができる。

（１）心臓前駆細胞の分化と心臓の形態形成に関わる分子機構
（２）臓器錯位症候群における複雑心奇形発症の分子機構
（３）一次線毛内の機能ドメイン形成と嚢胞腎発症の分子機構
（４）中心体の恒常性に関わる分子機構
（５）ヒト先天性心疾患病理標本の３次元画像解析

病理学および臨床医学を学び終え、臨床実習が始まる前にもう一度系統解剖を復習したいと希望する学生も、人体解剖の実施目的での研究配属として受け入れることが可能である。また、Problem Based Learning を通じて、研究論文を精読するためのスキルを身につけるセミナーを実施する用意もあり、このセミナー受講希望者も受け入れる。

この研究室配属には各自のプロジェクトに対して能動的に取り組み、各々が臨床医学的視点から基礎医学を捉え直し、科学的・論理的に物事を捉え考えるスキルを養って欲しい。

# 生理学教室

## 細胞生理学部門

### １　教室の研究

味覚などの化学感覚を対象とした感覚の神経機構、およびイオンチャネルが担う生命現象を研究している。分子・細胞から個体までを対象に、電気生理学・光学・分子生物学・分子遺伝学・光遺伝学・行動学などの科学技術を駆使して、以下の研究を行っている。

（１）イオンチャネルとシナプスの生物物理学
（２）味覚と内受容の神経生理科学
（３）感覚と体内状態が織りなす行動原理の神経回路基盤

### ２　研究配属の方針と内容

相談をもとに独自のテーマを決定し、研究を遂行する。加えて、研究室内セミナーに参加して

最先端のサイエンスについて議論を交わすことを通じて、学術的・社会的に重要な基礎医学研究を遂行するとは如何なることか、その楽しさを経験することを目的とする。

教室 HP：https://www.tarunolab.com

## 統合生理学部門

### 1　教室の研究

＜背景＞

ヒトを含む生物は、地球環境への適応と内部環境の恒常性維持によって、生きることができている。概日リズム（Circadian Rhythm）は、昼夜の環境変化への適応による動的恒常性を担う普遍的な生理機能である。従って、概日リズムを制御している概日時計（体内時計）の不全状態は、睡眠覚醒リズム障害のみならず、様々な疾患との関連が注目されている。シフトワーカーを含む不規則な生活を余儀なくされる人々は、世界の国々で労働者の１０～３０％を占めると言われており、その２０～３０％が何らかの健康障害を有している。このように、概日リズム障害は、世界的な喫緊の医学的・社会的課題となっている。

＜統合生理学の研究テーマ＞

統合生理学では、マウスを用いた「自分の体内時計に従わない生活の影響」の観察、ヒトの概日リズム障害の病態再現､その背景にある恒常性破綻メカニズムの解明をおこなっている｡また、そもそも、体内時計とは何か？という問いに応えるための、全身の細胞に備わる体内時計の成立原理解明、２４時間周期の謎、といったテーマも教室の柱となる研究である。そして、そこから派生した、体節時計と概日時計による発生過程の制御、形態形成ではなく機能形成に着目した機能発生学、胎児期の各臓器における機能獲得の原理、母体と胎児の情報伝達機構、などのテーマについても臨床科との共同研究を進めている。さらに、ヒトの概日リズム生理学研究を含め､「時間による生命の制御」について体系的な研究を展開している。

＜研究配属で期待すること＞

研究配属では、これらの実験を通して生命の本質的な現象に触れるとともに、その社会的インパクトも含め広く対話形式で学びながら､「生命の原理」について考えていく。

この中で、未解明の医学的課題に対するアプローチを体験するとともに、優秀かつモチベーションの高い学生については、学生研究として学会発表や論文発表を目指す。

### 2　研究配属の方針と内容

上記の研究テーマに関連した実験に参加するとともに、一人ひとりが考え意見を述べることができることを目標とする。

# 分子医科学教室

## 分子生化学部門

**１　教室の研究**

（１）　ゲノム編集

（２）　DNA 修復機構

（３）　発生工学的手法を用いたがん遺伝子・がん抑制遺伝子の機能解析

（４）　転写因子群による造血発生制御と白血病発症に関する研究

（５）　新規分子標的治療法の探索と応用

**２　研究配属の方針と内容**

ゲノム解析技術の急激な発展に伴い、疾患に関わる遺伝的背景が次々と明らかになってきた。単一の遺伝子異常を原因とする疾患の中には、現在も有効な治療法が確立されていない重篤なものが多数存在する。

こうした疾患に対する新たな治療戦略として、ゲノム編集技術は重要な研究基盤の一つとして位置づけられている。

医療への応用に向けては、安全性や有効性など多くの課題が残されている。

それでも、実際にゲノムを操作する研究に取り組むことは、将来、研究者や医師として研究や医療に携わる上で不可欠な基礎的素養を養う機会となる。

研究活動では、仮説の設定、実験計画の立案、実験の実施、結果の解析および考察という一連の過程を経験する。実験が計画どおりに進まない場合や、予想とは異なる結果が得られる場合も含め、研究過程そのものを重視する。

その中で、問題点を分析し、適切にトラブルシューティングを行い、自身の仮説を検証・修正しながら結論に到達する姿勢を身につけることを目的とする。

上記のテーマに関連した研究に参加し、研究の背景、目的、手法、結果および考察を体系的に整理する。

その成果を資料としてまとめ、第三者に対して論理的かつ明瞭に発表することを到達目標とする。

簡潔に言えば､本研究室では､教員とともにゲノム編集をはじめとする分子生物学実験に取り組み、研究の流れを基礎配属実習として実際に経験します。

## ゲノム医科学部門

**１　教室の研究**

（１）ヒトゲノムと疾患関連遺伝子の研究

（２）がんの予後を制御する因子に関する研究

（３）アデノウイルスを用いた遺伝子導入法の開発・応用

（４）神経系幹細胞の生物学

（５）形態形成とシグナル伝達分子について

**２　研究配属の方針と内容**

（１）方針

分子生物学の実験の基礎とその応用について、具体的なテーマを与え、実践する。

GWAS 解析、NGS 解析、ゲノム寄与率算出に関する英文原著論文の精読と発表とレポート作成。

（２）内容

現在、急速に発展しているこの分野に興味を持ち、かつ熱意のある学生を歓迎する。

テーマは、主に、ｃＤＮＡクローニングやタンパク質科学の「いろは」で、特に熱意のある学生には、特化したテーマを与え、アデノウイルスによる遺伝子導入法の実際や、高感度分泌型タンパク質のイムノアッセイなど、遺伝子工学、分析化学、再生医学的研究の一端を体験してもらう予定である。また、ヒトゲノム研究の最新の研究事情を学ぶのに適した環境があるため、、たいへん刺激に満ちた研究現場体験も目的である。英文論文は、3 回精読すればどんどん読める能力を身につけることができる。英文原著論文精読を教員がマンツーマンで指導して 3 回のうちの 1 回を実行する。

# 感染病態学（微生物・医動物）教室

**１　教室の研究**

本教室は、微生物学的な基礎研究を行っている。具体的には以下の研究項目が挙げられる。

（１）インフルエンザウイルスやコロナウイルスをはじめとする各種ウイルスの病原性の分子メカニズムを明らかにするための研究

（２）ヒト体内（臨床検体)、媒介昆虫(蚊、ダニなど)および病原体（原虫）中に存在するウイルス等を標的とした網羅的な微生物ゲノム探索による微生物感染と各種疾患との関連解明のための研究

（３）ウイルスだけでなく細菌や真菌、寄生虫の薬剤（消毒薬）の有効性評価、環境安定性（環境中でどの程度の期間感染力を維持し続けるか）の評価

（４）環境中や空間中に存在するウイルス・細菌・真菌の検出方法の構築

**２　研究配属の方針と内容**

- 担当教員の指導の下、上記の研究テーマについて実際に研究を行うことにより、実験技術・方法を習得し、サイエンスの面白さに触れることを目指す。
- 配属期間終了後（夏季休暇中、さらにはそれ以降）の継続的な研究参加も積極的に受け入れる。継続的な研究に挑戦する場合、論文の著者となることも可能である。論文執筆や一つの研究の完遂に興味がある場合は、気軽に教官に相談すること（貢献度に応じて筆頭著者となることも可能）
- また希望者がいれば、微生物学、医動物学や感染症に関連する論文抄読コースも準備する。

# 免疫学教室

**１　教室の研究**

本教室では、免疫学、再生医学等に関する様々な研究を行っている。具体的には、

（１）体細胞リプログラミングの機構解明、移植用細胞の創出と再生医療への応用

（２）ウイルス感染防御の分子機構とその制御

（3）アレルギー疾患の病態における免疫応答解析と免疫療法
（3）悪性腫瘍の微小環境における免疫応答解析と免疫療法
（4）サイトカインの機能、シグナル伝達とその免疫応答制御における役割
などである。

**2　研究配属の方針と内容**

少人数のチームに分かれて、上記テーマの研究活動に実際に参加し、実験を体験することにより研究のおもしろさを知ってもらう。

また、希望者がいれば上記研究に関連した論文抄読も行う。

# 薬理学教室

**1　教室の研究**

本教室では、細胞や実験動物モデルを用いて、各種癌やストレス反応（酸化的ストレス・活性酸素種など)、細胞内シグナル伝達が関わる多様な生体機構の解明を行い、薬物の効果との関連を検討している。以下が現在の主たる研究テーマである。

（1）癌細胞の悪性度ならびに投薬の効果についての評価
（2）循環器疾患における活性酸素の役割の解析
（3）メタボリック症候群ならびに生活習慣病と合併疾患の解析
（4）DOHaD、胎生期・発達期における栄養不足や環境因子が病気の発症に与える影響の検討

**2　研究配属の方針と内容**

（1）学生と指導教員との協議により上記の研究テーマ或いは臨床薬理学に関する小テーマを決定し、実験研究または調査研究に分かれて取り組む。実験研究はデータの解析と評価を、調査研究については結果をまとめたレポートを作成する。
（2）具体的な研究の進め方や研究技法の習得と成果の発表ができるように支援する。希望があれば教室内の抄読会、関連学会や研究会などに出席できるよう配慮する。

# 病理学教室

## 細胞分子機能病理学部門

**1　教室の研究**

病理学（Pathology）は、疾患の発生メカニズム（pathogenesis）を研究する学問である。ヒューマンゲノムプロジェクトの完成を初めとする分子生物学の発達により、疾患遺伝子が次々クローニングされ、多くの単一遺伝子疾患において発生原因は不明であるという記述が過去の遺物となりつつある。すなわち、ある遺伝子の異常がどのように疾患を発生させるか、そのメカニズムを解明する段階に入り、病理学的思考がますます重要となってきた。

本研究室は、細胞内外および細胞間の情報伝達をつかさどる機能分子の異常について、最新の

分子細胞生物学的技術やイメージング技術を用いてアプローチし、疾患の発症メカニズムを解明することを目的とする。

主な研究テーマを以下に示す。

（1）心筋の機能分子の動態を可視化することにより心筋の形態異常や機能異常の発生メカニズムを解明する。

（2）細胞の増殖・分化をコントロールする因子を探る。

（3）様々なレーザ光を用いて生体の機能を捉える。

**2　研究配属の方針と内容**

研究配属では、研究グループの一員として、決められた時間に制限されず、実験計画にしたがって、一つのテーマを遣り遂げる必要がある。熱意と実行力がある人（２－３人程度）には、例えば、以下の様な実験テーマを考えている。

細胞培養の基礎と遺伝子トランスフェクション

先端光技術による生体組織の機能的・形態的解析　など

研究配属の期間に実験のおもしろさを知り、その後も研究を継続することを願っている。

## 分子病態病理学部門

**1　教室の研究**

本部門では、「基礎と臨床の架け橋となる病理学」を目標に、次に掲げる研究テーマに、形態学的、生化学的、細胞生物学的、分子生物学的手法を駆使して取り組んでいる。

(1) ゲノム編集マウスを用いた遺伝性神経筋疾患の分子病態研究

(2) 自己免疫性脳炎・視神経脊髄炎の診断に有用なバイオマテリアルの構築

(3) 肺腺癌・大腸癌で認められる新規転移様式 STAS の空間オミックス研究

(4) 肺腺癌の再発リスク低減を目指した術式選択のための術前リキッドバイオプシー診断法の開発

(5) 病理解剖症例解析、ヒト脳の神経病理学的解析

**2　研究配属の方針と内容**

研究配属のめざすところは、基礎研究グループの一員として加わることにより、研究の潮流を知るとともに、研究の考え方、進め方を体得することにある。研究手技や知識の単なる習得を目標とはしない。従って、受け入れ人数は数名とする（病理解剖症例の解析を希望する場合も同様に受け入れ人数は数名とする）。配属を希望する学生には、上記研究テーマに関連した小テーマの中から、各自の希望を勘案してテーマを決定し、教室スタッフが指導する。研究期間は配属期間内にとどまることなく、延長が可能である。また、研究成果は論文にまとめるとともに学会で発表できるように指導する。なお希望により、本教室と親交の深い国内外の研究室での研修も視野に入れる。また、研究配属期間中は教室内のセミナー、学内外の研究会などへの参加により、基礎研究の醍醐味を知ってもらいたい。

# 保健・予防医学教室

## 予防医学部門

### 1　教室の研究

がんを始めとする様々な疾患に対する予防法を開発するにあたって、「科学的根拠」に基づくことは必須であり、その「科学的根拠」として、その疾患の発生・進展の分子機序の解明、それら分子の遺伝子レベルでの個人差と疾患発生へのリスク寄与の評価、そしてその分子に作用する化合物（予防薬）の探索、そしてその臨床評価など様々な研究アプローチがある。当教室では、その「科学的根拠」の確立となる研究を幅広いアプローチから実施している。

しかしながら、科学的根拠に基づく予防法が確立され、そのアウトリーチ活動も行政を中心に精力的に実施されてはいるが、健康な人が予防のための行動を起こすことは「世界医学 100 年の課題」と呼ばれるほどに困難であり、その成果も不十分といえる。

疾患予防のアプローチとしてハイリスク・ストラテジーとポピュレーション・ストラテジーが謳われているが、それらの集団に対して効率的に「行動変容」を起こさしめることも、社会医学としての「予防医学」の課題でもある。

### 2　研究配属の方針と内容

生活習慣の改善を目的とした「行動変容」を効率的に実施するために、スマートフォンアプリをツールとして用いることで、効率的なアウトリーチ活動が可能と考え、予防医学部門の研究配属では、そのアプリのコンテンツの要となる「科学的根拠」を提示するための、最新の臨床研究論文や疫学研究論文の精査および抄録作業を行う。また、アプリ開発チームとのミーティング等も実施する。加えて、社会医学においても細胞等を用いた基礎実験は、上述の「科学的根拠」を確立・検証するだけでなく、予防理論を強化する上でも重要な位置を占める。そこで、希望者にはマンツーマンによる基礎実験を体験するコースも別途用意する。

## 公衆保健科学部門

### 1　教室の研究

本教室では健康寿命、循環器疾患やがんなどの非感染性疾患に与える要因の解明を通して、公衆衛生の向上に貢献することを目標に、疫学的な手法を用いて以下のテーマで研究を行っています。

（1）　健康寿命に影響を与える要因の解明
（2）　生活習慣病（がん・循環器疾患等）や老年期疾患の発生要因の疫学研究
（3）　生活習慣病の改善を促す行動科学的指導方法の開発と有効性の評価に関する研究

### 2　研究配属の方針と内容

疫学的な考え方は、将来の医師という職務の中で基礎医学、臨床医学、社会医学といった専攻に関わらず重要である。研究配属では、疫学研究論文を読むことによって、研究デザインやバ

イアス、交絡、解析方法などの実際を学ぶとともに、京都市内の中学校での防煙教室などに参加することで健康情報をどのように伝えるかについても実践的に学ぶ。また希望する学生は、厚生労働省や京都府内の保健所等での実習や、学会や論文での発表を目指して、上記テーマに関連した内容で研究を行うことも可能である。

**３　評価と単位認定**

下記の二つを合わせて総合的に評価し、単位認定を行います。

（１）教室内の発表会における個人発表

（２）参加態度

# 法医学教室

**１　教室の研究**

本教室では、法医診断の精度向上を目的として、以下の幅広い分野にわたる研究を行っている。

（１）法医病理学

（２）法歯学

（３）法中毒学

（４）異状死の疫学研究

（５）個人識別に関する研究(年齢推定、地理的識別など)

**２　研究配属の方針と内容**

研究配属では、法医解剖に参加することを通じて、死因究明における法的・科学的手順を学ぶとともに、将来臨床医として必要となる法医学の基本的知識および技能の習得を目標とする。

また、上記の研究領域の中から学生の興味・関心に応じて研究テーマを選択し、実際の研究活動に参加することで、医学研究の基本的な考え方や研究の進め方を修得する。

配属期間中は、解剖症例検討会や抄読会などの教室内セミナーにも参加する。加えて、京都府警察本部、科学捜査研究所、児童相談所等を訪問するほか、教室外の学会・研究会に参加する機会が設けられる場合がある。

# 脳・血管系老化研究センター

## 基礎老化学部門

**１　部門の研究テーマ**

老化に伴って発症するアルツハイマー病やパーキンソン病などの神経変性疾患の基礎研究を、分子生物学・細胞生物学的な視点から行っています。特に、細胞内の主要な分解機能であるオートファジーに着目して疾患発症の機序や治療法の開発を研究しています。また最近の研究から、多くの神経変性疾患は原因となる病原性タンパク質がプリオン様に脳内を伝播することが明らかになりつつあり、このような分子メカニズムの研究も行っている。

1） オートファジー関連因子 SQSTM1/p62 の変異による ALS 発症機序

2） オートファジー関連因子 WDR45 とタウオパチーの解析

3） ストレス顆粒と神経変性疾患

4） 神経変性疾患の新しい細胞モデルの構築や治療法開発

**２　研究配属の方針と内容**

研究配属では、担当教員の指導で上記研究テーマに関連した実験を体験してもらいます。具体的には、分子生物学的実験（遺伝子クローニングや遺伝子配列決定など)、生化学実験（タンパク質精製や電気泳動など）や細胞生物学的実験（細胞培養や細胞染色など）を行ってもらう予定です。そして、実験結果をまとめ発表会で報告してもらいます。

詳しい研究の内容や業績については教室のホームページ（http://www.f.kpu-m.ac.jp/k/cellbio/）を参照してください。受け入れ人数は 2-4 名程度。

# Ⅴ　学術情報の活用講座

## Ⅰ　目　　的

第１学年：図書館の存在を知る
　　：図書の探し方を知る、提携館について知る
第４学年：実習や研究に必要な雑誌論文の調べ方を学ぶ
　　：研究・臨床で必要な文献検索について学ぶ
　　：臨床で必要な文献検索について学ぶ

## Ⅱ　指 導 者

原則として本学附属図書館職員

## Ⅲ　日程・履修内容

１　第１学年

| 区　分 | 日　　程 | 時限 | 内　　容 |
|---|---|---|---|
| 前期 | 新入生ガイダンスにおいて実施 | ― | 大学図書館活用入門：大学図書館を使い倒そう |

２　第４学年　授業協力（保健・予防医学）

| 区　分 | 日　　程 | 時限 | 内　　容 |
|---|---|---|---|
| 前期 | 4月14日（火） | 3限 | 文献検索入門　PubMed・医中誌Webの使い方 |

３　第４学年

| 区　分 | 日　　程 | 時限 | 内　　容 |
|---|---|---|---|
| 前期 | 研究配属　第１週（予定）<br>6月8日（月）～12日（金）の期間中に実施 | ― | 学術情報の検索と活用 |

４　第４学年　授業協力（総合診療学）

| 区　分 | 日　　程 | 時限 | 内　　容 |
|---|---|---|---|
| 後期 | 11月4日（水） | 4限 | 臨床での文献検索 |

# Ⅵ　ＫＰＵＭ学プログラム一覧

医学教育については、日本中の医学部・医科大学がカリキュラムの編成上参考にするものとして、医学モデル・コア・カリキュラムが定められている。この内容がカリキュラム全体の約７０％を占めているが、大学毎に工夫することも許されている。

本学では、(1)大学の設立、(2)京都府における大学の果たす役割、(3)基礎医学研究、(4)医師のプロフェッショナリズム育成、(5)国際交流事業、(6)学際的教育分野等を、本学（ＫＰＵＭ）の特徴を反映したものとして定め、カリキュラム上でＫＰＵＭ学としてまとめている。

なお、単位認定や試験は各科目のシラバスで定めている。

| 学　年 | 講　義　科　目 |
|---|---|
| １年 | 生命倫理学、現代正義論、医史学、情報リテラシー、早期体験実習Ⅰ・Ⅱ<br>リレー講座（キャリア・人権教育）、統合授業Ⅰ |
| ２年 | Advanced Presentation & Academic Writing<br>総合講義Ⅰ（先端生命科学） |
| ３年 | Basic Medical English、統合授業Ⅱ<br>総合講義Ⅱ（ゲノム医学） |
| ４年 | 国際医学英語、総合医療・地域医療学、研究配属<br>総合講義Ⅲ（臨床倫理学） |
| ５年 | 医療倫理学、医療統計学、地域医療実習 |

※　　は選択科目、他は必修科目である。

# 令和8年度　第1学年　授業時間割【年間】

| | 月 | | | | | 火 | | | | | 水 | | | | | 木 | | | | | 金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ |
| 3/30(月) ～ 4/3(金) | 3/30(月) | | | | | 3/31(火) | | | | | 4/1(水) | | | | | 4/2(木) | | | | | 4/3(金) | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 履修ガイダンス（下鴨キャンパス） | | | 教科書販売開始 | 4/4(土) 入学式 |
| 4/6(月) ～ 4/10(金) | 4/6(月) | | | | | 4/7(火) | | | | | 4/8(水) | | | | | 4/9(木) | | | | | 4/10(金) | | | | |
| | 新入生ガイダンス/学術講座 図書館ホール/ｺﾄ・ｽｸｴｱ | | | | | 医哲 | 数 | ガイダンス授業 動物実験 ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ | | | 医史/医法 | 2外Ⅰ | | 情報リテラシー（広小路ｷｬﾝﾊﾟｽ） | 登録 | 物化 | 分化 | 体育/英１ | | | 医経/経営 | 生物 | 物理 | 補足ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ 事務部門 | |
| 4/13(月) ～ 4/17(金) | 4/13(月) | | | | | 4/14(火) | | | | | 4/15(水) | | | | | 4/16(木) | | | | | 4/17(金) | | | | |
| | 生倫 | A)英2 B)英2 | 共同化科目（オンデマンド） | | | 医哲 | 数 | 物/化/生物 実習 | | | 医史/医法 | 2外Ⅰ | | 情報リテラシー（広小路ｷｬﾝﾊﾟｽ） | | 物化 | 分化 | 体育/英１ | | | 医経/経営 | 生物 | 物理 | リレー講義 先輩に学ぶ | |
| 4/20(月) ～ 4/24(金) | 4/20(月) | | | | | 4/21(火) | | | | | 4/22(水) | | | | | 4/23(木) | | | | | 4/24(金) | | | | |
| | 生倫 | A)英2 B)英2 | 共同化科目 | | | 医哲 | 数 | 物/化/生物 実習 | | | 医史/医法 | 2外Ⅰ | | 情報リテラシー（広小路ｷｬﾝﾊﾟｽ） | | 物化 | 分化 | 体育/英１ | | | 医経/経営 | 生物 | 物理 | リレー講義 SNSと人権 | |
| 4/27(月) ～ 5/1(金) | 4/27(月) | | | | | 4/28(火) | | | | | 4/29(水) | | | | | 4/30(木) | | | | | 5/1(金) | | | | |
| | 生倫 | A)英2 B)英2 | 共同化科目 | | | （対慈恵戦） | | | | | （昭和の日） | | | | | （対慈恵戦） | | | | | （対慈恵戦） | | | | |
| 5/4(月) ～ 5/8(金) | 5/4(月) | | | | | 5/5(火) | | | | | 5/6(水) | | | | | 5/7(木) | | | | | 5/8(金) | | | | |
| | みどりの日 | | | | | こどもの日 | | | | | （祝日法の休日） | | | | | 物化 | 分化 | 体育/英１ | | | 医経/経営 | 生物 | （健康診断）河原町ｷｬﾝﾊﾟｽ | リレー講義 予備 | |
| 5/11(月) ～ 5/15(金) | 5/11(月) | | | | | 5/12(火) | | | | | 5/13(水) | | | | | 5/14(木) | | | | | 5/15(金) | | | | |
| | 生倫 | A)英2 B)英2 | 共同化科目 | | | 医哲 | 数 | 物/化/生物 実習 | | | 医史/医法 | 2外Ⅰ | | 情報リテラシー（広小路ｷｬﾝﾊﾟｽ） | | 物化 | 分化 | 体育/英１ | | | 医経/経営 | 生物 | 物理 | リレー講義 予備 | |
| 5/18(月) ～ 5/22(金) | 5/18(月) | | | | | 5/19(火) | | | | | 5/20(水) | | | | | 5/21(木) | | | | | 5/22(金) | | | | |
| | 生倫 | A)英2 B)英2 | 共同化科目 | | | 医哲 | 数 | 物/化/生物 実習 | | | 医史/医法 | 2外Ⅰ | 物/化/生物 実習 | | | 物化 | 分化 | 体育/英１ | | | 医経/経営 | 生物 | 物理 | 早期実習Ⅰ 講義/心構え | |
| 5/25(月) ～ 5/29(金) | 5/25(月) | | | | | 5/26(火) | | | | | 5/27(水) | | | | | 5/28(木) | | | | | 5/29(金) | | | | |
| | 生倫 | A)英2 B)英2 | 共同化科目 | | | 医哲 | 数 | 物/化/生物 実習 | | | 医史/医法 | 2外Ⅰ | 物/化/生物 実習 | | | 物化 | 分化 | 体育/英１ | | | 医経/経営 | 生物 | 物理 | リレー講義 同和問題 | |
| 6/1(月) ～ 6/5(金) | 6/1(月) | | | | | 6/2(火) | | | | | 6/3(水) | | | | | 6/4(木) | | | | | 6/5(金) | | | | |
| | 生倫 | A)英2 B)英2 | 共同化科目 | | | 医哲 | 数 | 物/化/生物 実習 | | | 医史/医法 | 2外Ⅰ | 物/化/生物 実習 | | | 物化 | 分化 | 体育/英１ | | | 医経/経営 | 生物 | 物理 | リレー講義 予備 | |
| 6/8(月) ～ 6/12(金) | 6/8(月) | | | | | 6/9(火) | | | | | 6/10(水) | | | | | 6/11(木) | | | | | 6/12(金) | | | | |
| | 生倫 | A)英2 B)英2 | 共同化科目（ｸｫｰﾀｰ科目は試験日） | | | 医哲 | 数 | 物/化/生物 実習 | | | 医史/医法 | 2外Ⅰ | 物/化/生物 実習 | | | 物化 | 分化 | 体育/英１ | | | 医経/経営 | 生物 | 物理 | リレー講義 人権総論 | |
| 6/15(月) ～ 6/19(金) | 6/15(月) | | | | | 6/16(火) | | | | | 6/17(水) | | | | | 6/18(木) | | | | | 6/19(金) | | | | |
| | 生倫 | A)英2 B)英2 | 共同化科目 | | | 早期体験実習Ⅰ | | | | | 早期体験実習Ⅰ | | | | | 早期体験実習Ⅰ | | | | | 早期体験実習Ⅰ | | | | |
| 6/22(月) ～ 6/26(金) | 6/22(月) | | | | | 6/23(火) | | | | | 6/24(水) | | | | | 6/25(木) | | | | | 6/26(金) | | | | |
| | 生倫 | A)英2 B)英2 | 共同化科目 | | | 医哲 | 数 | 物/化/生物 実習 | | | 医史/医法 | 2外Ⅰ | 物/化/生物 実習 | | | | 分化 | 体育/英１ | | | 医経/経営 | 生物 | 物理 | リレー講義 予備 | |
| 6/29(月) ～ 7/3(金) | 6/29(月) | | | | | 6/30(火) | | | | | 7/1(水) | | | | | 7/2(木) | | | | | 7/3(金) | | | | |
| | 生倫 | A)英2 試験 | 共同化科目 | | | 医哲 | 数 | 物/化/生物 実習 | | | 医史/医法 | 2外Ⅰ | 物/化/生物 実習 | | | 補講又は自由学習 | | | | | 補講又は自由学習 | | | | |
| 7/6(月) ～ 7/10(金) | 7/6(月) | | | | | 7/7(火) | | | | | 7/8(水) | | | | | 7/9(木) | | | | | 7/10(金) | | | | |
| | 補講（生倫） | A)英2 B)英2 | 共同化科目 | | | 補講又は自由学習 | | | | | 補講又は自由学習 | | | | | 【試験】生命物理化学・生体分子化学・英語１/体育 | | | | | 【試験】医療経済学/経営学・物理学 | | | | |
| 7/13(月) ～ 7/17(金) | 7/13(月) | | | | | 7/14(火) | | | | | 7/15(水) | | | | | 7/16(木) | | | | | 7/17(金) | | | | |
| | 補講（生倫） | A)英2 B)英2 | 共同化科目 | | | 【試験】医学哲学・数学 | | | | | 【試験】医史学/医療と法・第2外国語Ⅰ | | | | | 【試験】生物科学・生命倫理学 | | | | | （夏季休業） | | | | |
| 7/20(月) ～ 7/24(金) | 7/20(月) | | | | | 7/21(火) | | | | | 7/22(水) | | | | | 7/23(木) | | | | | 7/24(金) | | | | |
| | 海の日 | | | | | （夏季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7/27(月) ～ 7/31(金) | 7/27(月) | | | | | 7/28(火) | | | | | 7/29(水) | | | | | 7/30(木) | | | | | 7/31(金) | | | | |
| | | | 共同化科目 | | | （夏季休業） | | | | | 【追再試験】① | | | | | 【追再試験】① | | | | | （夏季休業） | | | | |
| 8/3(月) ～ 8/7(金) | 8/3(月) | | | | | 8/4(火) | | | | | 8/5(水) | | | | | 8/6(木) | | | | | 8/7(金) | | | | |
| | | | 共同化科目試験（ｸｫｰﾀｰを含む。） | | | （夏季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※共同化科目は前期中に別途１回（クオーター科目は、別途３回）オンデマンド授業あり。但し、クオーター科目は試験日に授業を行う場合、オンデマンド授業の回数が１回減る。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8/10(月) ～ 8/14(金) | 8/10(月) | | | | | 8/11(火) | | | | | 8/12(水) | | | | | 8/13(木) | | | | | 8/14(金) | | | | |
| | （夏季休業） | | | | | （山の日） | | | | | （夏季休業） | | | | | | | | | | | | | | |
| 8/17(月) ～ 8/21(金) | 8/17(月) | | | | | 8/18(火) | | | | | 8/19(水) | | | | | 8/20(木) | | | | | 8/21(金) | | | | |
| | （夏季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8/24(月) ～ 8/28(金) | 8/24(月) | | | | | 8/25(火) | | | | | 8/26(水) | | | | | 8/27(木) | | | | | 8/28(金) | | | | |
| | （夏季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8/31(月) ～ 9/4(金) | 8/31(月) | | | | | 9/1(火) | | | | | 9/2(水) | | | | | 9/3(木) | | | | | 9/4(金) | | | | |
| | 【共同化科目追再試験：予定】（※レポート試験の場合は、未実施） | | | | | 【追再試験】② | | | | | | | | | | （夏季休業） | | | | | | | | | |
| 9/7(月) ～ 9/11(金) | 9/7(月) | | | | | 9/8(火) | | | | | 9/9(水) | | | | | 9/10(木) | | | | | 9/11(金) | | | | |
| | （夏季休業） | | | | | | | | 医概Ⅰ ① | | | | | 医概Ⅱ ① | | | 医概Ⅰ ② | | | | | | | | |
| 9/14(月) ～ 9/18(金) | 9/14(月) | | | | | 9/15(火) | | | | | 9/16(水) | | | | | 9/17(木) | | | | | 9/18(金) | | | | |
| | | | | | | | 数 | 数 | 医概Ⅰ ③ | | | 2外Ⅱ | 応解/近物 | 医概Ⅱ ② | | | 分化 | 体育/英１ | | | 行動 | 生物 | 物理 | 早期実習Ⅱ 講義/OSCE説明 | |
| 9/21(月) ～ 9/25(金) | 9/21(月) | | | | | 9/22(火) | | | | | 9/23(水) | | | | | 9/24(木) | | | | | 9/25(金) | | | | |
| | （敬老の日） | | | | | （祝日法の休日） | | | | | （秋分の日） | | | | | 現生 | 分化 | 体育/英１ | | | 行動 | 生物 | 物理 | リレー講義 臨床留学 | |
| 9/28(月) ～ 10/2(金) | 9/28(月) | | | | | 9/29(火) | | | | | 9/30(水) | | | | | 10/1(木) | | | | | 10/2(金) | | | | |
| | 応解/近物 | A)英2 B)英2 | 共同化科目（オンデマンド） | | | | 数 | 現生 | 医概Ⅰ ④ | | | 2外Ⅱ | 応解/近物 | 医概Ⅱ ③ | | | 現生 | 分化 | 体育/英１ | | | 行動 | 生物 | 物理 | リレー講義 eAPRIN説明 | 10/4(日) 早Ⅱ/OSCE補 |
| 10/5(月) ～ 10/9(金) | 10/5(月) | | | | | 10/6(火) | | | | | 10/7(水) | | | | | 10/8(木) | | | | | 10/9(金) | | | | |
| | 応解/近物 | A)英2 B)英2 | 共同化科目 | | | | 数 | 現生 | 医概Ⅰ ⑤ | | | 2外Ⅱ | 応解/近物 | 医概Ⅱ ④ | | | 現生 | 分化 | 体育/英１ | | | 行動 | 生物 | 物理 | リレー講義 基礎留学 | |
| 10/12(月) ～ 10/16(金) | 10/12(月) | | | | | 10/13(火) | | | | | 10/14(水) | | | | | 10/15(木) | | | | | 10/16(金) | | | | |
| | （スポーツの日） | | | | | | 数 | 現生 | 医概Ⅰ ⑥ | | | 2外Ⅱ | 共同化科目 | | | | 現生 | 分化 | 体育/英１ | | | 行動 | 生物 | 物理 | 早期実習Ⅱ 講義/心構え | |
| 10/19(月) ～ 10/23(金) | 10/19(月) | | | | | 10/20(火) | | | | | 10/21(水) | | | | | 10/22(木) | | | | | 10/23(金) | | | | |
| | 応解/近物 | A)英2 B)英2 | 共同化科目 | | | | 数 | 現生 | 医概Ⅰ ⑦ | | | 2外Ⅱ | 応解/近物 | 医概Ⅱ ⑤ | | | 現生 | 分化 | 体育/英１ | | | 行動 | 生物 | 物理 | リレー講義 予備 | |
| 10/26(月) ～ 10/30(金) | 10/26(月) | | | | | 10/27(火) | | | | | 10/28(水) | | | | | 10/29(木) | | | | | 10/30(金) | | | | |
| | 応解/近物 | A)英2 B)英2 | 共同化科目 | | | （トリアス祭） | | | | | （トリアス祭） | | | | | （トリアス祭） | | | | | （トリアス祭） | | | | |
| 11/2(月) ～ 11/6(金) | 11/2(月) | | | | | 11/3(火) | | | | | 11/4(水) | | | | | 11/5(木) | | | | | 11/6(金) | | | | |
| | 応解/近物 | A)英2 B)英2 | 共同化科目 | | | （文化の日） | | | | | | 2外Ⅱ | 応解/近物 | 医概Ⅱ ⑥ | | | 分化 | 体育/英１ | | | 行動 | 生物 | 物理 | リレー講義 予備 | |
| 11/9(月) ～ 11/13(金) | 11/9(月) | | | | | 11/10(火) | | | | | 11/11(水) | | | | | 11/12(木) | | | | | 11/13(金) | | | | |
| | 数 | A)英2 B)英2 | 共同化科目 | | | 早期体験実習Ⅱ | | | | | 早期体験実習Ⅱ | | | | | 早期体験実習Ⅱ | | | | | 早期体験実習Ⅱ | | | | |
| 11/16(月) ～ 11/20(金) | 11/16(月) | | | | | 11/17(火) | | | | | 11/18(水) | | | | | 11/19(木) | | | | | 11/20(金) | | | | |
| | 補講又は自由学習 | A)英2 B)英2 | 共同化科目（ｸｫｰﾀｰ科目は試験日） | | | | | 医概Ⅱ ⑦ | 医概Ⅰ ⑧ | | | 2外Ⅱ | 補講又は自由学習 | 医概Ⅱ ⑧ | | | 補講又は自由学習 | 体育/英１ | | | 行動 | 補講又は自由学習 | リレー講義 先輩に学ぶ/図書ホール | | |
| 11/23(月) ～ 11/27(金) | 11/23(月) | | | | | 11/24(火) | | | | | 11/25(水) | | | | | 11/26(木) | | | | | 11/27(金) | | | | |
| | （勤労感謝の日） | | | | | | 補講又は自由学習 | | | | | 2外Ⅱ | 【試験】応解/近物 | | | | 【試験】分化 | 体育/英１ | | | 行動 | 【試験】現生 | 補講又は自由学習 | リレー講義 先輩に学ぶ | |
| 11/30(月) ～ 12/4(金) | 11/30(月) | | | | | 12/1(火) | | | | | 12/2(水) | | | | | 12/3(木) | | | | | 12/4(金) | | | | |
| | | A)英2 B)英2 | 共同化科目 | | | | 【試験】数学 | | | | | 2外Ⅱ | 【試験】生物 | | | | | 体育/英１ | | | 行動 | | 【試験】物理 | リレー講義 （予備） | |
| 12/7(月) ～ 12/11(金) | 12/7(月) | | | | | 12/8(火) | | | | | 12/9(水) | | | | | 12/10(木) | | | | | 12/11(金) | | | | |
| | | B)英2 試験 | 共同化科目 | | | | | 早期体験実習Ⅱ 報告会/図書館ﾎｰﾙ | | | 補講又は自由学習 | 2外Ⅱ | 補講又は自習学習 | | | | | 補講又は自由学習 | | | 補講又は自由学習 | | | | |
| 12/14(月) ～ 12/18(金) | 12/14(月) | | | | | 12/15(火) | | | | | 12/16(水) | | | | | 12/17(木) | | | | | 12/18(金) | | | | |
| | | | 共同化科目 | | | | | | | | | 【試験】第2外Ⅱ | | | | | 【試験】英語１/体育 | | | | | 【試験】行動 | | | |
| 12/21(月) ～ 12/25(金) | 12/21(月) | | | | | 12/22(火) | | | | | 12/23(水) | | | | | 12/24(木) | | | | | 12/25(金) | | | | |
| | | | 共同化科目 | | | （冬季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12/28(月) ～ 1/1(金) | 12/28(月) | | | | | 12/29(火) | | | | | 12/30(水) | | | | | 12/31(木) | | | | | 1/1(金) | | | | |
| | （冬季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

（続き）

| | 月 | | | | | 火 | | | | | 水 | | | | | 木 | | | | | 金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ |
| 1/4(月) ～ 1/8(金) | 1/4(月) | | | | | 1/5(火) | | | | | 1/6(水) | | | | | 1/7(木) | | | | | 1/8(金) | | | | |
| | （冬季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1/11(月) ～ 1/15(金) | 1/11(月) | | | | | 1/12(火) | | | | | 1/13(水) | | | | | 1/14(木) | | | | | 1/15(金) | | | | |
| | （成人の日） | | | | | | | | | | | | | | | 【追再試験】 | | | | | 【追再試験】 | | | | |
| 1/18(月) ～ 1/22(金) | 1/18(月) | | | | | 1/19(火) | | | | | 1/20(水) | | | | | 1/21(木) | | | | | 1/22(金) | | | | |
| | 【追再試験】 | | 共同化科目 | | | 【追再試験】 | | | | | 【追再試験】 | | | | | | | | | | | | | | |
| 1/25(月) ～ 1/29(金) | 1/25(月) | | | | | 1/26(火) | | | | | 1/27(水) | | | | | 1/28(木) | | | | | 1/29(金) | | | | |
| | | | 共同化科目試験<br>(ｸｵｰﾀｰを含む。) | | | 統合授業<br>図書館ホール/ｺﾄ・ｽｸｴｱ | | | | | 統合授業<br>（下鴨ｷｬﾝﾊﾟｽ稲盛記念会館） | | | | | 統合授業<br>（下鴨ｷｬﾝﾊﾟｽ稲盛記念会館） | | | | | 統合授業<br>（下鴨ｷｬﾝﾊﾟｽ稲盛記念会館） | | | | |
| 2/1(月) ～ 2/5(金) | 2/1(月) | | | | | 2/2(火) | | | | | 2/3(水) | | | | | 2/4(木) | | | | | 2/5(金) | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2/8(月) ～ 2/12(金) | 2/8(月) | | | | | 2/9(火) | | | | | 2/10(水) | | | | | 2/11(木) | | | | | 2/12(金) | | | | |
| | 【共同化科目追再試験:予定】<br>（※レポート試験の場合、未実施） | | | | | | | | | | | | | | | （建国記念の日） | | | | | | | | | |

※共同化科目は後期中に別途2回（クオーター科目は、別途4回）オンデマンド授業あり。但し、クオーター科目は試験日に授業を行う場合、オンデマンド授業の回数が１回減る。
前期の「物理」は後期の「数学/物理」と回数を合わせるため1回少ない

河原町ｷｬﾝﾊﾟｽ

| | 月 | | | | | 火 | | | | | 水 | | | | | 木 | | | | | 金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ |
| 2/15(月) ～ 2/19(金) | 2/15(月) | | | | | 2/16(火) | | | | | 2/17(水) | | | | | 2/18(木) | | | | | 2/19(金) | | | | |
| | 解剖 | 解剖 | 解剖△ | | | 解剖 | 解剖 | 生理 | 分医 | | 生理 | 解剖 | 解剖△ | | | 分医 | 分医 | 解剖△ | | | 解剖 | 分医 | 解剖△ | | |
| 2/22(月) ～ 2/26(金) | 2/22(月) | | | | | 2/23(火) | | | | | 2/24(水) | | | | | 2/25(木) | | | | | 2/26(金) | | | | |
| | 解剖 | 分医 | 分医 | 生理 | | （天皇誕生日） | | | | | 解剖 | 分医 | 解剖△ | | | 一般選抜試験 | | | | | | | | | |
| 3/1(月) ～ 3/5(金) | 3/1(月) | | | | | 3/2(火) | | | | | 3/3(水) | | | | | 3/4(木) | | | | | 3/5(金) | | | | |
| | 解剖 | 分医 | 解剖△ | | | 生理 | 分医 | 生理 | 分医 | | | 解剖 | 解剖△ | | | 分医 | 解剖 | 解剖△ | | | 解剖 | 生理 | 解剖△ | | |
| 3/8(月) ～ 3/12(金) | 3/8(月) | | | | | 3/9(火) | | | | | 3/10(水) | | | | | 3/11(木) | | | | | 3/12(金) | | | | |
| | | 分医 | 解剖△ | | | 解剖 | 分医 | 分医 | 生理 | | 解剖△ | 分医 | 分医 | | | 分医 | 解剖 | 解剖△ | | | | | 分医 | 生理 | 解剖 |
| 3/15(月) ～ 3/19(金) | 3/15(月) | | | | | 3/16(火) | | | | | 3/17(水) | | | | | 3/18(木) | | | | | 3/19(金) | | | | |
| | （春季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3/22(月) ～ 3/26(金) | 3/22(月) | | | | | 3/23(火) | | | | | 3/24(水) | | | | | 3/25(木) | | | | | 3/26(金) | | | | |
| | （振替休日） | | | | | （春季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

# 令和８年度　第２学年　前期　授業時間割表（新カリ）

◎　：講義、実習
△　：実習、演習

| | 月 | | | | | 火 | | | | | 水 | | | | | 木 | | | | | 金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ |
| （3／30～4／3） | （春季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1ｗ（4／6～10） | 解剖 | 解剖 | 解剖△ | | | 生理 | 生理 | 分医 | 分医 | | 解剖 | 解剖 | 解剖△ | | | 解剖 | 分医 | 解剖△ | | | 生理 | 生理 | 分医 | 教養英語 | |
| 2ｗ（4／13～17） | 生理 | 生理 | 解剖△ | | | 分医 | 分医 | 解剖△ | | | 分医 | 分医 | 解剖△ | | | 生理 | 生理 | 解剖△ | | | 分医 | 分医 | 生理 | | |
| 3ｗ（4／20～24） | 解剖 | 分医 | 解剖△ | | | 解剖 | 解剖 | 健康診断 | | | 生理 | 生理 | 分医 | 分医 | | 解剖 | 解剖 | 解剖△ | | | 生理 | 生理 | 分医 | | |
| （4／27～5／1） | （対慈恵戦） | | | | | | | | | | （昭和の日） | | | | | （対慈恵戦） | | | | | | | | | |
| 4ｗ（5／4～8） | （みどりの日） | | | | | （こどもの日） | | | | | （振替休日） | | | | | 解剖 | 解剖 | 解剖△ | | | 分医 | 分医 | 生理 | 教養英語 | |
| 5ｗ（5／11～15） | 解剖 | 解剖 | 解剖△ | | | 生理 | 生理 | 解剖△ | | | 生理 | 生理 | 解剖△ | | | 分医 | 分医 | 解剖△ | | | 生理 | 生理 | 分医 | | |
| 6ｗ（5／18～22） | 分医 | 分医 | 解剖△ | | | 解剖 | 解剖 | 解剖△ | | | 分医 | 分医 | 生理 | 生理 | | 解剖 | 解剖 | 解剖△ | | | 分医 | 分医 | 生理 | | |
| 7ｗ（5／25～29） | 分医△ | | | | | 分医△ | | | | | 分医△ | | | | | 分医△ | | | | | 分医△ | | 生理 | | |
| 8ｗ（6／1～5） | 生理△ | | | | | 生理△ | | | | | 生理△ | | | | | 生理△ | | | | | 生理△ | | | | |
| 9ｗ（6／8～12） | 分医 | 分医 | 生理 | 生理 | | 生理 | 生理 | 分医 | 分医 | | 生理 | 生理 | 解剖△ | | | 解剖 | 解剖 | 解剖△ | | | 生理 | 生理 | 分医 | 教養英語 | |
| 10ｗ（6／15～19） | 解剖 | 生理 | 解剖△ | | | 分医 | 分医 | 生理 | 生理 | | 解剖 | 解剖 | 解剖△ | | | 分医 | 分医 | 解剖△ | | | 分医 | 分医 | 生理 | | |
| 11ｗ（6／22～26） | 分医 | 分医 | 解剖△ | | | 生理 | 生理 | 解剖△ | | | 生理 | 生理 | 分医 | 分医 | | 生理 | 生理 | 解剖△ | | | 生理 | 生理 | 分医 | | |
| 12ｗ（6／29～7／3） | 解剖 | 解剖 | 解剖△ | | | 分医 | 分医 | 生理 | 生理 | | 生理 | 生理 | 解剖△ | | | 解剖 | 解剖 | 解剖△ | | | 分医 | 分医 | 生理 | | |
| 13ｗ（7／6～10） | 生理 | 生理 | 解剖△ | | | | 解剖 | 分医 | 分医 | | 分医 | 分医 | 生理 | 生理 | | 生理 | 生理 | 解剖△ | | | | 生理 | 分医 | | |
| 14ｗ（7／13～17） | 分医 | 分医 | 解剖△ | | | | 生理 | 解剖△ | | | | 生理 | 解剖△ | | | | 生理 | 解剖△ | | | 分医 | 分医 | 生理 | | |
| 15ｗ（7／20～24） | （海の日） | | | | | 2解試験 | | | | | | | 解剖△ | | | | | 1解試験 | | | | | | | |
| （7／27～8／28） | （夏季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16ｗ（8／31～4） | 定期試験（生体構造科学） | | | | | 予備日 | | | | | 定期試験（ゲノム医科学） | | | | | 予備日 | | | | | 定期試験（生体機能形態科学） | | | | |
| 17ｗ（9／7～11） | 定期試験（細胞生理学） | | | | | 予備日 | | | | | 定期試験（統合生理学） | | | | | 予備日 | | | | | 定期試験（分子生化学） | | | | |
| 18ｗ（9／14～18） | 病理総論◎ | | 免疫 | 免疫 | | 感染◎ | | 病理総論◎ | | | 薬理 | 感染◎ | 免疫 | 免疫 | | 感染◎ | | 病理総論◎ | | | 病理総論◎ | | | 教養英語 | |
| 19ｗ（9／21～25） | （敬老の日） | | | | | （国民の休日） | | | | | （秋分の日） | | | | | 薬理 | 薬理 | 病理総論◎ | | | 病理総論◎ | | | | |

5/16
春季追悼式
（対象者のみ）

# 令和８年度　第２学年　後期　授業時間割表（新カリ）

◎　：講義、実習
△　：実習、演習

| | 月 | | | | | 火 | | | | | 水 | | | | | 木 | | | | | 金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ |
| 1w<br>（9／28～10／2） | 免疫 | 免疫 | 病理総論◎ | | | 病理総論◎ | | 免疫 | 免疫 | | 感染◎ | | 病理総論◎ | | | 感染◎ | | 病理総論◎ | | | 病理総論◎ | | | 教養英語 | |
| 2w<br>（10／5～9） | 免疫 | 免疫 | 病理総論◎ | | | 病理総論◎ | | 免疫 | 免疫 | | 感染◎ | | 病理総論◎ | | | 感染◎ | | 免疫 | 免疫 | | 病理総論◎ | | | | |
| 3w<br>（10／12～16） | （スポーツの日） | | | | | 追再試験<br>（ゲノム医科学） | | | | | 追再試験<br>（生体構造科学） | | | | | 予備日 | | | | | 追再試験<br>（生体機能形態科学） | | | | |
| 4w<br>（10／19～23） | 追再試験<br>（細胞生理学） | | | | | 予備日 | | | | | 追再試験<br>（統合生理学） | | | | | 予備日 | | | | | 追再試験<br>（分子生化学） | | | | |
| （10/26～10/30） | （トリアス祭） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5w<br>（11／2～6） | 免疫 | 免疫 | 病理総論◎ | | | （文化の日） | | | | | 感染◎ | | 病理総論◎ | | | 薬理 | 薬理 | 病理総論◎ | | | 薬理 | 薬理 | 薬理 | 教養英語 | |
| 6w<br>（11／9～13） | 病理総論◎ | | 免疫 | 免疫 | | 感染△ | | 免疫 | 免疫 | | 感染△ | | 病理総論◎ | | | 感染△ | | 病理総論◎ | | | 薬理 | 薬理 | 薬理 | | |
| 7w<br>（11／16～20） | 病理総論◎ | | 免疫 | 免疫 | | 感染◎ | | 薬理 | 薬理 | | 感染◎ | | 薬理 | 薬理 | | 感染◎ | | 薬理 | 薬理 | | 薬理 | 薬理 | | | |
| 8w<br>（11／23～27） | （勤労感謝の日） | | | | | 薬理 | 薬理 | 免疫 | 免疫 | | 薬理 | 薬理 | 免疫 | 免疫 | | 感染◎ | | 免疫 | 免疫 | | 薬理 | 薬理 | | | |
| 9w<br>（11／30～12／4） | 薬理 | 薬理 | 感染◎ | | | 薬理△ | | 感染◎ | | | 薬理△ | | 薬理△ | | | 免疫 | 免疫 | 感染◎ | | | 薬理△ | | 感染◎ | | |
| 10w<br>（12／7～11） | 薬理△ | | 感染△ | | | 感染△ | | 感染△ | | | 感染◎ | | 感染△ | | | 免疫 | 免疫 | 感染△ | 感染△ | | | 免疫 | 免疫 | | |
| 11w<br>（12／14～18） | 病理総論◎ | | 薬理△ | | | 薬理△ | | 薬理△ | | | 病理総論◎ | | 薬理△ | | | 薬理△ | | 薬理△ | | | 薬理△ | | | | |
| （冬季休業）<br>（12／21～25） | （冬季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （冬季休業）<br>（12／28～1／1） | （冬季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12w<br>（1／4～8） | 病理各論◎ | | 病理各論◎ | | | 病理各論◎ | | 病理各論◎ | | | 病理各論◎ | | 免疫△ | | | 病理各論◎ | | 免疫△ | | | 病理各論◎ | | 免疫△ | | |
| 13w<br>（1／11～15） | （成人の日） | | | | | | | 病理各論◎ | | | 病理各論◎ | | 病理各論◎ | | | 病理各論◎ | | 病理各論◎ | | | 病理各論◎ | | 病理各論◎ | | |
| 14w<br>（1／18～22） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15w<br>（1／25～29） | 定期試験<br>（分子病態病理学） | | | | | 予備日 | | | | | 定期試験<br>（感染病態学） | | | | | 予備日 | | | | | 定期試験<br>（細胞分子機能病理学） | | | | |
| 16w<br>（2／1～5） | 定期試験<br>（病理各論） | | | | | 予備日 | | | | | 定期試験<br>（薬理学） | | | | | 予備日 | | | | | 定期試験<br>（免疫学） | | | | |
| 17w<br>（2／8～12） | | | 先端生命 | 先端生命 | | | | 先端生命 | 先端生命 | | | | 先端生命 | 先端生命 | | （建国記念の日） | | | | | | | 先端生命 | 先端生命 | |
| 18w<br>（2／15～19） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19w<br>（2／22～26） | 追再試験<br>（分子病態病理学） | | | | | （天皇誕生日） | | | | | 追再試験<br>（感染病態学） | | | | | 予備日 | | | | | 追再試験<br>（細胞分子機能病理学） | | | | |
| 20w<br>（3／1～5） | 追再試験<br>（病理各論） | | | | | 予備日 | | | | | 追再試験<br>（薬理学） | | | | | 予備日 | | | | | 追再試験<br>（免疫学） | | | | |
| 21w<br>（3／8～12） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 成績（進級）判定<br>（追試験（病理、薬理、免疫、感染）） | | | | |
| （春季休業）<br>（3／15～19） | （春季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （春季休業）<br>（3／22～26） | （振替休日） | | | | | （春季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

10/17
秋季追悼式

# 令和８年度　第３学年　前期　授業時間割表（新カリ）

| | 月 | | | | | 火 | | | | | 水 | | | | | 木 | | | | | 金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ |
| （3／30～4／3） | （春季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １ｗ（4／6～10） | 呼吸 U | 呼吸 U | 循環器 U | 循環器 U | 循環器 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 循環器 U | 循環器 U | 循環器 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 循環器 U | 循環器 U | 循環器 U | 医学英語① | | 循環器 U | 循環器 U | 循環器 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 循環器 U | 循環器 U | 循環器 U |
| ２ｗ（4／13～17） | 循環器 U | 循環器 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 循環器 U | 循環器 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 医学英語② | | 循環器 U | 循環器 U | 循環器 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 循環器 U | 循環器 U | 循環器 U |
| ３ｗ（4／20～24） | 循環器 U | 循環器 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 呼吸 U | | 呼吸 U | 健康診断 | | | 循環器 U | 循環器 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 医学英語③ | | 事前学習 | | | 定期試験（循環器ユニット） | | | | |
| （4／27～5／1） | （対慈恵戦） | | | | | | | | | | （昭和の日） | | | | | （対慈恵戦） | | | | | | | | | |
| ４ｗ（5／4～8） | （みどりの日） | | | | | （こどもの日） | | | | | （振替休日） | | | | | 呼吸 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 呼吸 U | 呼吸 U |
| ５ｗ（5／11～15） | 定期試験（呼吸器ユニット） | | | | | 臨 | 放 | 内 | 内 | | 産 | 小 | 産 | 小 | 外 | 医学英語④ | | 内 | 内 | 内 | 内 | 精 | 内 | 精 | |
| ６ｗ（5／18～22） | 内 | 精 | 内 | 精 | 外 | 臨 | 放 | 臨 | 放 | | 産 | 小 | 産 | 小 | 放 | 医学英語⑤ | | 産 | 産 | 外 | 産 | 小 | 外 | 小 | |
| ７ｗ（5／25～29） | 外 | 精 | 臨 | 精 | 内 | 臨 | 放 | 臨 | 放 | | 産 | 小 | 産 | 小 | 放 | 医学英語⑥ | | 産 | 産 | 内 | 産 | 小 | 外 | 小 | |
| ８ｗ（6／1～5） | 内 | 精 | 内 | 外（小） | 内 | 臨 | 放 | 外 | 外 | 外（小） | 産 | 小 | 内 | 産 | 外（小） | 医学英語⑦ | | 外 | 外 | 外 | 小 | 小 | 外（小） | 小 | |
| ９ｗ（6／8～12） | 内 | 精 | 内 | | 内 | 臨 | 放 | | 産 | | 産 | 小 | 内 | 外 | 産 | 医学英語⑧ | | 内 | | 内 | 外 | 小 | | | |
| １０ｗ（6／15～19） | 内 | 精 | 小 | 産 | 外（小） | 臨 | 放 | 放 | 内 | 産 | 産 | 小 | 内 | 外 | 外（小） | 医学英語⑨ | | 産 | 臨 | 産 | 外 | 精 | 内 | | |
| １１ｗ（6／22～26） | 定期試験（小児科学） | | | | | 予備日 | | | | | 定期試験（精神医学） | | | | | 定期試験（内科学） | | | | | 定期試験（感染制御・検査医学） | | | | |
| １２ｗ（6／29～7／3） | 定期試験（放射線医学） | | | | | 予備日 | | | | | 定期試験（外科学） | | | | | 定期試験（病理各論） | | | | | 定期試験（産婦人科学） | | | | |
| １３ｗ（7／6～10） | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | | 医学英語⑩ | | 消化器 U | 消化器 U | | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U |
| １４ｗ（7／13～17） | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | 医学英語⑪ | | 消化器 U | 消化器 U | | 研究配属オリエンテーション | | | | |
| １５ｗ（7／20～24） | （海の日） | | | | | 消化器 U | | 消化器 U | 消化器 U | 消化器 U | | | | | | 医学英語⑫ | | 事前学習 | | | 定期試験（消化器ユニット） | | | | |
| （7／27～8／28） | （夏季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １６ｗ（8／31～4） | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | | | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 医学英語① | | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U |
| １７ｗ（9／7～11） | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 医学英語② | | | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U |
| １８ｗ（9／14～18） | | | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 医学英語③ | | 神経 U | 神経 U | B肝 | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U | 神経 U |
| １９ｗ（9／21～25） | （敬老の日） | | | | | （国民の休日） | | | | | （秋分の日） | | | | | 事前学習 | | | | | 定期試験（神経ユニット） | | | | |

# 令和８年度　第３学年　後期　授業時間割表（新カリ）

| | 月 | | | | | 火 | | | | | 水 | | | | | 木 | | | | | 金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ |
| １w<br>（9／28～10／2） | 皮 | 麻 | 整 | 臨病 | | 皮 | 整 | 生統 | 生統 | | 耳 | 整 | 泌 | 眼 | | 医学英語④ | | 耳 | 麻 | | 歯 | 耳 | 泌 | 臨病 | |
| ２w<br>（10／5～9） | 皮 | 麻 | 整 | 臨病 | | 耳 | 整 | 生統 | 生統 | | 耳 | 整 | 泌 | 眼 | | 医学英語⑤ | | 泌 | 麻 | | 歯 | 耳 | 整 | 臨病 | |
| ３w<br>（10／12～16） | （スポーツの日） | | | | | 皮 | 整 | 生統 | 生統 | | 麻 | 泌 | 泌 | 眼 | | 医学英語⑥ | | 整 | 眼 | | 歯 | 耳 | 耳 | 臨病 | |
| ４w<br>（10／19～23） | 皮 | 麻 | 整 | 眼 | | 耳 | 皮 | 生統 | 生統 | | 眼 | 整 | 泌 | 整 | B肝 | 医学英語⑦ | | 整 | 麻 | | 歯 | 耳 | 整 | 臨病 | |
| （10/26～10/30） | （トリアス祭） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ５w<br>（11／2～6） | 皮 | 麻 | 整 | 臨病 | | （文化の日） | | | | | 救 | 救 | 泌 | 眼 | | 医学英語⑧ | | 皮 | 眼 | | 歯 | | 救 | 臨病 | |
| ６w<br>（11／9～13） | 皮 | 麻 | 臨病 | 臨病 | | リハ | リハ | 救 | 救 | | 眼 | 麻 | リハ | | | 医学英語⑨ | | 整 | 麻 | | 歯 | 救 | 救 | 皮 | |
| ７w<br>（11／16～20） | リハ | リハ | 救 | 救 | | リハ | リハ | 麻 | 眼 | | 救 | 泌 | リハ | | | 医学英語⑩ | | 泌 | 麻 | | | | | | |
| ８w<br>（11／23～27） | （勤労感謝の日） | | | | | 定期試験<br>（皮膚科学） | | | | | 予備日 | | | | | 定期試験<br>（整形外科学） | | | | | 定期試験<br>（生物統計学） | | | | |
| ９w<br>（11／30～12／4） | 定期試験<br>（麻酔科学） | | | | | 予備日 | | | | | 予備日 | | | | | 定期試験<br>（眼科学：筆答） | | | | | 定期試験<br>（眼科学：口頭） | | | | |
| １０w<br>（12／7～11） | 定期試験<br>（泌尿器科学） | | | | | 定期試験<br>（リハビリテーション医学） | | | | | 定期試験<br>（耳鼻咽喉科・頭頸部外科学） | | | | | 予備日 | | | | | 定期試験<br>（救急医療学） | | | | |
| １１w<br>（12／14～18） | （冬季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （冬季休業）<br>（12／21～1／1） | （冬季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １２w<br>（１／４～８） | 追再試験<br>（消化器ユニット） | | | | | 追再試験<br>（感染制御・検査医学） | | | | | 追再試験<br>（精神医学） | | | | | 追再試験<br>（小児科学） | | | | | 追再試験<br>（産婦人科学） | | | | |
| １３w<br>（1／11～15） | （成人の日） | | | | | 追再試験<br>（循環器ユニット） | | | | | 追再試験<br>（呼吸器ユニット） | | | | | 追再試験<br>（内科学） | | | | | 予備日 | | | | |
| １４w<br>（1／18～22） | 追再試験<br>（放射線医学） | | | | | 追再試験<br>（病理各論） | | | | | 追再試験<br>（外科学） | | | | | 医学英語⑪ | | | 医用工学 | 再生医学 | | 医用工学 | 医用工学 | 医用工学 | |
| １５w<br>（1／25～29） | | | | | | 統合授業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １６w<br>（２／１～５） | | 腫瘍学 | 腫瘍学 | 腫瘍学 | 再生医学 | | 腫瘍学 | 腫瘍学 | 腫瘍学 | | 医用工学 | ゲノム医学 | ゲノム医学 | ゲノム医学 | | 医学英語⑫ | | 再生医学 | 再生医学 | 再生医学 | | ゲノム医学 | ゲノム医学 | ゲノム医学 | |
| １７w<br>（2／8～12） | 追再試験<br>（神経ユニット） | | | | | 追再試験<br>（リハビリテーション医学） | | | | | 予備日 | | | | | （建国記念の日） | | | | | 追再試験<br>（生物統計学） | | | | |
| １８w<br>（2／15～19） | 追再試験<br>（麻酔科学） | | | | | 追再試験<br>（皮膚科学） | | | | | 追再試験<br>（耳鼻咽喉科・頭頸部外科学） | | | | | 予備日 | | | | | 追再試験<br>（救急医療学） | | | | |
| １９w<br>（2／22～26） | 追再試験<br>（眼科学） | | | | | （天皇誕生日） | | | | | 予備日 | | | | | 追再試験<br>（整形外科学） | | | | | 予備日 | | | | |
| ２０w<br>（３／１～５） | 追再試験<br>（泌尿器科学） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ２１w<br>（3／8～12） | | | | | | | | | | | （進級判定） | | | | B肝 | | | | | | | | | | |
| （春季休業）<br>（3／15～19） | （春季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （春季休業）<br>（3／22～26） | （振替休日） | | | | | （春季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

# 令和８年度　第４学年　前期　授業時間割表（新カリ）

| | 月 | | | | | 火 | | | | | 水 | | | | | 木 | | | | | 金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ |
| （３／３０～４／３） | （春季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １ｗ（４／６～１０） | | 保予 | 保予 | 保予 | | | 保予 | 保予△ | | | | | 国際医学英語 | | | 法 | 保予 | 保予 | 行動科学 | 行動科学 | | 保予 | 保予 | 法 | 法 |
| ２ｗ（４／１３～１７） | | 保予 | 保予 | 保予 | | 法 | 保予 | 保予△ | | | | | | | | | 保予 | 保予 | 行動科学 | 行動科学 | 法 | 保予 | 法 | 法 | |
| ３ｗ（４／２０～２４） | | 保予 | 保予 | 保予 | | | 保予 | 行動科学 | 行動科学 | 法 | | | | | | 法 | 保予 | 健康診断 | | | | 保予 | 保予 | 法 | 法 |
| （４／２７～５／１） | （対慈恵戦） | | | | | | | | | | （昭和の日） | | | | | （対慈恵戦） | | | | | | | | | |
| ４ｗ（５／４～８） | （みどりの日） | | | | | （こどもの日） | | | | | （振替休日） | | | | | 保予△ | | | | | 保予△ | | | | |
| ５ｗ（５／１１～１５） | 保予△ | | | | | 保予△ | | | | | | 法 | 国際医学英語 | | | 保予△ | | | | | 保予△ | | | | |
| ６ｗ（５／１８～２２） | | | 保予 | 保予 | 保予 | 法 | 保予 | 保予 | 保予 | 法 zoom | | | | | | | 保予 | 保予 | 行動科学 | 行動科学 | | 法 | 法 | 法 | 法 |
| ７ｗ（５／２５～２９） | | | 保予 | 法 | | 保予△ | | 保予△ | | | | | | | | | 保予 | 保予 | 保予△ | | | 法 | 保予 | 保予 | |
| ８ｗ（６／１～５） | 定期試験（公衆保健科学） | | | | | 定期試験（行動科学） | | | | | 予備日 | | | | | 定期試験（予防医学） | | | | | 定期試験（法医学） | | | | |
| ９ｗ（６／８～１２） | 研究配属 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １０ｗ（６／１５～１９） | 研究配属 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １１ｗ（６／２２～２６） | 研究配属 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １２ｗ（６／２９～７／３） | 研究配属 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １３ｗ（７／６～１０） | 研究配属 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １４ｗ（７／１３～１７） | 研究配属 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 研究配属発表会 | | | | |
| １５ｗ（７／２０～２４） | （海の日） | | | | | 追再試験（法医学） | | | | | 追再試験（予防医学） | | | | | 追再試験（公衆保健科学） | | | | | 追再試験（行動科学） | | | | |
| （７／２７～８／２８） | （夏季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １６ｗ（８／３１～４） | ＣＢＴ本試験を実施予定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １７ｗ（９／７～１１） | | OSCE前講義 | OSCE前講義 | OSCE前講義 | | OSCE前講義 | OSCE前講義 | OSCE前講義 | OSCE前講義 | | | OSCE前講義 | OSCE前講義 | OSCE前講義 | | | | | | | 準備日 | | | | |
| １８ｗ（９／１４～１８） | 総合診断学実習 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １９ｗ（９／２１～２５） | （敬老の日） | | | | | （国民の休日） | | | | | （秋分の日） | | | | | 総合診断学実習 | | | | | | | | | |

# 令和８年度　第４学年　後期　授業時間割表（新カリ）

：臨床実習

| | 月 | | | | | 火 | | | | | 水 | | | | | 木 | | | | | 金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ |
| １w<br>（9／28～10／2） | | | | | | OSCEに向けた自習 | | | | | | | | | | １０月４日（日）Pre-CC OSCE予定 | | | | | | | | | |
| ２w<br>（１０／５～９） | | CCB総論<br>プロフェッショナリズム | CCB総論<br>医療安全 | CCB総論<br>病理診断 | | | CCB総論<br>輸液・電解質 | CCB総論<br>内科診察 | | | | CCB総論<br>麻酔の実践 | CCB総論<br>薬剤/臨床工学 | CCB総論<br>PPE着脱法 | | | CCB総論<br>放射線治療 | CCB総論<br>栄養管理 | CCB総論<br>検査値の見方 | | | CCB総論<br>集中治療 | CCB総論<br>輸血療法 | | |
| ３w<br>（１０／１２～１６） | （スポーツの日） | | | | | | CCB各論<br>腎内/糖内 | CCB各論<br>眼科/麻酔 | CCB各論<br>リハ/感・臨 | CCB各論<br>呼外/心外 | | CCB各論<br>精神／小児 | CCB各論<br>泌尿/産婦 | CCB各論<br>耳鼻/形成 | CCB各論<br>消内/膠リ | | CCB各論<br>小外/整外 | CCB各論<br>循内/皮膚 | CCB各論<br>神内/総診 | CCB各論<br>救急/- | | CCB各論<br>血内/呼内 | CCB各論<br>消外/移外 | CCB各論<br>脳外/乳外 | CCB各論<br>病理/- |
| ４w<br>（１０／１９～２３） | | CCB総論<br>画像診断 | CCB総論<br>カルテ講義 | CCB総論<br>電カル講義 | CCB総論<br>電カル講義 | | プラカン<br>小児 | プラカン<br>小児 | プラカン<br>小児 | プラカン<br>血内 | | プラカン<br>整形 | プラカン<br>整形 | プラカン<br>小児 | プラカン<br>眼科 | | プラカン<br>耳鼻 | プラカン<br>皮膚 | プラカン<br>皮膚 | 臨床<br>倫理学 | | プラカン<br>産婦 | プラカン<br>産婦 | プラカン<br>耳鼻 | |
| （10／26～10／30） | | | | | | | | | | | | ＣＢＴ追再試験 | | | | | OSCE再試験（週末） | | | １１月１日（日）Pre-CC OSCE予備日予定 | | | | | |
| ５w<br>（１１／２～６） | | 総診 | 総診 | 総診 | | （文化の日） | | | | | | 総診 | 総診 | 総診 | 臨床<br>倫理学 | | 総診 | 総診 | 総診 | | | | 総診<br>試験 | | |
| ６w<br>（１１／９～１３） | | 感染症 | 感染症 | 感染症 | 感染症 | | 感染症 | 放射線<br>基礎医学 | 放射線<br>基礎医学 | 放射線<br>基礎医学 | | 臨床<br>倫理学 | 放射線<br>基礎医学 | 放射線<br>基礎医学 | | | | 臨床<br>倫理学 | 臨床<br>倫理学 | | | | 総診<br>追試 | | |
| ７w<br>（１１／１６～２０） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ８w<br>（１１／２３～２７） | （勤労感謝の日） | | | | | 臨床実習オリエンテーション<br>白衣授与式等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ９w<br>（11／30～12／4） | CCＩ1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １０w<br>（１２／７～１１） | CCＩ2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １１w<br>（１２／１４～１８） | CCＩ3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （冬季休業）<br>（１２／２１～２５） | （冬季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （冬季休業）<br>（１２／２８～１／１） | （冬季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １２w<br>（１／４～８） | CCＩ4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １３w<br>（１／１１～１５） | CCＩ5 | （成人の日） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １４w<br>（１／１８～２２） | CCＩ6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １５w<br>（１／２５～２９） | CCＩ7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １６w<br>（２／１～５） | CCＩ8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １７w<br>（２／８～１２） | CCＩ9 | | | | | | | | | | | | | | | （建国記念の日） | | | | | | | | | |
| １８w<br>（２／１５～１９） | CCＩ10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １９w<br>（２／２２～２６） | CCＩ11 | | | | | （天皇誕生日） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ２０w<br>（３／１～５） | CCＩ12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ２１w<br>（３／８～１２） | CCＩ13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （春季休業）<br>（３／１５～１９） | CCＩ14 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （春季休業）<br>（３／２２～２６） | （振替休日） | | | | | （春季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

10/17
秋季追悼式
（対象者のみ）

# 令和８年度 第５学年　前期　授業時間割表（旧カリ）

：臨床実習

| | 月 | | | | | 火 | | | | | 水 | | | | | 木 | | | | | 金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ |
| （３／３０～４／３） | （春季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １ｗ<br>（４／６～１０） | CCⅠ15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ２ｗ<br>（４／１３～１７） | CCⅠ16 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ３ｗ<br>（４／２０～２４） | CCⅠ17 | | | | | | | | | | | | | | | | | 健康診断 | | | | | | | |
| （４／２７～５／１） | CCⅠ18 | | | | | | | | | | （昭和の日） | | | | | | | | | | | | | | |
| ４ｗ<br>（５／４～８） | （みどりの日） | | | | | （こどもの日） | | | | | （振替休日） | | | | | | | | | | | | | | |
| ５ｗ<br>（５／１１～１５） | CCⅠ19 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ６ｗ<br>（５／１８～２２） | CCⅠ20 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ７ｗ<br>（５／２５～２９） | CCⅠ21 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ８ｗ<br>（６／１～５） | CCⅠ22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ９ｗ<br>（６／８～１２） | CCⅠ23 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １０ｗ<br>（６／１５～１９） | CCⅠ24 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １１ｗ<br>（６／２２～２６） | CCⅠ25 | | | | | | | | | | | | 医統1 | 医統2 | 医統3 | | | | | | | | | | |
| １２ｗ<br>（６／２９～７／３） | CCⅠ26 | | | | | | | | | | | | 医統4 | 医統5 | | | | | | | | | | | |
| １３ｗ<br>（７／６～１０） | CCⅠ27 | | | | | | | | | | | | 地域医療実習事前説明会 | | | | | | | | | | | | |
| １４ｗ<br>（７／１３～１７） | CCⅠ28 | | | | | | | | | | | | 医統6 | 医統7 | | | | | | | | | | | |
| １５ｗ<br>（７／２０～２４） | CCⅠ29 | （海の日） | | | | | | | | | | | 医統8 | 医統9 | | | | | | | | | | | |
| １６ｗ<br>（７／２７～７／３１） | CCⅠ30 | | | | | | | | | | | | 医統10 | 医統11 | | | | | | | | | | | |
| （夏季休業）<br>（８／３～２２） | （夏季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １７ｗ<br>（８／２４～２８） | 地域医療実習 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １８ｗ<br>（８／３１～９／４） | CCⅠ31 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １９ｗ<br>（９／７～１１） | CCⅠ32 | | | | | | | | | | | | 医統12 | 医統13 | | | | | | | | | | | |
| ２０ｗ<br>（９／１４～１８） | CCⅠ33 | | | | | | | | | | | | 医統14 | 医統15 | | | | | | | | | | | |
| ２１ｗ<br>（９／２１～２５） | （敬老の日） | | | | | （国民の休日） | | | | | （秋分の日） | | | | | | | | | | | | | | |

# 令和８年度 第５学年　後期　授業時間割表（旧カリ）

：臨床実習

| | 月 | | | | | 火 | | | | | 水 | | | | | 木 | | | | | 金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ |
| １w（９／２８～１０／２） | CCⅠ34 | | | | | | | | | | | | 医統16 | 医統17 | | | | | | | | | | | |
| ２w（１０／５～９） | CCⅠ35 | | | | | | | | | | | | 医統18 | 医統19 | | | | | | | | | | | |
| ３w（１０／１２～１６） | CCⅠ36 | （スポーツの日） | | | | | | | | | | | 医統20 | 医統21 | 医統22 | | | | | | | | | | |
| ４w（１０／１９～２３） | | | | | | | | | | | 進級試験 | | | | | | | | | | － | 医療倫理 | 医療倫理 | － | － |
| （10/26～10/30） | － | 医療倫理 | 医療倫理 | － | － | | | 医療倫理 zoom | 医療倫理 zoom | | － | － | 医療倫理 | 医療倫理 | － | | | 医療倫理 zoom | 医療倫理 zoom | | 医療倫理 zoom | 医療倫理 zoom | 医倫補講 zoom | 医倫補講 zoom | － |
| ５w（１１／２～６） | 社会演習 | 社会演習 | 社会演習 | 社会演習 | | （文化の日） | | | | | 社会演習 | | 化学療法 | 化学療法 | | | 化学療法 | 化学療法 | 化学療法 | | | 化学療法 | 化学療法 | 化学療法 | |
| ６w（１１／９～１３） | | 東洋医学 | 東洋医学 | － | 医倫補講 | | 東洋医学 | 東洋医学 | － | 医倫補講 zoom | 進級試験（追再試験） | | | | | | | | | | 医倫補講 | 医倫補講 | 医倫試験 | － | 化学療法 |
| ７w（１１／１６～２０） | | 医事法 | 医事法 | 医事法 | | | 医事法 | 医事法 | 医事法 | 医事法 | | 地域医療 | 地域医療 | 地域医療 | | | | 地域医療 | 地域医療 | | | 医事予備 | 地域医療実習報告会 | | |
| ８w（１１／２３～２７） | CCⅡ1 | （勤労感謝の日） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ９w（１１／３０～１２／４） | CCⅡ2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １０w（１２／７～１１） | CCⅡ3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １１w（１２／１４～１８） | CCⅡ4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （冬季休業）（１２／２１～１／１） | （冬季休業） | | | | | | | | 医倫追再試 | | （冬季休業） | | | | | | | | | | | | | | |
| １２w（１／４～８） | CCⅡ5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １３w（１／１１～１５） | CCⅡ6 | （成人の日） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １４w（１／１８～２２） | CCⅡ7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １５w（１／２５～２９） | CCⅡ8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １６w（２／１～５） | CCⅡ9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １７w（２／８～１２） | CCⅡ10 | | | | | | | | | | | | | | | （建国記念の日） | | | | | | | | | |
| １８w（２／１５～１９） | CCⅡ11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １９w（２／２２～２６） | CCⅡ12 | | | | | （天皇誕生日） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ２０w（３／１～５） | CCⅡ13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ２１w（３／８～１２） | CCⅡ14 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ２２w（３／１５～１９） | CCⅡ15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ２３w（３／２２～２６） | CCⅡ16 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （春季休業）（３／２９～４／２） | （振替休日） | | | | | （春季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

# 令和８年度　第６学年　前期　授業時間割表（旧カリ）

：臨床実習

| | 月 | | | | | 火 | | | | | 水 | | | | | 木 | | | | | 金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ |
| （３／３１～４） | （春季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （４／７～１１） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １ｗ（４／１３～１７） | CCⅡ17 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ２ｗ（４／２０～２４） | CCⅡ18 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ３ｗ（４／２７～５／１） | CCⅡ19 | | | | | | | | | | （昭和の日） | | | | | | | | | | | | | | |
| ４ｗ（５／４～８） | CCⅡ20 | （みどりの日） | | | | （こどもの日） | | | | | （振替休日） | | | | | | | | | | 健康診断 | | | | |
| ５ｗ（５／１１～１５） | CCⅡ21 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ６ｗ（５／１８～２２） | CCⅡ22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ７ｗ（５／２５～２９） | CCⅡ23 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ８ｗ（６／１～５） | CCⅡ24 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ９ｗ（６／８～１２） | CCⅡ25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １０ｗ（６／１５～１９） | CCⅡ26 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １１ｗ（６／２２～２６） | CCⅡ27 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １２ｗ（６／２９～７／３） | CCⅡ28 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １３ｗ（７／６～１０） | CCⅡ29 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １４ｗ（７／１３～１７） | CCⅡ30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １５ｗ（７／２０～２４） | CCⅡ31 | （海の日） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １６ｗ（７／２７～３１） | CCⅡ32 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （夏季休業） | （夏季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １８ｗ（８／３１～９／４） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １９ｗ（９／７～１１） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ２０ｗ（９／１４～１８） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ２１ｗ（９／２１～２５） | （敬老の日） | | | | | （国民の休日） | | | | | （秋分の日） | | | | | | | | | | | | | | |

# 令和８年度　第６学年　後期　授業時間割表（旧カリ）

| | 月 | | | | | 火 | | | | | 水 | | | | | 木 | | | | | 金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ |
| １ｗ<br>（９／２８～１０／２） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ２ｗ<br>（１０／５～９） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ３ｗ<br>（１０／１２～１６） | （スポーツの日） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ４ｗ<br>（１０／１９～２３） | | | | | | | | | | | 卒業試験 | | | | | | | | | | | | | | |
| （10/26～10/30） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ５ｗ<br>（１１／２～６） | | | | | | （文化の日） | | | | | | | | | | | | | | 11月8日（日）Post-CC OSCE（予定） | | | | | |
| ６ｗ<br>（１１／９～１３） | | | | | | | | | | | 卒業試験(追再試験) | | | | | | | | | | | | | | |
| ７ｗ<br>（１１／１６～２０） | （民間模擬試験・国試対策） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ８ｗ<br>（１１／２３～２７） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ９ｗ<br>（１１／３０～１２／４） | Post-CC OSCE追再試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 12月6日（日）Post-CC OSCE予備日（予定） | | | | | |
| １０ｗ<br>（１２／７～１１） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １１ｗ<br>（１２／１４～１８） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （冬季休業）<br>（１２／２１～１／３） | 卒業判定 | | | | | （冬季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （冬季休業）<br>（１２／２１～１／１） | （冬季休業） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １２ｗ<br>（１／４～８） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １３ｗ<br>（１／１１～１５） | （成人の日） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １４ｗ<br>（１／１８～２２） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １５ｗ<br>（１／２５～２９） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １６ｗ<br>（２／１～５） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １７ｗ<br>（２／８～１２） | | | | | | | | | | | | | | | | （建国記念の日） | | | | | | | | | |
| １８ｗ<br>（２／１５～１９） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １９ｗ<br>（２／２２～２６） | | | | | | （天皇誕生日） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ２０ｗ<br>（３／１～５） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

# 京都府立医科大学医学部医学科授業科目履修規程

平 成 ２ ０ 年 ４ 月 １ 日
京都府立医科大学規程第6号

目次

第１章　総則
第２章　授業
第３章　授業科目の履修
第４章　試験
第５章　単位未修得者に対する措置
第６章　休学期間の算定
附則

## 第１章　総則

（趣旨）

第１条　この規程は、京都府立医科大学学則（平成20年京都府立医科大学規則第１号。以下「学則」という。）第21条第１項及び第２項、第22条、第28条、第30条並びに第32条の規定に基づき、授業科目の履修等について必要な事項を定めるものとする。

## 第２章　授業

（授業時間）

第２条　授業時間は、別表１のとおりとする。

## 第３章　授業科目の履修

（授業科目の名称及び単位数）

第３条　学則第21条に規定する授業科目の名称及び単位数並びに第22条に規定する必要単位数は、別表２、３及び４のとおりとする。

（選択科目履修の届出）

第４条　選択科目の履修をしようとするときは、あらかじめ学長に履修届を提出しなければならない。

（授業科目履修状況の調査）

第５条　学生の授業科目の履修については、その都度出席を記録する。

## 第４章　試験

（試験期日）

第６条　定期試験は、原則として授業修了時に行う。

２　学則第29条第２項に規定する試験は、随時行うことができる。

（定期試験のための試験期間）

第７条　定期試験を行うために、試験期間を設け、この期間中は、原則として通常の授業を行わない。

（受験資格）

第８条　学生は、講義時間数の60パーセント以上出席しなければ、当該授業科目について試験を受けることができず、実習及び演習については、全て出席しなければ、当該実習の単位を修得し、当該授業科目について試験を受けることができない。ただし、実習に関しては、病気や忌引き等のやむを得ない理由があると認められる場合には欠席届を以って出席と認める場合がある。

（臨床医学の授業科目の試験）

第９条　臨床医学の授業科目（臨床実習、地域医療実習及びCC Basicを除く）の定期試験は、第１次試験と第２次試験（卒業試験）とに分けて行う。

２　第１次試験は、原則として講義終了時に行い、第２次試験は第６学年の後期に行う。

３　臨床医学に係る授業科目の単位認定は、第１次試験によって行う。なお、第２次試験は筆答試験として実施し、卒業判定の一部として取り扱う。

４　第５学年には総合試験形式の進級試験を行う。

（選択科目の試験）

第10条　選択科目の定期試験は、第６条第１項の規定にかかわらず休業期間中に行うことができる。

２　選択科目の試験を受けようとする者は、試験の公示の日から１週間以内に受験届を提出しなければならない。

３　選択科目は、試験を実施しないことがある。

（試験の公示）

第11条　定期試験、追試験及び再試験の授業科目及び期日は、原則として年度初めに提示するとともに、各試験の1ヶ月前までに公示する。

（試験成績の評価）

第12条　成績の評価は、評点又は評語をもって表し、次の基準により到達目標の達成度に基づいて行なう。ただし、再試験の評価は60点以下とする。

| 評点 | 評語 | 認定 | 評価の基準 |
|---|---|---|---|
| 80点以上 | 優 | 合格 | 優れている。学修した事象や事柄のかなりについて理解し、十分かつ必要な知識を持ち、概念や方法を適切に使って課題を遂行できる。その理解を適切に類似または発展した事象に応用する力がある。 |
| 70点以上 | 良 | | 良好である。学修した事象や事柄を十分理解し、問題・題材を扱うことができる。 |
| 60点以上 | 可 | | 最低限の基準に達している。学修した事象や事柄をかなり限定的に理解し、問題を基本的なレベルで扱うことはできるが、より高度な学修へと進むには更に努力が必要である。 |
| 59点以下 | 不可 | 不合格 | 最低限の基準に達していない。学修した事象や事柄の理解が不足している。 |

２　評点をもって表せない特定科目については、合格、不合格をもって表す。

３　複数の教室等が担当する授業科目については、教室等ごとに又は合同で試験及び成績の評価を行う。

（試験中の不正行為）

第13条　試験中に不正行為を行った者に対しては、当該学年におけるすべての試験は無効とし、受験資格を停止するとともに、当該不正行為を行った学年にとどめるものとする。

（試験欠席の手続）
第14条　試験に欠席する学生は、試験欠席願に、病気によるときは医師の診断書を、やむを得ないと認められる事故による場合は理由書を添えて学長に願い出てその許可を受けなければならない。
２　試験欠席願は、原則として、当該授業科目の試験日の前日までに提出するものとし、やむを得ない理由により、前日までに提出することができない場合は、試験日以後１週間以内に提出しなければならない。
３　試験に許可なく欠席した者は、その授業科目の次の試験を受けることができない。

## 第５章　進級及び卒業要件

（進級及び卒業要件）
第15条　各学年の進級及び卒業の認定を受ける者は、次の各号に定める者とする。なお、進級及び卒業の認定を受けない者は当該学年にとどまり、次年度、原則として単位修得を認定されなかった科目を再履修する。
(1)　第１学年末において別表２に定める必要単位数を修得した者
(2)　第２学年末において、基礎医学授業科目（解剖学、生理学、分子医科学、感染病態学（微生物・医動物学）、免疫学、薬理学、病理学総論及び病理学各論）、教養英語及び総合講義Ｉの全ての科目の単位を修得した者
(3)　第３学年末において、臨床医学授業科目（循環器ユニット、呼吸器ユニット、神経ユニット、消化器ユニット、内科学（ユニット科目除く）、外科学（ユニット科目除く）、整形外科学、産婦人科学、小児科学、眼科学、皮膚科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、精神医学、放射線医学、麻酔科学、感染症学・臨床検査医学（人体病理学を含む）、救急医療学、リハビリテーション医学、生物統計学、統合授業Ⅱ、総合講義Ⅱ及び医学英語の全ての科目の単位を修得した者
(4)　第４学年末において、社会医学授業科目（保健・予防医学、法医学）、国際医学英語、行動科学応用、CC Basic、総合医療・地域医療学、臨床実習前OSCE講座、研究配属、総合講義Ⅲについて、全ての科目の単位を修得し、共用試験（CBT及び臨床実習前OSCE）に合格した者
(5)　第５学年末において、臨床実習（クリニカル・クラークシップⅠ）を修了し、地域医療実習、医療倫理学、医療統計学及び総合講義Ⅳの全ての科目の単位を修得し、進級試験に合格した者
(6)　第６学年末において、臨床実習（クリニカル・クラークシップⅡ）を修了の上、臨床実習の単位を修得し、共用試験（臨床実習後OSCE）及び卒業試験に合格するとともに、本学医学科ディプロマ・ポリシーを満たした者
２　学則第24条に規定する、他の大学又は短期大学の授業科目の履修に関する単位に関して必要な事項は、別に定める。

## 第６章　休学期間の算定

（休学期間の算定）
第16条　休学期間の算定については、休学の期間が通算して１年未満の場合は、学則第34条第３項に定める休学期間に算入しない。

附　則
この規程は、平成２０年４月１日から施行する。

附　則
この規程は、平成２１年４月１日から施行する。

附　則

1　この規程は、平成２２年４月１日から施行する。

2　この規程の施行の際、現に第５学年及び第６学年に在籍している者については、別表中救急医療学の改正に係る部分については、なお従前の例による。

附　則

この規程は、平成２３年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２３年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２５年５月１日から施行する。

附　則

1　この規程は、平成３０年４月１日から施行する。

2　この規程の施行の際、現に第５学年に在籍している者についての第15条に規定する進級の認定を受ける者は、臨床実習（クリニカル・クラークシップⅠ）、地域医療実習、医療倫理学及び医療統計学の単位を修得し、臨床医学科目の未修得科目の試験に合格した者とし、次年度以降も同様の進級要件とする。

3　この規程の施行の際、現に第６学年に在籍している者についての第15条に規定する進級要件のうち、臨床実習（クリニカル・クラークシップⅡ）は臨床実習（クリニカル・クラークシップ）とする。

附　則

1　この規程は、平成３１年４月１日から施行する。

2　この規程の施行の際、現に第５学年及び第６学年に在籍している者についての第15条に規定する進級要件は、当該年度に限り従前の例による。

附　則

1　この規程は、令和４年４月１日から施行する。

2　この規程の施行前に第４学年、第５学年及び第６学年に在籍し、施行の際においても同じ学年に在籍している者についての第15条に規定する進級要件は、なお従前の例による。

附　則

この規定は、令和５年４月１日から施行する。

附　則

この規定は、令和６年４月１日から施行する。

附　則

1　この規程は、令和７年４月１日から施行する。ただし、改正前の第15条第１項第４号の規定のうち、医療、研究におけるレギュラトリーサイエンスに関する部分については、改正後の規定を令和６年４月１日に遡及して適用する。

2　令和７年３月31日において第３学年又は第４学年に在籍し、この規程の施行の際においても同じ学年に在籍している者については、第15条第１項の規定のうち、第３学年にあっては「疼痛・緩和医療学」とあるのは「麻酔科学」と、第４学年にあっては「総合診療学・地域医療学（臨床実習前OSCE講座を含む）」とあるのは「総合診療学・地域医療学及び臨床実習前OSCE講座」とそれぞれ読み替えるものとする。

附　則

1　この規程は、令和８年４月１日から施行する。

2　この規程の施行前に第１学年及び第３学年に在籍し、施行の際においては同じ学年に在籍している者についての第15 条に規定する進級要件は、なお従前の例による。

3　令和８年３月31日において第２学年に在籍し、この規程の施行の際において第３学年に在籍している者については、第15条第１項に規定する進級要件のうち「病理学各論」においては、なお従前の例による。

別表１

| 終日90分授業の日 | |
|---|---|
| １限目 | ８時50分から10時20分まで |
| ２限目 | 10時30分から12時まで |
| ３限目 | 12時50分から14時20分まで |
| ４限目 | 14時30分から16時まで |
| ５限目 | 16時10分から17時40分まで |

| 終日60分授業の日 | |
|---|---|
| １限目 | ８時50分から９時50分まで |
| ２限目 | 10時から11時まで |
| ３限目 | 12時50分から13時50分まで |
| ４限目 | 14時から15時まで |
| ５限目 | 15時10分から16時10分まで |

**別表２**　　**医学基盤教育授業科目一覧表**

| 区分 | 授業科目 | 授業期間 | 必修・選択の別 | 授業回数 週 | 授業回数 計 | 単位数 | 必要単位数 区分別 | 必要単位数 全体 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人文科学 | 生命倫理学 | 前期 | 必修 | 1 | 11 | 1.4 | 1.4単位 | 36.3単位以上(注7) |
| | 行動科学基礎 | 後期 | 必修 | 1 | 10 | 1.3 | 1.3単位 | |
| | 医学哲学 | 前期 | 必修 | 1 | 10 | 1.3 | 1.3単位 | |
| | 認知心理学(三大学共同化科目) | 前期 | 選択 | 1 | 15 | 2 | 2.6単位以上(注3) | |
| | 医療人類学(三大学共同化科目) | 前期 | 選択 | 1 | 15 | 2 | | |
| | 現代正義論(三大学共同化科目) | 後期 | 選択 | 1 | 15 | 2 | | |
| | 共同化科目一覧の別表Ⅲ(人間と文化)から選択<br>＜科目によって、授業期間、授業回数、単位数が異なるので注意＞ | | | | | | | |
| 社会科学 | 医史学 | 前期 | 選択 | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | 医療経済学 | 前期 | 選択 | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | 経営学 | 前期 | 選択 | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | 医療と法 | 前期 | 選択 | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | 医療と社会(三大学共同化科目) | 前期 | 選択 | 1 | 15 | 2 | | |
| | 現代医療の人間観(三大学共同化科目) | 後期 | 選択 | 1 | 15 | 2 | | |
| | 共同化科目一覧の別表Ⅳ(人間と社会)から選択<br>＜科目によって、授業期間、授業回数、単位数が異なるので注意＞ | | | | | | | |
| 自然科学 | 数学 | 通年 | 必修 | 1 | 17 | 2.2 | 14.7単位以上 | |
| | 物理学 | 通年 | 必修 | 1 | 16 | 2.1 | | |
| | 生体分子化学 | 通年 | 必修 | 1 | 17 | 2.2 | | |
| | 生物科学 | 通年 | 必修 | 1 | 17 | 2.2 | | |
| | 実習 物理学実習 | 前期 | 必修 | 2 | 5 | 1.8(注2) | | |
| | 実習 化学実習 | 前期 | 必修 | | 5 | | | |
| | 実習 生物学実習 | 前期 | 必修 | | 5 | | | |
| | 情報リテラシー | 前期 | 必修 | 1 | 4 | 0.5 | | |
| | 生命物理化学 | 前期 | 必修 | 1 | 9 | 1.2 | | |
| | 現代生命科学 | 後期 | 必修 | 1 | 9 | 1.2 | | |
| | 応用解析学 | 後期 | 選択必修 | 2 | 10 | 1.3 | いずれか1.3単位 | |
| | 近代物理学 | 後期 | | 2 | 10 | 1.3 | | |
| | 共同化科目一覧の別表Ⅴ(人間と自然)から選択<br>＜科目によって、授業期間、授業回数、単位数が異なるので注意＞ | | | | | | | |
| 外国語 第1外国語 | 英語１ | 通年 | 必修 | 1 | 20 | 2.6 | 5.2単位 | |
| | 英語２ | 通年 | 必修 | 1 | 20 | 2.6 | | |
| 外国語 第2外国語 | ドイツ語Ⅰ | 前期 | 選択必修(注1) | 1 | 10 | 1.3 | 2.6単位以上(注4) | |
| | ドイツ語Ⅱ | 後期 | | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | フランス語Ⅰ | 前期 | | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | フランス語Ⅱ | 後期 | | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | スペイン語Ⅰ | 前期 | | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | スペイン語Ⅱ | 後期 | | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | 中国語Ⅰ | 前期 | | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | 中国語Ⅱ | 後期 | | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | 朝鮮韓国語Ⅰ | 前期 | | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | 朝鮮韓国語Ⅱ | 後期 | | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | ラテン語(三大学共同化科目) | 後期 | | 1 | 15 | 2 | | |
| その他 | 体育 | 通年 | 必修 | 1 | 20 | 1.3 | 1.3単位 | |
| | 早期体験実習Ⅰ | 通年 | 必修 | 1 | 4 | 0.5 | 3.9単位 | |
| | 早期体験実習Ⅱ | 通年 | 必修 | 1 | 5 | 0.6 | | |
| | 統合授業Ⅰ | 通年 | 必修 | 1 | 4 | 0.5 | | |
| | リレー講座（キャリア・人権教育） | 通年 | 必修 | 1 | 10 | 1.3 | | |
| | 医学概論Ⅰ(三大学共同化科目)(注5) | 後期(3Q) | 選択必修 | 1 | 8 | 1 | いずれか1単位 | |
| | 医学概論Ⅱ(三大学共同化科目)(注5) | 後期(4Q) | | 1 | 8 | 1 | | |
| 小　計 | | | | | | | 34.3単位以上(注6) | |

(注1)　Ⅰと Ⅱ は同一言語を履修する。

(注2)　３科目とも単位認定されて１．８単位修得とする。ただし、単位認定は各実習毎に行う。したがって、出席数も各実習毎にカウントする。
再履修は、単位認定されなかった実習科目のみ行う。

(注3)　共同化科目一覧の別表Ⅲ(人間と文化)群及び別表Ⅳ(人間と社会)群の科目との合算で合計２．６単位以上でもよい。

(注4)　ラテン語はⅠに相当し、他の言語Ⅰを修得できなかった場合のみ、その言語Ⅰと読み替える。

(注5)　共同化科目一覧の別表Ⅴ(人間と自然)におけるクォータ制科目として、後期３クォーター(3Q)、４クォーター(4Q)に開講する。

(注6、7)　第1学年修了には、区分別に定める必要単位数合計３４．３単位に加え、別途共同化科目を２単位以上修得して全体で３６．３単位以上修得しなければならない。

別表３

医学基盤教育授業科目一覧表（第２学年～第５学年）

| 科目名 | 学年 | 授業期間 | 必修・選択の別 | 単位数 |
|---|---|---|---|---|
| 教養英語※1 | ２年生 | 通年 | 必修 | 2.5 |
| 医学英語※2 | ３年生 | 通年 | 必修 | 2.5 |
| 統合授業Ⅱ | ３年生 | 通年 | 必修 | 0.5 |
| 行動科学応用 | ４年生 | 前期 | 必修 | 1 |
| 医療倫理学 | ５年生 | 後期 | 必修 | 1.5 |
| 医療統計学 | ５年生 | 通年 | 必修 | 2.5 |

※1　Advanced Presentation ＆ Academic Writing
※2　Basic Medical English

別表４

専門教育授業科目一覧表

| 区分 | 授　業　科　目 | 必修・選択の別 | 回数 | 単位 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 基礎医学 | 解剖学◎ | 必修 | 140 | 9.3 | 計43.6単位（実習を含む） |
| | 生理学◎ | 必修 | 88 | 7.8 | |
| | 分子医科学◎ | 必修 | 90 | 8.1 | |
| | 感染病態学(微生物・医動物学)◎ | 必修 | 48 | 4 | |
| | 免疫学◎ | 必修 | 40 | 3.7 | |
| | 薬理学◎ | 必修 | 51 | 3.9 | |
| | 病理学◎ | 必修 | 88 | 7.1 | |
| 社会医学 | 保健・予防医学◎ | 必修 | 69 | 5.2 | 計7.2単位（実習を含む） |
| | 法医学◎ | 必修 | 20 | 2 | |
| 臨床医学 | 循環器ユニット◎ | 必修 | 29 | 1.9 | 計36.3単位 |
| | 呼吸器ユニット◎ | 必修 | 38 | 2.6 | |
| | 神経ユニット◎ | 必修 | 62 | 4.1 | |
| | 消化器ユニット◎ | 必修 | 41 | 2.7 | |
| | 内科学（ユニット科目除く）◎ | 必修 | 25 | 2.5 | |
| | 外科学（ユニット科目除く）◎ | 必修 | 21 | 2.1 | |
| | 整形外科学◎ | 必修 | 16 | 1.6 | |
| | 産婦人科学◎ | 必修 | 22 | 2.2 | |
| | 小児科学◎ | 必修 | 18 | 1.8 | |
| | 眼科学◎ | 必修 | 10 | 1 | |
| | 皮膚科学◎ | 必修 | 10 | 1 | |
| | 泌尿器科学◎ | 必修 | 10 | 1 | |
| | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学◎ | 必修 | 10 | 1 | |
| | 精神医学◎ | 必修 | 10 | 1 | |
| | 放射線医学◎ | 必修 | 11 | 1.1 | |
| | 麻酔科学◎ | 必修 | 13 | 1.3 | |
| | 感染症学・臨床検査医学◎ | 必修 | 10 | 1 | |
| | 救急医療学◎ | 必修 | 10 | 1 | |
| | 総合医療・地域医療学◎ | 必修 | 9 | 0.9 | |
| | 臨床実習前OSCE講座 | 必修 | 24 | 1.7 | |
| | リハビリテーション医学◎ | 必修 | 8 | 0.8 | |
| | 生物統計学◎ | 必修 | 8 | 0.8 | |
| | 臨床実習◎ | 必修 | 1440 | 72 | 計73単位 |
| | 地域医療実習◎ | 必修 | 20 | 1 | |
| | CC Basic◎ | 必修 | 43 | 3.8 | 計3.8単位 |
| その他 | 総合講義Ⅰ◎ | 必修 | 8 | 0.8 | 計17.5単位 |
| | 総合講義Ⅱ◎ | 必修 | 22 | 2.2 | |
| | 総合講義Ⅲ◎ | 必修 | 15 | 1.5 | |
| | 総合講義Ⅳ◎ | 必修 | 30 | 3 | |
| | 総合講義Ⅴ◎ | 必修 | 28 | 2.8 | |
| | 研究配属◎ | 必修 | 120 | 6 | |
| | 国際医学英語(International Medical English) ◎ | 必修 | 12 | 1.2 | |
| | 歯科口腔科学◎ | 選択 | 6 | 0.6 | |
| | 臨床病理セミナー◎ | 選択 | 10 | 1 | |

（注１）このほか、特別講義及びセミナー等を随時開催することができる。

（注２）◎印の科目は医師等が自らの実務経験を活かし授業（講義、演習、実習等）を行う実務家教員担当科目である。

# 京都府立医科大学における成績に対する確認に関する要項

（趣旨）

第１条　この要項は、京都府立医科大学の学士課程、修士課程、博士課程に在籍する学生（以下「学生」という。）が履修する全ての科目について、その成績に対する確認に関し必要な事項を定めるものとする。

（成績に対する確認）

第２条　学生は、自身の成績に対して確認すべき事項がある場合は、教育支援課（医学科第１学年においては教育支援課下鴨事務室。以下同じ。）を通じて、授業担当教員に別に定める「成績に対する確認書」（以下「確認書」という。）を提出することにより、確認することができるものとする。

（確認依頼受付期間）

第３条　前条による確認依頼の受付期間は、成績開示日の翌日から起算して、原則として７日以内（日曜日、土曜日、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日及び12月29日から翌年１月３日までの日を除く。以下次項及び第４条１項において同じ。）とする。

２　前項の規定にかかわらず、当該学期に卒業又は修了の判定対象者であり、確認を行おうとする成績が卒業又は修了の判定に関わる場合及び３月１日以降に開示された成績に対する確認の場合の受付期間は、成績開示日の翌日から起算して、原則として３日以内とする。

（確認に伴う措置）

第４条　第２条第１項による確認依頼を受けた授業担当教員は、教育支援課を通じて確認書を受理した日の翌日から起算して、原則として７日以内に確認結果を回答するものとする。ただし、前条第２項に規定する場合の確認依頼にあっては、原則として３日以内に確認結果を回答するものとする。

２　前項の回答に当たっては、教育支援課を通じて、当該学生に、「成績確認に対する回答書」により確認結果を回答するものとする。ただし、授業担当教員の判断により、直接当該学生に確認結果を回答することができる。この場合において、当該授業担当教員は、回答内容及び回答日を教育支援課に通知しなければならない。

３　第１項の回答に当たっては、授業担当教員は、確認結果に基づき、成績について変更する措置を採ることができる。この場合において、授業担当教員は、当該措置の内容及びその理由を記録するとともに、教育支援課に報告しなければならない。

（雑則）

第５条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附　則

この要項は平成30年４月１日から施行する。

附　則

この要項は令和７年４月１日から施行する。

# 京都府立医科大学における成績に対する不服申立てに関する要項

（目的）

第１条　この要項は、京都府立医科大学の学士課程、修士課程、博士課程に在籍する学生（以下「学生」という。）が履修する全ての科目について、その成績に対する不服申立てに関し必要な事項を定めることにより、成績評価の客観性及び厳格性を確保することを目的とする。

（不服申立事由）

第２条　当該期の自身の成績評価について、次の各号のいずれかに該当する場合に限り不服を申し立てることができる。

(1) 成績の誤記入等、明らかに担当教員の誤りであると思われるもの

(2) 授業要項や授業時間内での指示等により周知している成績評価の方法に鑑みて、明らかに逸脱した評価であると思われるもの

(3) その他不服申立てを行うにあたり合理的又は客観的な根拠があるもの

（不服申立て）

第３条　京都府立医科大学における成績に対する確認に関する要項（以下「成績確認要項」という。）第４条第１項の規定による確認結果に不服がある学生で、その不服に明確な根拠がある場合には、別に定める「成績に対する不服申立書」（以下「不服申立書」という。）を医学科においては学生部長、看護学科においては看護学科長、医学研究科においては研究部長、保健看護学研究科においては保健看護学研究科長（以下「学生部長等」という。）あてに教育支援課（医学科第１学年においては教育支援課下鴨事務室。以下同じ。）を通じて提出することにより、不服申立てができるものとする。

２　前項の規定に関わらず、当該年度の３月１日以降に開示された成績で進級判定に係るものに対しては、成績確認要項第２条に定める確認の手続きを省略し不服申立ての手続きを行うことができる。

（不服申立て受付期間）

第４条　前条による不服申立ての受付期間は、当該学生が成績確認要項第２条による回答を受理した日（前条第３項にあっては、成績開示日）の翌日から起算して、原則として３日以内（日曜日、土曜日、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日及び12月29日から翌年１月３日までの日を除く。）とする。

（審査）

第５条　学生部長等は、第２条による不服申立書を受理した場合は、医学科教育委員会、看護学科教育委員会、医学研究科教育委員会、保健看護学研究科教育委員会（以下「教育委員会等」という。）において当該不服申立ての審査を行わせるものとする。

２　学生部長等は、不服申立てを受理する事由に該当せず、不服申立てを却下する場合は、教育支援課を通じて速やかに当該学生に文書により通知するものとする。

（審査結果の報告及び対応）

第６条　教育委員会等は、前条第１項に係る審査の結果を、速やかに書面で学生部長等に報告しなければならない。

２　前項の報告を受けた学生部長等は、教育支援課を通じて、当該学生及び当該授業担当教員に当該結果を文書により通知する。この場合において、不服申立てを容認する結果であった場合は、授業担当教員に成績について変更する措置を行わせるものとする。
３　前項の通知は、当該学生又は当該授業担当教員が希望した場合は、電子メールにて通知することができるものとする。
４　不服申立てへの回答に対しての再度の不服申立ては認めないものとする。

（雑則）
第７条　この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附　則
この要項は令和７年４月１日から施行する。